昆蟲叢書第壹編

名和昆蟲研究所編輯部 編

第壹回全國昆蟲展覽會

出品目錄

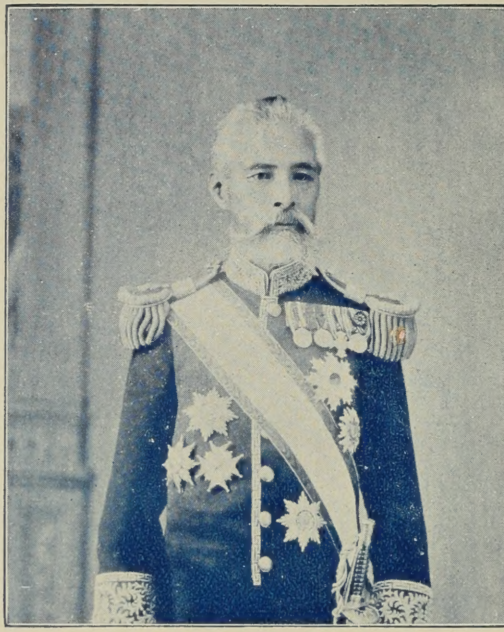
全

發行所 名和昆蟲研究所

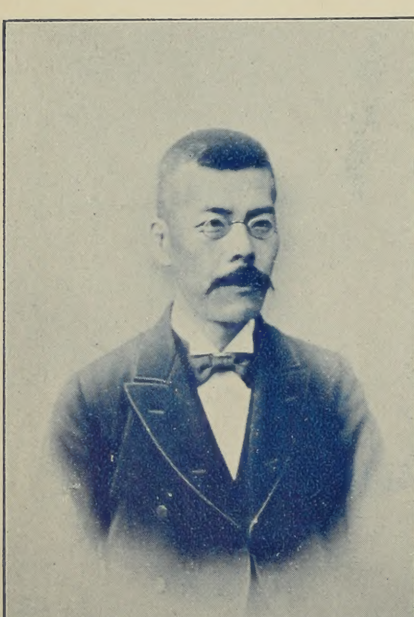
粤刻陳書

辛丑夏日
義俊題

第壹版　全國昆蟲展覽會役員（其壹）



全國昆蟲展覽會總裁　男爵花房義質君



全國昆蟲展覽會事務委員長
笠井信一君



全國昆蟲展覽會顧問
川路利恭君

第貳版　全國昆蟲展覽會役員（其貳）



全國昆蟲展覽會長　田中芳男君



全國昆蟲展覽會審査長
小貫信太郎君



全國昆蟲展覽會主催
名和昆蟲研究所長
名和靖君

第三版　全國昆蟲展覽會場（外景）



第壹圖　會場の正門

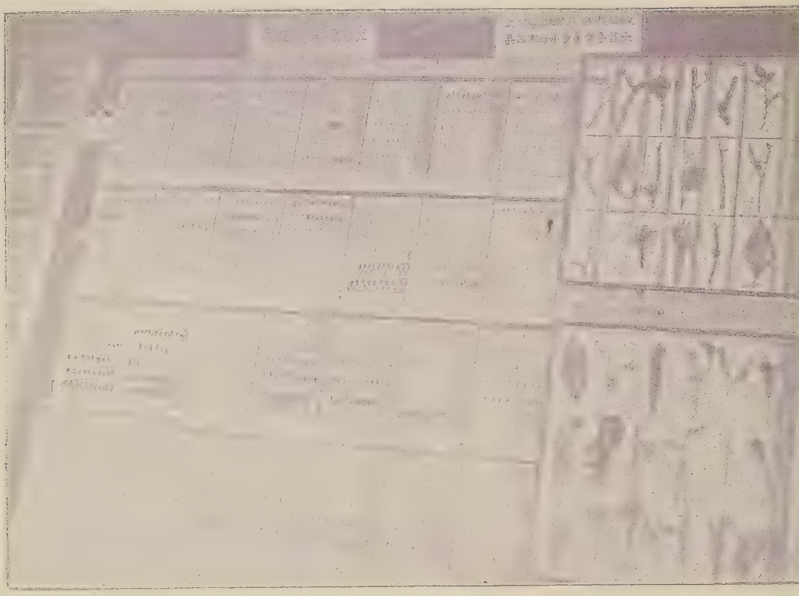


第二圖　陳列場側面の一（南面）

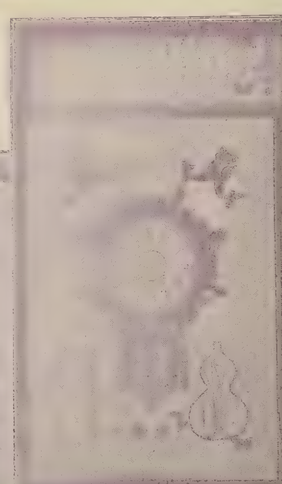


第三圖　陳列場側面の二（北面）

第四版　全國昆蟲展覽會場（内景）



第壹圖　小學兒童の冬季採集品



第貳圖　裝飾用標本の一

第三圖　裝飾用標本の二



大垣西濃印刷株式會社印行

余や、本邦昆蟲學發達の事蹟を尋究するもの、茲に三年。其間、審に田中芳男、名和靖二先生の閲歴を知り、兼て田村藍水、平賀鳩溪二先生の斯學に貢献せる偉績に感ぜり。乃ち謂ひらく、江戸系の物産學は、田村先生の鼓吹によりて昌熾を來たし、平賀先生の究明を以て光彩を添へり、而して西洋派の昆蟲學は、慶應に田中先生の拓開に嫩芽を萌し、明治に名和先生の應用に蔚然として蕃し、と。然かも、田中先生の謙讓なるは、深く元勳を裹みて語らず、名和先生の薄福なるは、未だ蘊蓄を傾くるに暇なし。是れ、二君の終始異形同蹟に出で、又世に惠澤を施すことの愈々多くして、其人に知らるゝことの愈々少なき所以なり。既に先天に於て、兩者の間に、酷だ相似たるものあり、豈後天に於ても、頗る其揆を一にするもの無からんや。則ち、昨春、全國昆蟲展覽會の開くるや、會長田中先生は總務を統べ、會主名和先生は中樞を握り、右提左携、愜意戮力、遂に本邦無前の企畫を完成せしが如き、又其出品目録を、昆蟲叢書の首編に置きて、後進に利せしめん、との意見の相

符合せしが如きは、蓋し偶然に出づるに非ずして、宿緣の互に離る可からざるものゐるに因由せずんばあらず。

加之、田中、名和二先生と、田村、平賀二先生との間には、復た異形同蹟に出でしものあるを知る。曰く。客歲、始て全國昆蟲展覽會を經營せる目的は寶曆に、弘く邦産を訪求して、始て物産會を開催せる目的に同じ。是れ一奇なり。其出品目錄を編次印行して、斯學闡顯の料に充てんとの誠心は、物類品隲を纂輯上木して、同志の講明に資せしめたるの誠心に同じ。是れ二奇なり。其應用昆蟲學の扶植に努めたる功勞は、物産學の振作を圖れる功勞に同じ。是れ三奇なり。特に、田中先生の洽聞多識にして、田村先生の博通宏覽と、古今名聲を同うするは、奇更に一奇を添ふものと謂ふべく、其名和先生の淸貧逆境は、平賀先生の窮乏失意にも相讓らずと云ふに至りては、實に奇中の奇とすべし。凡そ奇傑の士は、前後往々、其奇行を同うす、然かも、爾く自然に配合の妙を得たるものは、世に比儔少なし。乃ち知る、今日狂て媚

俗阿世、射利售名の人たらざるも、他年必ずや、知己の其奇功を昆蟲學史に錄する者あること、猶ほ、當年其抱負を行ふに由なき田村、平賀二先生の百五十年の後に、始て學海に仰慕せらるゝが如けんことを。而して昆蟲展覽會の創設と、出品目錄の公行は、實に其功の一に居るを疑はず。

惟、出品目錄の書たる、銖積絲累を尙ぶも、もと平淡無味、殆ど氷雪を嚙むが若く、且加ふるに、余の文筆に嫻はざるは、修辭醜惡、得て物類品隲の藻豊論博、精覈詳悉に較ぶ可くもあらざるを憾むのみ。然は云へ、また分寸蹐攀の勞苦を致せるもの、學者、其短を去りて長を取らば、啻り霧海の南鍼たるに止めず、併せて二先生の功績を紀するに足れるものあらん。想ふに、往時、後藤光生なる者あり、平賀先生の囑に應じて、物類品隲の序を作り、其簡端に特書すらく、嗟誰知千載之下乃有若斯人矣、と。余もまた、名和先生の爲に、此語を以て、之が卷首に題せんとす。

明治三十五年六月中旬　　後學　永澤小兵衛謹識

凡例

本書は、邦産の蟲種及之が分布を知らんが爲に、昨春、吾が名和昆蟲研究所に開設せる、全國昆蟲展覽會の出品全部に就て、名和先生監督の下に、前後數月に亘りて詳細の調査を遂げたる後、これに分合選擇を加ひ、邦稱を訂正し、且學名と略説とを記入せしものに係る。故に其蟲種は展覽會出品の外に出でず、記述の方法また十全と言ひ難きも、唯それ此種の發表は、本書を以て之が嚆矢とすべし。

今下に本書の内容に關する要項數條を摘錄して、豫じめ讀者の瀏覽に供ふる所あらんとす。

一、蟲名記載の大要　蟲名は、平假名文字にて綴れる、邦稱を以て正名となし、これに學名を併記せり。然れども、假字と歐字のみにては、或は意義の明瞭を鈌き、或は彼此混同の虞あるを以て、此短を補はんが爲に、假字の右傍下に漢字を加へて、ホシカミキリムシとは、赤點又は黑點を有するものにはあらで、其鞘上に白點を有する天牛なることを明かにし、ヤニイロガとは、樹脂色のものならで、全くは烟脂色の蛾なることを示し、更に其左傍には、片假名文字を用ゐて、ホシカミキリ、ヤニバチヨウなどの畧稱異名をも、發音體に細記し、なほ正名は、必ず間隔を設けて之を連綴し、挿圖は多く發音の儘なる蟲名を記入せしが故に、從來の昆蟲書に於けるが如く、通讀に澁滯錯誤の患ひ無からん歟。而して害蟲標本と益蟲標本とは、稍少しくこれと體裁を異にしたるも、大要に至りては、固より毫も違ふ所あらじ。

分類標本は、目に次ぐに亞目を以てし、亞目に次ぐに類を以てし、類を分ちて科を置き、害蟲標本は被害植物に應じて、之を種別となし、更に其所屬を知らしめんとて、一々目名を擧げ、益蟲標本は寄生、食肉、効用の三類に大別して、之を各目各用に小分し、勉めて捜索、應用の便を圖れり。

二、和名の區別　本邦には、古來、昆蟲に正名、別名、古名、死名、漢名、俗名、方名等ありて、頗る交錯を極む。本書は主はら正名の普通なるものを採擇し、假ひ正名と云ふと雖も、卑穢にして背て他の面前に言ふを憚るものは、擧て之を擯棄し、俗名方名の賤と雖も、其久しく人口に膾炙して、一の固有名詞となれるものは、多く之を採用せり。唯適當の新稱を附し難きもの、又は異種同名のもの等には、往々死名、漢名を命じたるも之あり。即ちハグロトンバウ(俗名)オンブバッタ(方名)マロムシ(死名)フイウ(漢名)と云ふが如し。

元來和名には、其意義の解し得べからざるもの少なからず。直翅目のヤブキリの名は、竹篠を伐るが如き發聲に起れりと之ひ、擬脈

翅目のカハゲラは河中に棲息の螻蛄の義なりとの説あるも、全然信憑し難き節あるを以て、前者をヤブキリギリスの約と見做し、後者をば京名ゲナの轉訛と推定して、カハゲナと更めり。ヤマトスズ、ザザムシ等も皆此類なるべし。

三、學名と符號

學名は勉めて之を掲げたるも、其未だ判明せざるものには、盡く式の如き疑點を施し、一種兩名の嫌ひあるものには、成るへく普通の名稱を採擇せり。而して其判明と否やを問はず、既に前に記載を終へたる品種なりせば、或符號を加ふるに止め、之を再出せざるを以て例とせり。害蟲標本に於ける〔分類〕、益蟲標本に於ける〔分類及害蟲〕又は〔分類標本〕等の標識の如し。これ唯り重複を厭ひたるのみにはあらで、反つて對照解決の便あるに因る。即ちクリケムシノガの分類標本の鱗翅目と、害蟲標本の竹木害蟲類の條と、益蟲標本の効用蟲類紡織用の項とにあるは、その鱗翅目に屬する害蟲なるも、また之を紡織の料に供し得べき有用蟲たる事を悟らしむるが如し。

四、漢名と蟲種

漢名は簡約にして且形容に自在なるも、一名の下に數種を包括せしむるを以て、空漠に失すること多く、特に其品種に際限あるは、微分細裂を要する科學の上に適合すべくもあらず。是れ科屬名若くは解釋用としては、其力を藉るを便とするも、蟲稱としては、敢て之を重視せざる所以なり。去れど、もし適宜に之を本邦化する時は、また實用に供し得べし。例へば細腰蜂と蜾蠃とは、原と同一物に對する名稱なるに、之を兩樣に用ゐるも、説明に苦しまざるが如き、又、借訓としては銅鉦金龜子の字を、義訓としては塵芥蟲の字を用ゐたるに、字義を以て、其性質を知らしむるに足れるが如き、なほ七點瓢蟲と書すべきを七星瓢蟲とし黃紋蜂と書すべきを紋黃蜂と改むる時は、能く通俗の用をなし、更にこれを以て有紋白蝶、蚊姥、和斑猫の熟字を作る時は、モンシロテフと云へる不完全の邦稱に、正當の解釋の與へ、カガンボは蚊姥の音便訛なるを示し、ミチヲシへは約名にして且漢名を有せざる事實をも知らしめ得べし。蓋し文學の上より觀れば、雅俗同架、半錢の價値なかる可きも、術語としては、利便を感ずるのみならず、何人と雖も、能くこの幾十萬種の昆蟲に對して、各別に恰當の漢字を適つること難かる可ければ、將に已に廢れんとする漢字の長處を利用して、學術に裨補するも亦可ならずや。

天牛、蜜蜂、蟷螂等の普通の蟲名は暫く措き、邦俗ヨコバヒムシに、浮塵子の漢字を適つるや日已に久し。是れ實は甚しき誤謬にして、原と螟子をウンカといへるに起り、遂にヨコバヒムシの方名ウンカと混同せしより、螟子の浮塵子を取りて、稻作害蟲のウンカに附會せしものに係り、其始めて農書類に見えしは、天保以後にあるが如し。今回これを改定せんことを期せしも、反つて讀者の迷惑を來さんことを慮り、科名にのみ尙ほ浮塵子の名を存置せり、早晩之を全廢して、橫蚑蟲若くは橫蟲の字を用ゐんとす。又イナゴには阜螽の字を適つる者多きも、正しくはトノサマバッタ若くは短角種跳脚類の總名とすべし。是を以て新に稻螽の熟字を製して イナゴと訓じ、阜螽をばトノサマバッタの專用名詞となせり。蓋し和名類聚鈔所載の イナコマロ、イ子ツキコマロの古名は、解釋不備のた

めにや、異說百出、先輩の議論に歸着する所無きを以てなり。

近來螟蟲の文字を以てズヰムシ、メイチウの二樣に讀ましむる者、浮塵子を以てフヂンシと音讀せしむる者ありと雖も、共に杜選の命名に過ぎざれば、渾て之を採らざることゝし、其新熟字中、慣用こゝに年あるものと雖も、甚だしく適らずと思量せしものには、訂正を加へたるも多し。ヂンガサムシを金花蟲とし、ハナセセリテフを弄花蝶とし、カヒガラムシを貝殼蟲とし、ジヤノメテフを環紋蝶と改書せしの類即ち是なり。

五、出品者と產地の記入　出品者の誰たるやを表はすに、團體名は混同し易く、去りとて盡く代表者の姓名を記入せんは煩累多し、依て單に其姓字のみを摘錄し、下に縣名を添へて產地辨別の用に供へり。但他の町村團體の摸範とすべきものには、代表者名に換ふるに、特に會名を冠したるも之あり。即ち靜岡縣濱名郡白須賀町農會の出品を、山本（靜岡）とすべきに、白須賀（靜岡）と書したらんが如し。

出品中、その容品に屬する參考品及び調査の結果、登載の必要なきを認めたる標本を除けば、主品部類の蟲種にして、一も本書に收容せられざるは莫し。即ち書中の姓字の多少は、自ら其出品の多少をも意味すと知るべし。然は云へ、容器の堅固ならざるがため、途すがら毀損剝離の難に罹りしもの、製作の注意を缺けるより、形態特點の辨知し難かりしもの、若くは再調査を加ふるに先だち、既に返還の要求ありしもの等のみは、遺憾ながら之を網羅すること能はざりき。

六、參考書と材料　本書を編輯するに際りて、參考に供用の書目は茲に列擧せずと雖も、約七十部に下らず。その斯く多くを貪ぼりし所以は、近來坊間に流行の著書の弱點は、直に本源に遡りて爬羅摘抉を勉めざるに根づく事を知れるに因る。然かも猶ほ識別に困ぜしに、田中芳男先生は、考徵に資すべき秘書十數部の借覽を聽され、所友長野菊次郎君は、撿擧に至便の本草書數種を貸與せられ、爲に不少の益を得たり、深く兩君に對つて謝意を表す。又本書の體裁と、挿圖の選擇は、一に名和先生の方寸より出で、その蟲種學名分合等の調査は、概ね名和梅吉君の勤勞に成れり、是また特筆以て傳へざる可らず。

七、挿圖と校正　本書に挿入せる七十餘の圖畫ば、皆名和昆蟲研究所の原圖に成り、一として轉載複寫のもの無し、故に圖側に原圖若くは轉寫等の記號を缺く。又印刷の際は、誤脫の無からんことを期し、嚴密の校正を加へたるも、靜思冷眼を以て、子細に之を讀下せば、なほ必ずや、指摘ずべき節の多からんことを恐る。就中學名の違ふもの、和名の穩かならぬもの、漢字の適らざるもの等を檢出せば、重版の日これを補訂するに吝ならざるべしと雖も、幸にまた讀者の示教を蒙ふるあらば、啻り名和昆蟲研究所の面目たるに止めず、實に斯學界の慶福たらん、豫じめ此意を諒とせよ。

明治三十五年七月中旬

編　者　識

全國昆蟲展覽會出品目錄目次

第一章　昆蟲展覽會出品目錄の必要……一
第二章　分類標本ょ於ける蟲種別……三
膜翅目（HTMENOPTERA）……三
食葉類……四　食樹類……五
寄生類……五　有管類……九
兩性類……一一　集英類……一二
鞘翅目（COLEOPTERA）……一
象鼻蟲類……一五　異節類……一七
食葉莖類……一九　薄片狀類……二一
薄片狀角類……二五　鋸齒狀角類……三一
棍棒狀角類……三三　食肉類……三七
雙翅目（DIPTERA）……四三
總絲類……四四　項刺類……四五
側刺類……四八
鱗翅目（LEPIDOPTERA）……五三
胡蝶類……五三　弄花蝶類……六二
天蛾類……六三　木蠹蛾類……六六
蠶蛾類……六七　糖蛾類……七一
尺蠖蛾類……七五　小蛾類……七八
毛翅目（TRICHOPTERA）……八〇
石蠶類……八一
脈翅目（NEUROPTERA）……八二
水棲類……八二　陸棲類……八三
擧尾蟲類……八五
有吻目（RHYNCHOTA）……八五
貝殼蟲類……八六　木蝨類……八六
浮塵子類……八七　蟬類……八九
水棲類……九一　濕生類……九二
陸棲四節類……九二　陸棲五節類……九五
總翅目（THYSANOPTERA）……九八
尨蟲……九八
直翅目（ORTHOPTERA）……九九
蠼螋類……一〇〇　走脚類……一〇〇
緩步類……一〇一　跳脚類……一〇二
長角類……一〇四

擬脈翅目（PSEUDO-NEUROPTERA）……一〇七
積翅亞目……一〇七　蜻蛉亞目……一〇七
蜉蝣亞目……一一二
彈尾目（THYSANURA）……
毛尾亞目……一一三
第三章　害蟲標本に於ける蟲種別……一一四
有害蟲……一一五
穀菽の害蟲類……一一六　蔬菜の害蟲類……一一九
特用植物の害蟲類一二一　葉樹の害蟲類……一二二
果園の害蟲類……一二四　農林の害蟲類……一二五
動物の害蟲類……一三四
第四章　益蟲標本に於ける蟲種別……一三六
有益蟲……一三六
寄生蟲類……一三七　食肉蟲類……一三九
効用蟲類……一四七　雜蟲類（附）……一四八
第五章　敎育用標本其他の出品……一四九
第六章　出品物と其出品者……一五一

附錄目次

第一　昆蟲展覽會開設の計畫……一五八
第二　昆蟲展覽會役員の選定……一六三
第三　開會の設備と會場の整理……一六七
第四　開會式前後の光景……一七〇
第五　出品物の審査方法……一七三
第六　褒賞授與式の擧行……一七六
第七　閉會式と會場の閉鎖……一八六
第八　昆蟲展覽會開場中の雜件……一八八
第九　閉場後に於ける蟲種の調査……一九三
第十　昆蟲展覽會の殘務處理……一九六
第十一　昆蟲の名稱に關する意見……一九八
第十二　全國昆蟲展覽會の効果……二〇三
附記　二件

昆蟲叢書第壹編

全國昆蟲展覽會出品目録

名和昆蟲研究所　編輯部　編

第一章　昆蟲展覽會出品目録ノ必要

回顧スレバ、吾ガ名和昆蟲研究所ガ、明治三十二年九月、全國昆蟲展覽會開設ノ必要ヲ唱道シ、翌春三月三日ヲ以テ、ソノ趣旨書及ビ會則ヲ發表シ、尋デ本年四月ヨリ、第一回全國昆蟲展覽會ヲ岐阜市ニ開催スルヤ、幸ヒニ三府二十一縣ノ同志ヨリ出品ノ昆蟲標本ハ、六百七十三函ノ多キヲ算シ、ソノ蟲品優ニ千種ニ餘リ、其頭數マタ十六萬ノ上ニ出デ、此種ノ會ノ原始トシテハ、稍々滿足ノ効果ヲ收得タルノミナラズ、各地ニ於ケル斯學思想ノ淺深ヲモ測度シ、又多少ノ刺戟ヲ世人ニ與ヘテ、昆蟲ノ輕視スベカラザルノ理ヲ悟ラシメタルニ似タリ。特ニ本邦ニ於テ、昆蟲學ヲ講ズルニ至リシヨリ、既ニ二十

年ノ久シキヲ經ルモ、嘗テ一タビモ、其分布區域等ニ調査ヲ加ヘザルヲ以テ、之ガ應用ニ際シ、從來確乎タル方針ヲ定メ難カリシニ、今ヤ略ボ其一斑ヲ窺ヒ知ルコトヲ得タルハ、主トシテ、コレガ開設ノ功ニ歸セザルヲ得ザル可キ歟、蓋シ必ズシモ自負ノ言ニアラザル可シ。

ソモ昆蟲展覽會開設ノ目的タルヤ、斯學講明ノ基礎ヲ作爲シ、將來コレニヨリテ應用ノ利ヲ擧グルニ外ナラザルモ、マタ傍ハラ啓誘示導ノ功ヲ全ウセント欲スルニアリキ。是故ニ、ソノ出品ノ洽ネク邦産ヲ網羅スルト、セザルトニ論ナク、已得ノ成績ヲ公ニシテ、調査事業ノ端緒タラシムルト共ニ、同志ノ憤發ヲ促スノ利器タヲシムベキハ、展覽會ノ主催タル名和昆蟲研究所ガ、當ニ負擔スベキ責務ノ一タルコトヲ自信シ、畢ニ事ノコヽニ及ベルナリ。

但、蟲品目錄ノ書タル、ソノ範圍ノ狹小ナルニ加ヘテ、其記述ハ簡潔ヲ尙ブガ故ニ、初學者ヲシテ、往々結氷ヲ嚙ムノ感アラシム可キモ、素トコレ人類ノ戸口調査原簿ト同ジク、頗ブル重大ニ、且有用ノモノニ屬シ、現今ノ時

論タル名稱一定ヲ解決スルニツケ、將タ種族分布ヲ識別スルニツケ、學者ノ座右片時モ缺クベキニアラズ、然ルヲ世界ニ於テ、最トモ昆蟲ノ品種ニ富メリト稱セラル、本邦ニ反ツテ未ダ之ナキハ、寧ロ怪訝ノ極ミナラズヤ。コレ今回昆蟲叢書ヲ刊行スルニ際リ、特ニ此篇ヲ取リテ其首班ニ置ク所以ナリ。

第二章　分類標本ニ於ケル蟲種別

分類標本ハ、展覽會規則ノ上ニ於テハ、第壹部第壹類ト稱シ、都テ三十六點、三百十函アリ。其出品ハ京都、三重、愛知、岐阜、宮城、岩手、富山、岡山、和歌山、大分ノ一府九縣ニシテ、點數個數ノ多キハ共ニ第一位ニ居ル。今コレヲ各類目ニ分ツトキハ順次左ニ列擧スルガ如シ。

◉膜翅目（HYMENOPTERA.）

膜翅目とは、蜂、蟻の如き蟲種の總稱にて、皆完全變態を遂ぐ。その屬、概ね四翅を有すれども、稀には無翅のものも之あり。翅には脈條特に少なく、孰れも薄膜樣をなして、前の一雙は、後の一

雙より、大形なるを常とす。口部の構造は、能く咬嚼、舐吸に適し、其雌の腹端には、螫針若くは劍狀をなせる產卵管を有す。其管の長きものに至りては、約ろ四五寸に達するもあり。此目に屬するもの、幼蟲は、多くは無脚なるも、また中には有脚なるもありて、前者は雙翅目蠅族の幼蟲たる蛆に酷似し、後者は十八脚乃至二十二脚を有し、宛然、鱗翅目の螟蛉類に彷彿たり。幼蟲の老熟したるものは、繭を結びて蛹となり、尋で成蟲に化す。

有錐亞目（Terebrantia）

第一　食樹類

（一）鋸蜂科（ノコギリバチクワ）（TENTHREDINIDAE）

一、かぶらははばち　蕪菁鋸蜂（カブラバチ）（Athalia spinarum, Fab.）　松崎（愛知）

二、ゑまははばち　綅鋸蜂（縞葉蜂）（Rhogogastera viridis, Linn.）　河合（岐阜）

三、ばらののこぎりばち　薔薇鋸蜂（バラノコギリバチ）（Hylotoma pagana, Panz.）　宮林（愛知）

四、るりちゅうれんじばち　碧色注連寺鋸蜂（ルリチユウレンジ）（Hylotoma similis, Vollen.）　小幡（岐阜）　大矢（三重）　水野（岐阜）

五、をずぐろははばち　雄黒鋸蜂（Dolerus japonicus, Kirby.）　津屋（岐阜）

六、むねあか はばち 胸赤鋸蜂 (Dolerus sp?) 津屋(岐阜)

七、のこぎり ばち 鋸蜂(葉蜂) (Dolerus obscurus, Marlatt.) 岩越(岐阜)

八、おほ つまぐろ はばち 大褄黒鋸蜂 (Tenthredo providens, Smith.) 大橋(岐阜)

九、まつ の きいろ はばち 松樹黄色鋸蜂 (Lophyrus pini, (Latr) Klug.) 松崎(愛知)

一〇、のこぎりばち の一種 鋸蜂一種 (Dolerus sp?) 伊東(三重)

第二　食樹類

(一)樹蜂科（キバチクワ） (SIRICIDAE)

一一、き ばち 樹蜂 (Tremex similis, Marlatt.) 若林(岐阜) 水野(岐阜)

一二、おほ きばち 大形樹蜂 (Tremex sp ?) 水野(岐阜)

一三、き はら きばち 黄腹樹蜂 (Sirex sp ?) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

第三　寄生類

(一)姫蜂科（ヒメバチクワ） (ICHNEUMONIDAE)

一四、あげは の やどり ばち 鳳蝶(揚羽蝶)寄生蜂 (Psilomastax mactator, Tosq.) 松崎(愛知)

一五、みのむし の やどりばち 蓑蟲寄生蜂 (Gn? sp?) 大橋(岐阜)

キバチの圖



一六、**きほし やどりばち** 黄星寄生蜂 (Ichneumon sp?) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大矢(三重)

一七、**はらあか やどりばち** 腹赤寄生蜂 (Ichneumon sp?) 下飯坂(岩手)

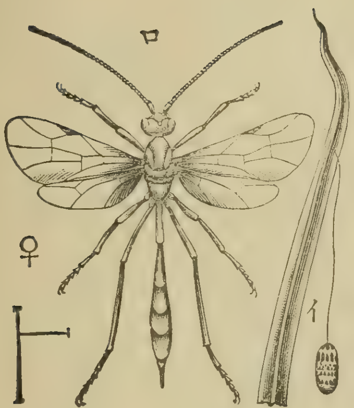
一八、**ひげじろ やどりばち** 髭白寄生蜂 (Ichneumon sp?) 岩見(京都)

一九、**やどりばち** の一種 寄生蜂一種 (Ichneumon sp?) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)
水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

二〇、**うすば やどりばち** 薄翅寄生蜂 (Paniscus obturiceps, Kriech,) 岩見(京都) 小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 松崎(愛知) 水野(岐阜)

二一、**うすば やどりばち** の一種 薄翅寄生蜂一種 (Ophion sp?) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 阿刀田(宮城)
水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

フクダハラバチの圖 (イ)は繭(ロ)は成蟲



二二、**きすぢ やどりばち** 黄筋寄生蜂 (Gn? sp?) 後藤三(岐阜)

二三、**やどり ばち** 寄生蜂 (Ophion sp?) 伴野(三重) 大矢(三重)
吉澤(岐阜) 高橋(岐阜)

二四、**こ やどりばち** 小形寄生蜂 (Ophion sp?) 堀口(岐阜) 小里(岐阜)

二五、**ふくだはら ばち** 福俵(フクダワラ)寄生蜂 (Ophion sp) 岩見(京都)

大矢(三重)

二六、ひめ ばち 姫寄生蜂 (Pimpla sp?) 津田(岐阜) 堀口(岐阜)

二七、ほそ をなが ばち 細尾長姫寄生蜂 (Pimpla sp?) 大矢(三重) 吉澤(岐阜)

二八、くろ をながばち 黒尾長姫寄生蜂 (Pimpla sp?) 小里(岐阜) 大橋(岐阜) 天野(岐阜)

二九、ふしだか をながばち 高節尾長姫蜂 (Pimpla sp?) 伴野(三重)

三〇、きまだら をながばち 黄斑尾長蜂 (Rhyssa sp?) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 熊谷(岐阜)

(二)小繭蜂科(コマユバチクワ) (BRACONIDAE)

三一、をなが ばち 馬尾蜂(尾長蜂) (Bracon penetrens, Smith.) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜)

三二、か もどき ばち 擬蚊小蜂 (Gn? sp?) 岩見(京都) 伴野(三重)

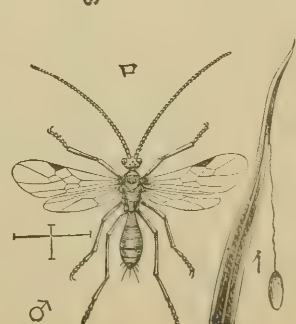
三三、き まゆ やどり ばち 黄色繭寄生蜂 (Microgaster sp?) 伴野(三重) 津田(岐阜)

三四、いねあをむし の やどりばち 稲螟蛉(青蟲)寄生蜂(イネアオムシヤドリバチ) (Microgaster sp?) 伴野(三重) 大矢(三重) 高橋(岐阜)

三五、うめけむし の やどりばち 梅毛蟲寄生蜂 (Microgaster sp?) 伴野(三重)

カモドキバチの圖





ムギダワラバチの圖
（イ）は繭　（ロ）は成蟲

三六、こまゆ ばち の一種 小繭蜂一種（Microgaster sp?）阿刀田（宮城）

三七、はもぐりむし の やどりばち 葉潜蟲寄生蜂（ハムグリヤドリバチ）（Gn? sp?）伊東（三重）

三八、むぎだはら ばち 麥俵小繭蜂（ムギダワラ）（Gn? sp?）大矢（三重）

（三）小蜂科（コバチクワ）（CHALCIDIDAE）

三九、ももぶと やどりばち 腿太寄生小蜂（Chalcis mikado, Cam.）大橋（岐阜）大矢（三重）

四〇、かまきりたまご の やどりばち 螵蛸寄生小蜂（カマキリタマゴバチ）（Leucospis sp?）伊東（三重）

四一、こぬか ばち 小糠蜂（Gn? sp?）大矢（三重）

（四）卵蜂科（タマゴバチクワ）（PROCTOTRYPIDAE）

四二、はまきむし の やどりばち 葉捲蟲寄生蜂（ハマキヤドリバチ）（Goniozus platynotae, Ashm.）津屋（岐阜）



モモブトヤドリバチの圖



ハマキヤドリバチの圖

有針亞目 (Aculeata)

第四 有管類

（一）青蜂科 (CHRYSIDIDAE)

四三、るりばち 碧蜂 (Stilbum amethyslinum, Fabr.) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 松崎(愛知) 水野(岐阜)

（二）蟻科 (FORMICIDAE)

四四、ひめくろあり 姫黑蟻 (Lacinus fuliginosus, Latr.) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 阿刀田(宮城)

四五、くまあり 黑蟻(熊蟻) (Camponotus marginatus, Latr) 若林(岐阜) 津田(岐阜) 水野(岐阜)

四六、ありの一種 蟻一種 (Gn? sp?) 松崎(愛知) 堀口(岐阜)

（三）土蜂科 (SCOLIIDAE)

四七、くろはらながばち 黑色腹長蜂 (Scolia quadrifasciata, Fab.) 宮林(愛知) 後藤二(岐阜)

四八、けいとうばち 雞冠花蜂 (Scolia sp?) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 下飯坂(岩手)

四九、つちすがり 土蜂 (Elis plumipes.) 岩見(京都) 天野(岐阜) 下飯坂(岩手)

五〇、こつちばち 小土蜂 (Elis sp.?) 岩越(岐阜) 堀口(岐阜) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜)

後藤三（岐阜） 天野（岐阜） 水野（岐阜）

（四）鼈甲蜂科（ベツカフバチクワ） （POMPILIDAE）

五一、べっかふ ばち 鼈甲蜂（ベツコウバチ） （Mygnimia flava, Drury.） 岩見（京都） 大橋（岐阜） 小里（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤幸（三重）

五二、もんあか くろ ばち 紋赤黒蜂（モンクロバチ） （Pompilus atrox, Smith.） 堀口（岐阜） 小幡（岐阜） 大矢（三重） 若林（岐阜） 天野（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

五三、どろ ばち の一種 泥蜂一種 （Gn? sp?） 水野（岐阜）

（五）細腰蜂科（ジガバチクワ） （SPHECIDAE）

五四、じが ばち 細腰蜂（似我蜂） （Ammophila sp?） 下飯阪（岩手）

五五、おほ じがばち 大形細腰蜂 （Ammophila sp?） 下飯阪（岩手）

五六、るり じがばち 碧色細腰蜂 （Chlorion chrysis, Christ.） 伴野（三重）

五七、くろ じがばち 黒色細腰蜂 （Sphex argentifrons, Lep.） 伴野（三重） 大橋（岐阜）

五八、あな ばち 地籠（穴蜂） （Larrada aurulenta, Latr.） 若林（岐阜） 吉澤（岐阜） 津田（岐阜） 天野（岐阜）

五九、ぢ ばしり ばち 地走蜂 （Sphecius sp?） 岩越（岐阜） 大橋（岐阜） 吉澤（岐阜） 津田（岐阜）

第五　兩性類

(一)蜾蠃科（EUMENIDAE）

六〇、とっくりばち　蜾蠃（徳利蜂）（Eumenes pomiformis, Fab.）伴野（三重）天野（岐阜）

六一、すずばち　瓠蜂（鈴蜂）（Eumenes petiolata Fab.）岩越（岐阜）津田（岐阜）天野（岐阜）下飯阪（岩手）

六二、きすぢばち　黄筋蜂（Monovia ?）大橋（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）松崎（愛知）水野（岐阜）下飯阪（岩手）

六三、むしひきばち　蟲曳蜂（Nortonia ?）小里（岐阜）天野（岐阜）

六四、おほむしひきばち　大蟲曳蜂（Nortonia ?）水野（岐阜）

(二)胡蜂科（VESPIDAE）

六五、やまばち　大黄蜂（山蜂）（Vespa mandarina, Smith,）岩越（岐阜）伊東（三重）堀口（岐阜）伴野（三重）小幡（岐阜）大橋（岐阜）大矢（三重）小里（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）筒井（岐阜）津田（岐阜）松崎（愛知）小林（岐阜）後藤幸（三重）後藤三（岐阜）江尻（富山）天野（岐阜）宮林（愛知）下



スズバチの圖

飯阪（岩手）

六六、あか ばち 赤蜂 （Vespa ducalis, Smith.） 岩見（京都） 堀口（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 筒井（岐阜） 小林（岐阜） 後藤三（岐阜） 水野（岐阜） 下飯阪（岩手）

六七、だんご ばち 團子蜂 （Vespa crabro, L.） 伴野（三重） 堀口（岐阜） 若林（岐阜） 筒井（岐阜） 津田（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 天野（岐阜） 宮林（愛知）

六八、ぢ ばち 地蜂 （Vespa cingrilata.） 伊東（三重） 伴野（三重） 堀口（岐阜） 小幡（岐阜） 小里（岐阜） 若林（岐阜） 吉澤（岐阜） 後藤三（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手） 阿刀田（宮城）

六九、あしなが ばち 足長蜂 （Polistes chinensis, Fab.） 伊東（三重） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 大矢（三重） 小里（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 筒井（岐阜） 津田（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 後藤幸（三重） 後藤三（岐阜） 天野（岐阜） 阿刀田（宮城） 宮林（愛知）

七〇、こ あしながばち 小形足長蜂 （Polistes hebraeus, Saus.） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤三（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

七一、とびいろ あしながばち 鳶色足長蜂 （Polistes metricus ?） 水野（岐阜）

七二、ぬか ばち 糠蜂 （Polistes sp ?） 大矢（三重） 宮林（愛知） 筒井（岐阜）

第六 集英類

（一）竹蜂科　(ANDRENIDAE)

七三、おほ　はきり　ばち　大葉斷蜂　(Megachile Doderleini, Fries.)　大矢（三重）宮林（愛知）

七四、くだ　ばち　竹蜂（管蜂）(Andrena dentata, Smith.)　大矢（三重）宮林（愛知）

七五、はらあか　くだばち　腹赤管蜂　(Andrena sp?)　水野（岐阜）

（二）蜜蜂科　(APIDAE)

七六、みつ　ばち　蜜蜂　(Apis japonica, Rad.)　岩見（京都）大矢（三重）小里（岐阜）吉澤（岐阜）津田（岐阜）松崎（愛知）下飯阪（岩手）

七七、ひげなが　ばち　髭長蜂　(Melissodes bimaculatus?)　伴野（三重）大矢（三重）天野（岐阜）

七八、こ　ひげながばち　小髭長蜂　(Eucera difficilis, Perz.)　天野（岐阜）

七九、ひげながばち　の一種　髭長蜂一種　(Eucera sp?)　下飯阪（岩手）

八〇、おほ　まる　ばち　大黃蜂（大圓蜂）(Bombus ignitus, Smith.)　伴野（三重）大橋（岐阜）大矢（三重）高橋（岐阜）津屋（岐阜）後藤三（岐阜）天野（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

八一、あか　まるばち　赤圓蜂　(Bombus agorum, Fab.)　河合（岐阜）高橋（岐阜）後藤三（岐阜）水野（岐阜）下飯阪（岩手）

八二、まる　はな　ばち　圓花蜂　(Bombus alticola, Smith.)　高橋（岐阜）

八三、きまるばち 黃圓蜂（Bombus consobrinus, Smith.） 津屋（岐阜） 天野（岐阜） 小林（岐阜）

八四、くまばち 烏蜂（熊蜂）（Xylocopa circumvolans, Smith.） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 大橋（岐阜） 大矢（三重） 小里（岐阜） 若林（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 筒井（岐阜） 津田（岐阜） 津屋（岐阜） 熊谷（岐阜） 松崎（愛知） 小林（岐阜） 後藤三（岐阜） 天野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

八五、もんきばち 紋黃蜂（Nomada sp.?） 河合（岐阜） 高橋（岐阜）

（備考） 以上列記の如く、分類標本中、この目に屬するものは、都て八十有五種あり。就中、第一カブラバチより、第十三チグロキバチに至る十三種は、有害種にして、其の幼蟲は常に樹木の幹葉に加害す。第十四アゲハノヤドリバチより、第四十一ハマキヤドリバチに至る二十八種は、皆他の蟲類に寄生して、其幼蟲を斃死せしむるが故に、此名稱を得たり。第四十二ルリバチ以下、第七十二ヌカバチに至る三十一種中には、偶々蚜蟲を保護して、其蕃殖を助くる蟻螘の如きものもあれど、或ひは他蟲に寄生するもの、或ひは他蟲を食害する食肉性のもの、或ひは朽木爛泥を以て巣窩を營なみ、その幼蟲を養育するもの等ありて、概むね有益種に屬せり。次に第七十三オホハキリバチより、第八十五モンキバチに至る十三種中には、他の巣房に寄居するものも之ありと雖ども、多くは花粉花蜜を以て常食とし、敢て蝕害を加へざるのみか、人生に有用の蜜糖の供給者たるミツバチ、蔬園の花媒をなすオホマルバチ等また此中にあれば、一二の有害種を混ぜりとて、只管惡むべきにはあらず。

◉鞘翅目（COLEOPTERA）

鞘翅目とは、昆蟲綱中最とも多數を占むる所の甲蟲類の總名にして、また甲翅類とも稱せらる。歩行蟲、瓢蟲、叩頭蟲、吉丁蟲、金龜子、象鼻蟲等の如く、翅鞘の堅硬なるものは、皆この中にあり。

凡そ此目に屬する蟲種は概むね稍奇異の形態、特性を有するも、其變態の完全に、且つ四翅を有するに至りては、背て他目のものと異ならず。前翅は角質に變じて、常に後翅と腹部とを覆ひ、後翅は概むね膜質をなして透明なり。體軀は大小一ならざるも、口部は皆咬嚙に適す。但し或種の如く全く後翅を缺如するもあり。

其幼蟲は古來、蠐螬、蠹蟲、鐵砲蟲、針線蟲等と呼ばはれ、其棲息處と形態の異なるに隨うて、各々名稱を異にせり。多くは六脚を有するも亦無脚にして匍行するものも之あり。而して其性質より言へば、過半は有害蟲にして、有益蟲は比較上鮮なし。

象鼻亞目（Rhynchophora）

第一　象鼻蟲類

（一）象鼻蟲科（ザウムシクワ）（CUCULIONIDAE）

八六、しぎ ざう むし　鷸象鼻蟲（シギゾウムシ）（Balaninus camellae, Roelofs.）　宮林（愛知）

八七、あゐ の ざうむし　藍象鼻蟲（アイノゾウムシ）（Lixus impressiventris, Roel.）　宮林（愛知）

八八、まつ の きぼし ざうむし　松樹黄星象鼻蟲（マツノキボシゾウムシ）（Pissodes pini, L.）　河合（岐阜）

八九、ごばう の ざうむし　牛蒡象鼻蟲（ゴボウノゾウムシ）（Larinus griseopilosus, Roel.）　大矢（三重）　若林（岐阜）

九〇、をじろ ざうむし 尾白象鼻蟲（オジロゾウムシ） (Alcides erro, Pascoe.) 伊東（三重） 津屋（岐阜） 宮林（愛知）

九一、ふたほし ざうむし 二星象鼻蟲（フタホシゾウムシ） (Gn? sp?) 宮林（愛知）

九二、いね の ざうむし 稻象鼻蟲（イネノゾウムシ） (Erirhinus oryzae, Cziki.) 伴野（三重）

九三、まつ の まだら ざうむし 松樹斑象鼻蟲（マツノマダラゾウムシ） (Gn? sp?) 宮林（愛知）

九四、おほ ざうむし 大象鼻蟲（オオゾウムシ） (Sipalus granulatus, F.) 伴野（三重） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 水野（岐阜）

九五、ひめ ざうむし 姫象鼻蟲（ヒメゾウムシ） (Baris deplanata, Roel.) 岩見（京都） 伴野（三重） 津田（岐阜）

九六、あゐの こくろ ざうむし 藍小黒象鼻蟲（アイノコクロゾウムシ） (Ceutorhynchus asper, Roel.) 大矢（三重）

九七、むし くさ の ざうむし 蚊母草象鼻蟲（ムシクサゾウムシ） (Gymnetron sp?) 伊東（三重） 津田（岐阜）

九八、こく ざうむし 米牛（穀象）（コクゾウ） (Calandra elongata, Roel.) 津田（岐阜）

九九、ざうむし の 一種 象鼻蟲一種 (Gn? sp?) 伊東（三重） 岩越（岐阜）

一〇〇、なし の ざうむし 梨子象鼻蟲（ナシゾウムシ） (Rhynchites heros, Roel.) 伊東（三重） 伴野（三重） 河合（岐阜） 宮林（愛知）

（一一）青色象鼻蟲科（アヲゾウムシクワ） (OTIORHYNCHIDAE)

一〇一、しろ ざうむし 白色象鼻蟲（シロゾウムシ） (Episomus turritus, Gyll.) 伊東（三重） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 宮林

（愛知）

一〇二、あを ざうむし 青色象鼻蟲（Chlorophanus grandis, Roel.） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜）

一〇三、こ ふき ざうむし 粉吹象鼻蟲（Eugnathus distinctus, Roel.） 河合（岐阜） 宮林（愛知）

一〇四、まつ みどり の ざうむし 松嫩芽象鼻蟲（Scythropus scutellaris, Roel.） 宮林（愛知）

一〇五、しらくも ざうむし 白雲象鼻蟲（Piazomias lewisi, Roel.） 伊東（三重） 伴野（三重） 高橋（岐阜）

一〇六、つちいろ ざうむし 土色象鼻蟲（Sitones japonicus, Roel.） 津田（岐阜）

一〇七、おとし ぶみ ざうむし 落書象鼻蟲（Apoderus jekelii, Roel.） 大矢（三重） 下飯阪（岩手）

一〇八、ひめ おとしぶみ 姫落書象鼻蟲（Apoderus sp?） 伴野（三重）

一〇九、くろぼし おとしぶみ 黒星落書象鼻蟲（Apoderus tuberculatus, Harold） 伴野（三重）

正鞘翅亞目（Coleoptera Genuina）

第一 異節類

（一）地膽科（MELOIDAE）

一一〇、つち はんめう 地膽（土斑猫）（Meloe corvinus, Marseul.） 堀口（岐阜） 大橋（岐阜） 小里（岐阜） 後藤三（岐阜）

ツチハンメウの圖（雌蟲）



一一一、こつちはんめう　小地膽(コツチハンミヨウ)　(Meloe proscarabaeus, L.)　津田(岐阜)



マメハンメウの圖(雌蟲)

一一二、まめはんめう　葛上亭長(マメハンミヨウ)(豆斑猫)　(Epicauta Gorhami, Marseul.)　若林(岐阜)　高橋(岐阜)　津田(岐阜)　松崎(愛知)　水野(岐阜)　宮林(愛知)

一一三、おほくちきむし　大形朽木蟲(オオクチキムシ)　(Allecula fuliginosa, Maklin.)　堀口(岐阜)　西岡(和歌山)

一一四、こくちきむし　小形朽木蟲　(Allecula rufipes?)　西岡(和歌山)

(一二)僞歩行蟲科(ゴミムシダマシクワ)　(TENEBRIONIDAE)

一一五、こごみむしだまし　小僞歩行蟲　(Lyprops sinensis, Marseul.)　小里(岐阜)　津田(岐阜)

一一六、ごみむしだまし　僞歩行蟲　(Tenebrio ventralis, Marseul.)　岩見(京都)　伊東(三重)　堀口(岐阜)　河合(岐阜)　高橋(岐阜)　津田(岐阜)

一一七、すなもぐりむし　砂潜蟲(スナムグリ)　(Opatrum japanum, Mots.)　津田(岐阜)

一一八、おほすなもぐりむし　大砂潜蟲(オオスナムグリ)　(Opatrum recticolle, Mots.)　高橋(岐阜)　津田(岐阜)　津屋(岐阜)

一一九、みはしらむし　御柱蟲　(Hemicera zigzaga, Mars.)　岩見(京都)　後藤三(岐阜)

一二〇、ひめきまはりむし　姫木廻蟲(ヒメキマワリ)　(Elixota curva, Mars.)　岩見(京都)



コゴミムシダマシの圖

一二一、きまはり むし 木廻蟲 (Plesiophthalmus nigrocyaneus, Mots.) 大矢(三重) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城) 後藤三(岐阜)

第二　食葉莖類

(一)豆象鼻蟲科 (BRUCHIDAE)

一二二、ひげ ざうむし 髭象鼻蟲 (Bruchus scutellaris, F.) 伴野(三重)

(二)葉蟲科 (CHRYSOMELIDAE)

一二三、あかがね は むし 銅色葉蟲 (Acrothinium Gaschkewitchi, Motsch.) 岩見(京都)

一二四、よもぎ の ひめ はむし 艾姫葉蟲 (Nodina chalcosoma, Baly.) 若林(岐阜)

一二五、くろぼし はむし 黑星葉蟲 (Chryptocephalus instabilis, Baly.) 伊東(三重) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)

一二六、ばら の るり はむし 薔薇碧色葉蟲 (Chryptocephalus approximatus, Baly.) 若林(岐阜) 宮林(愛知)

一二七、ふぢ の はむし 藤葉蟲 (Phytodecta rubripennis, Baly.) 小里(岐阜)

一二八、やつぼし はむし 八星葉蟲 (Chryptocephalus japanus, Baly.) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)

一二九、よめふり の はむし 白楊葉蟲 (Lina populi, L.) 後藤三(岐阜)

一三〇、よめふり はむし の一種 白楊葉蟲一種 (Lina sp?) 大矢(三重)

一三一、やなぎ の はむし 柳葉蟲(ヤナギハムシ) (Lina 20-punctata, Scop.) 伊東(三重) 高橋(岐阜) 下飯阪(岩手)

一三二、ぎしぎし の はむし 野大黄葉蟲(ダイオウハムシ) (Gastrophysa atrocyanae, Motsch.) 岩越(岐阜) 小幡(岐阜)

一三三、さゐ はむし 蔬菜葉蟲(ナノハムシ) (Phaedon incertum, Baly.) 伴野(三重) 西岡(和歌山) 熊谷(岐阜)

一三四、やなぎ の るり はむし 柳樹碧色葉蟲 (Gynandrophthalma Chrysomeloides, Lacord.) 岩越(岐阜) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

一三五、はんのき の はむし 赤楊葉蟲 (Chrysomela sp?) 小里(岐阜)

一三六、よもぎ の はむし 艾葉蟲(ヨムギハムシ) (Chrysomela aurichalcea, Gebl.) 岩見(京都) 西岡(和歌山) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 宮林(愛知)

一三七、くは の はむし 桑葉蟲(クワハムシ) (Luperus impressicollis, Motsch.) 伊東(三重) 岩見(京都) 伴野(三重) 大矢(三重) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

一三八、うり の はむし 守瓜(ウリハムシ) (Aulacophora. femoralis, Motsch.) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 阿刀田(宮城)

一三九、くろ うりはむし 黒蠕 (Aulacophora nigripennis, Motsch.) 若林(岐阜)

一四〇、うりはむし もどき 擬守瓜 (Luperodes discrepens, Baly.) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

一四一、ひめ はむし 姫葉蟲 (Phyllotreta funesta, Baly.) 岩見(京都)

一四二、ふたすぢ はむし 二筋葉蟲 (Monolepta nigro-bilineata, Motsch.) 津田(岐阜)

一四三、ほたる はむし 螢葉蟲 (Monolepta fulvicollis, Jacoby.) 若林(岐阜)

一四四、かみなり はむし 雷鳴葉蟲 (Graptodera coerulescens, Baly.) 若林(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜)

一四五、なのれみ はむし 蔬菜蚤葉蟲 (Psylliodes punctifrons, Baly.) 津田(岐阜)

一四六、かめのかふ はむし 龜甲葉蟲(カメノコハムシ) (Melospila consociata, Boly.) 岩見(京都)

一四七、あとぼし はむし 後星葉蟲 (Aulacophora angulicollis, Baly.) 高橋(岐阜)

一四八、ぢんがさ むし 金花蟲(陣笠蟲) (Aspidomorpha difformis, Motsch.) 岩見(京都) 後藤三(岐阜)

一四九、あかざ の ぢんがさむし 藜金花蟲 (Cassida nebulosa, L.) 岩見(京都)

第三 薄片狀類

(一)天牛(カミキリムシ)科(クワ) (CERAMBYCIDAE)

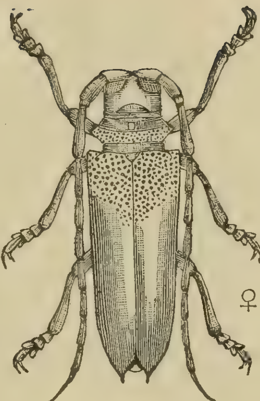
一五〇、のこぎり かみきり むし 鋸歯狀天牛(ノコギリカミキリ) (Prionus insularis, Motsch.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 大矢(三重) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

一五一、くろ かみきりむし 黑天牛(クロカミキリ) (Spondylis buprestoides, L.) 大矢(三重) 水野(岐阜)

一五二、うすば かみきりむし 薄翅天牛(ウスバカミキリ) (Aegosoma sinicum, White.) 河合(岐阜) 宮林(愛知)

一五三、みやま　かみきりむし　深山天牛（ヤマカミキリ）（Neccerambyx raddei, Solsky.）　伴野（三重）　堀口（岐阜）　小幡（岐阜）　若林（岐阜）　吉澤（岐阜）　高橋（岐阜）　小林（岐阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）

一五四、とらふ　かみきりむし　虎斑天牛（トラカミキリ）（Xylotrechus chinensis, Chevr.）　岩見（京都）　伴野（三重）　小幡（岐阜）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　吉澤（岐阜）　高橋（岐阜）　小林（岐阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）



クワカミキリの圖（雌）♀

一五五、たけ　の　とらふ　かみきりむし　竹虎斑天牛（タケノトラカミキリ）（Clytanthus annularis, F.）　小幡（岐阜）　宮林（愛知）

一五六、くはのかみきりむし　齧桑（クワカミキリ）（Apriona rugicollis, Chevr.）　伴野（三重）　堀口（岐阜）　小幡（岐阜）　大橋（岐阜）　大矢（三重）　小里（岐阜）　河合（岐阜）　吉澤（岐阜）　高橋（岐阜）　筒井（岐阜）　後藤三（岐阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）



ホシカミキリの圖（雌）♀

一五七、ほし　かみきりむし　白星天牛（ホシカミキリ）（Melanauster chinensis, Forster.）　岩見（京都）　伴野（三重）　堀口（岐阜）　小幡（岐阜）　大矢（三重）　若林（岐阜）　吉澤（岐阜）　高橋（岐阜）　筒井（岐阜）　津屋（岐阜）　熊谷（岐阜）　松崎（愛知）　後藤三（岐阜）　小林（岐阜）　阿刀田（宮城）　水野（岐阜）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

一五八、はな かみきりむし の一種 花天牛一種（ハナカミキリ） (Leptura sp?) 河合（岐阜）

一五九、おほ ひげなが かみきりむし 大形髭長天牛（オホヒゲナガカミキリ） (Gn? sp?) 河合（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

一六〇、はんのき の かみきりむし 赤楊天牛（ハンノキカミキリ） (Saperda sanguinolenta, Thomson.) 小幡（岐阜）

一六一、べにいろ かみきりむし 紅色天牛（ベニカミキリ） (Gn? sp?) 後藤三（岐阜）

一六二、すぎ の かみきりむし 杉樹天牛（スギカミキリ） (Sympeziocera japonica, Lacord.) 高橋（岐阜）

一六三、うすいろ きくすひ 薄色菊牛（ウスイロキクスイ） (Oberea mixta, Bates.) 下飯阪（岩手）

一六四、ふさ ひげ かみきりむし 總髭天牛（フサヒゲカミキリ） (Rosalia bates, Harold.) 下飯阪（岩手）

一六五、こ すぎ かみきりむし 小形杉樹天牛（コスギカミキリ） (Semanotus rufipennis, Motsch.) 伊東（三重） 熊谷（岐阜）

一六六、き まだら かみきりむし 黄斑天牛（キマダラカミキリ） (Neocerambyx chrysothrix, Bates.) 伴野（三重） 大橋（岐阜） 河合（岐阜） 若林（岐阜） 津屋（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

一六七、たけ の べに かみきりむし 竹紅色天牛（タケノベニカミキリ） (Purpuricenus Temminckii, Guerin.) 伊東（三重） 岩見（京都） 堀口（岐阜） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 大矢（三重） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 津屋（岐阜） 高橋（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

一六八、ほし べに かみきりむし 斑點紅色天牛（ホシベニカミキリ） (Gn? sp?) 大矢（三重） 宮林（愛知）

一六九、おほ きくすひ 大菊牛（オオキクスイ） (Oberea japonica, Thunb.) 小里（岐阜） 若林（岐阜） 高橋（岐阜）

一七〇、せすぢ かみきりむし 脊筋天牛（セスヂカミキリ） (Xystrocera globosa, Oliv.) 堀口（岐阜） 津屋（岐阜）

一七一、ほたる かみきりむし 螢天牛（ホタルカミキリ） (Dere thoracica, White.) 若林（岐阜）

一七二、きぼし かみきりむし 黄星天牛（キボシカミキリ） (Gn? sp?) 宮林（愛知）

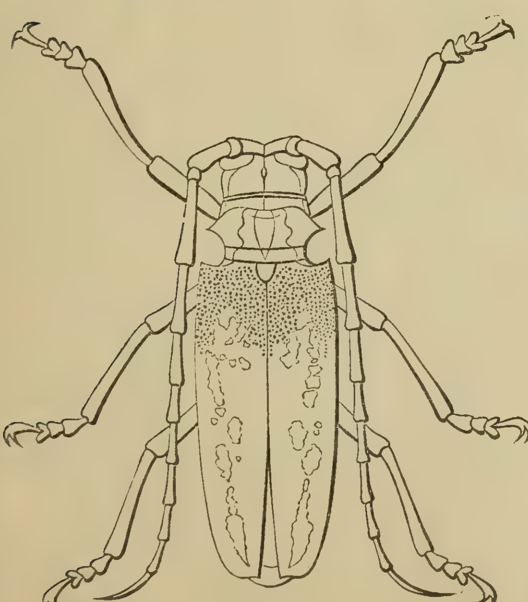
一七三、よすぢ かみきりむし 四筋天牛（ヨスヂカミキリ） (Leptura ochraceofasciata, Motsch.) 河合（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

一七四、ひげぼそ かみきりむし 髭細天牛（ヒゲボソカミキリ） (Gn? sp?) 宮林（愛知）

一七五、やはず かみきりむし 矢筈天牛（ヤハズカミキリ） (Uraecha bimaculata, Thunb.) 宮林（愛知）

一七六、しま かみきりむし 柳條（縞）天牛（シマカミキリ） (Gn? sp?) 宮林（愛知）

一七七、かみ きり むし 天牛（カミキリ）（齧髪蟲） (Batocera lineolata, Chev.) 岩見（京都） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 大矢（三重） 小里（岐阜） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤三（岐阜） 水野（岐阜）



カミキリムシの圖

宮林（愛知）

一七八、みどり かみきりむし 綠天牛（ミドリカミキリ） （Callichroma tenuatum, Bates.） 岩見（京都） 河合（岐阜） 津屋（岐阜） 宮林（愛知）

一七九、をほ さび かみきりむし 大形銹天牛（オオサビカミキリ） （Praonetha caudata, Bates.） 津屋（岐阜）

一八〇、ひめ くは かみきりむし 姫齧桑（ヒメクワカミキリ） （Praonetha sp?） 宮林（愛知）

一八一、さび かみきりむし 銹色天牛（サビカミキリ） （Praonetha zonata, Bates.） 宮林（愛知）

一八二、むぎ の かみきりむし 麥天牛（ムギカミキリ） （Gn? sp?） 宮林（愛知）

一八三、かみきりむし の一種 天牛一種 （Gn? sp?） 岩見（京都）

第四 薄片狀角類

（一）金龜子科（コガネムシクワ） （SCARABAEIDAE）

一八四、ひめ だいこく むし 姫大黑蟲 （Onthophagus viduus, Harold.） 伴野（三重） 後藤三二（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

一八五、をほ ふたほし こがね むし 大形二星金龜子（オオフタホシコガネ） （Aphodius globulus, Harold.） 岩見（京都）

一八六、むね あか こがねむし 胸赤金龜子（ムネアカコカネ） （Bolboceras nigroplagiatum, C. W.） 宮林（愛知） 熊谷（岐阜）

一八七、こうか こがねむし 後架金龜子(コウカコガネ) (Geotrupes laevistriatus, Motsch.) 堀口(岐阜) 津田(岐阜) 宮林(愛知)

一八八、だいこく むし 大黑蟲 (Copris ochus, Motsch.) 伴野(三重)

一八九、まろ むし 蜣螂 (Aphodius variabilis, C. W.) 西岡(和歌山) 河合(岐阜) 津田(岐阜) 熊谷(岐阜)

一九〇、くろ こがねむし 黑金龜子(クロコガネ) (Lachnosterna parallela, Mots.) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)

一九一、おほ とびいろ こがねむし 大鳶色金龜子(オオトビイロコガネ) (Heptophylla picta, Motsch.) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城)

一九二、こ かぶとむし 小飛生蟲(小兜蟲) (Phileurus chinensis, Falderm.) 筒井(岐阜)

一九三、こ はな もぐり 小花潜蟲(コハナムグリ) (Ectinohoplia variolosa, Wateri.) 河合(岐阜) 宮林(愛知)

一九四、びろうど こがねむし 剪絨金龜子(ビロウドコガネ) (Serica orientalis, Motsch.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 小里(岐阜) 熊谷(岐阜)

一九五、とびいろ こがねむし 鳶色金龜子(トビイロコガネ) (Serica japonica, Motsch.) 岩越(岐阜) 河合(岐阜) 後藤幸(三重) 熊谷(岐阜) 下飯阪(岩手)

一九六、くろ ふ こがねむし 黑斑金龜子(クロフコガネ) (Phyllopertha octocostata, Burm.) 宮林(愛知)



ヒゲコガ子の圖（雄）

一九七、ちゃいろ こがねむし 茶色金龜子（チャイロコガネ）（Adoretus tenuimaculatus, C. W.） 伴野（三重） 小里（岐阜） 宮林（愛知）

一九八、ひげ こがねむし 髭金龜子（ヒゲコガ子）（Polyphylla laticollia, Lewis.） 若林（岐阜） 高橋（岐阜） 津田（岐阜） 宮林（愛知）

一九九、しろすぢ こがねむし 白筋金龜子（シロスヂコガ子）（Granida olbolineata, Motsch.） 大橋（岐阜） 宮林（愛知）

二〇〇、こ ふき こがねむし 粉吹金龜子（コフキコガネ）（Melolontha japonica, Burm.） 岩見（京都） 伴野（三重） 大橋（岐阜） 大矢（三重） 若林（岐阜） 高橋（岐阜） 阿刀田（宮城） 宮林（愛知）

二〇一、おほ こ ふき こがねむし 大粉吹金龜子（オオコフキコガネ）（Hoplosternus japonicus, Harold） 大橋（岐阜） 河合（岐阜） 津屋（岐阜）

二〇二、せ まだら こがねむし 脊斑金龜子（セマダラコガ子）（Phyllopertha orientalis, C. W.） 小里（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 高橋（岐阜） 後藤三（岐阜）

二〇三、まめ の こがねむし 豆金龜子（マメコガ子）（Popilia japonica, Nerdm.） 大矢（三重） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 高橋（岐阜） 熊谷（岐阜） 後藤三（岐阜） 阿刀田（宮城） 水野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

二〇四、こがねむし 金龜子（コガネ）（黄金蟲）（Mimela lucidura, Hope.） 大矢（三重） 若林（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋

（岐阜）後藤三（岐阜）

二〇五、こがた の こがねむし 小金龜子（Anomala geniculata, Motsch.）河合（岐阜）

二〇六、ひめ こがねむし 姫金龜子（Anomala rufocuprea, Motsch.）伴野（三重）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）津田（岐阜）後藤幸（三重）後藤三（岐阜）阿刀田（宮城）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

二〇七、どうがね ぶいぶい 銅鉦金龜子（Enchlora cuprea, Hope.）伴野（三重）小里（岐阜）河合（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）後藤三（岐阜）阿刀田（宮城）宮林（愛知）

二〇八、はんのき の こがねむし 赤楊金龜子（Anomala puncticollis, Harold.）高橋（岐阜）阿刀田（宮城）

二〇九、すぎ の こがねむし 杉樹金龜子（Anomala costata, Hope.）小里（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

二一〇、はなもぐり もどき 擬花潜金龜子（Glycyphana argyrosticta, Motsch.）大矢（三重）若林（岐阜）吉澤（岐阜）津田（岐阜）熊谷（岐阜）

二一一、はな もぐり 花潜金龜子（Cetonia pilifera, Motsch.）高橋（岐阜）阿刀田（宮城）水野（岐阜）宮林（愛知）

二一二、くろ はなもぐり 黑花潜金龜子（Glycyphana fulivistemma, Motsch.）小里（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）

二一三、おほ はなもぐり 大花潜金龜子（Cetonia submarmorea, Burm.）小里（岐阜）大矢（三重）吉澤

（岐阜）高橋（岐阜）後藤三二（岐阜）宮林（愛知）

二一四、かな ぶいぶい 鉦金龜子（カナブンブン） (Rhomborrhina japonica, Hope.) 伴野（三重）小里（岐阜）大矢（三重）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）松崎（愛知）小林（岐阜）後藤三二（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

二一五、かぶと むし 獨角仙（兜蟲） (Xylotrupes dichotomus, L.) 伴野（三重）堀口（岐阜）小里（岐阜）大橋（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）松崎（愛知）後藤三二（岐阜）江尻（富山）水野（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

二一六、ひめ はなもぐり 姫花潜金龜子（ヒメハナムクリ） (Valgus angusticollis, C. W.) 小里（岐阜）宮林（愛知）

（一二）鍬形蟲科（クハガタムシ） (LUCANIDAE)

二一七、くは がた むし 鍬形蟲（クワガタムシ） (Macrodorcus rectus, Motsch.) 伴野（三重）堀口（岐阜）小里（岐阜）大矢（三重）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）筒井（岐阜）松崎（愛知）小林（岐阜）後藤三二（岐阜）下飯阪（岩手）宮林（愛知）

二一八、ひらた くはがた むし 扁身鍬形蟲 (Eurytrachelus platymelus, Saund.) 津屋（岐阜）

二一九、のこぎり むし 鋸蟲 (Cladognathus inchinatus, Motsch.) 大橋（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）

吉澤（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）小里（岐阜）阿刀田（宮城）

二二〇、みやまくはがたむし　深山鍬形蟲　（Lucanus maculifemoratus, Motsch.）岩見（京都）伴野（三重）堀口（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）高橋（岐阜）筒井（岐阜）小林（岐阜）後藤三（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

（三）擬蚤蟲科（ノミモドキクワ）　(SASCYLLIDAE)

二二一、のみもどきむし　擬蚤蟲（ノミモドキ）　（Scirtes japonicus, Reitter.）岩越（岐阜）津田（岐阜）西岡（和歌山）

（四）死狀蟲科（シニマチムシクワ）　(PTINIDAE)

二二二、はちのすむし　蜂巣蟲　（Ptinus japonicus, Reitter.）西岡（和歌山）津田（岐阜）宮林（愛知）

二二三、たけのしんくひむし　竹蠹蟲（タケノシンクイ）　（Lyctus brunneus, Steph.）津田（岐阜）



ノコギリムシの圖（雄）

第五　鋸齒狀角類

（一）螢火科（LAMPYRIDAE）

二二四、ほたる　螢火（Luciola vitticollis, Kiesenw.）　高橋（岐阜）　津屋（岐阜）

二二五、ひめぼたる　姫螢（Luciola parvala, Kiesenw.）　河合（岐阜）

二二六、きくすひもどき　擬菊虎（Telephorus luteipennis, Kiesenw.）　河合（岐阜）　津屋（岐阜）

二二七、おほきくすひもどき　大擬菊虎（Telephorus episcopalis, Kiesenw.）　高橋（岐阜）

二二八、ひめきくすひもどき　姫擬菊虎（Telephorus vitellina, Kiesenw.）　松崎（愛知）

二二九、くろきくすひもどき　黑擬菊虎（Telephorus cedemeroides, Kiesenw.）　岩越（岐阜）　津屋（岐阜）

（六）叩頭蟲科（ELATERIDAE）

二三〇、うばたまむしもどき　擬姥玉蟲（Alaus berus, Cand.）　伴野（三重）　宮林（愛知）

二三一、さびきこりむし　銹色叩頭蟲（銹木伐蟲）（Lacon fuliginosus, Cand.）　大矢（三重）　若林（岐阜）　津田（岐阜）　後藤三二（岐阜）　阿刀田（宮城）　下飯阪（岩手）

二三二、ひめさびきこりむし　姫銹色叩頭蟲（Lacon scrofa, Cand.）　津田（岐阜）

二三三、おほ こめつき むし　大叩頭蟲　（Crignus sieboldi, Cand.）　伴野（三重）　小里（岐阜）



コメツキムシの圖

二三四、こめつき むし　叩頭蟲　（Melanotus legatus, Cand.）　伴野（三重）　大矢（三重）　若林（岐阜）　高橋（岐阜）　下飯阪（岩手）

二三五、ひげ こめつきむし　髭叩頭蟲　（Pectocera Fortunei, Cand.）　伴野（三重）　大矢（三重）　河合（岐阜）　吉澤（岐阜）　高橋（岐阜）　宮林（愛知）

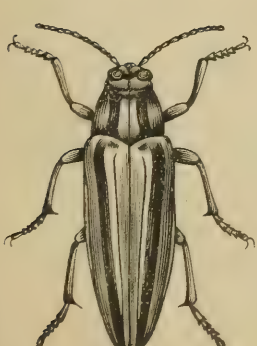
二三六、ひめ くろ こめつきむし　姫黑叩頭蟲　（Cardiophorus sp?）　津田（岐阜）

二三七、せぐろ こめつきむし　脊黑叩頭蟲　（Heteroderus agnatus, Cand.）　伊東（三重）

（七）吉丁蟲科　（BUPRESTIDAE）

二三八、たま むし　吉丁蟲（玉蟲）　（Chrysochroa fulgidissima, Schonb.）　岩見（京都）　伴野（三重）　小幡（岐阜）　小里（岐阜）　若林（岐阜）　吉澤（岐阜）　津屋（岐阜）　宮林（愛知）

タマムシの圖



二三九、こ たまむし　小吉丁蟲　（Chalcophora querceti, Saund.）　高橋（岐阜）

二四〇、うば たまむし　姥吉丁蟲　（Chalcophora japonica, Gory.）　伴野（三重）　堀口（岐阜）　大矢（三重）　小里（岐阜）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　吉澤（岐阜）　津屋（岐阜）　高橋（岐阜）　宮林（愛知）

二四一、くろ たまむし 黒吉丁蟲 (Buprestis japanensis, Saund.) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤三(岐阜)

第六　棍棒狀角類

(一)木蝕蟲科 (NITIDULIDAE)

二四二、みそまめ の むし 味噌豆蟲 (Carpophilus hemipterus, L.) 津田(岐阜)

二四三、とびいろ きくひ むし 鳶色木蝕蟲 (Gn? sp?) 津田(岐阜)

二四四、き くひ むし 木蝕蟲 (Librodor japonicus, Motsch.) 岩越(岐阜) 西岡(和歌山)

二四五、よつぼし きくひむし 四星木蝕蟲 (Helota gemmata, Gorham.) 西岡(和歌山)

(二)圓形蟲科 (HISTERIDAE)

二四六、まるがた むし 圓形蟲 (Histera japonicus, Mars.) 伊東(三重) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 後藤三(岐阜)

二四七、こ まるがたむし 小圓形蟲 (Histera cadavinus, Hoffm.) 津屋(岐阜)

(三)乾鰹蟲科 (DERMESTIDAE)

二四八、かつをぶし の むし 鰹節蟲 (Dermestes cadaverinus, F.) 大矢(三重) 後藤三(岐阜)

（四）僞紅色葉蟲科（ENDOMYCHIDAE）

二四九、べにはむしだまし 僞紅色葉蟲（Saula japonica, Gorh.）津田（岐阜）

（五）瓢蟲科（COCCINELLIDAE）

二五〇、てんたうむし 瓢蟲（天道蟲）（Ptychanatis axyridis. Pall.）伊東（三重）岩越（岐阜）伴野（三重）西岡（和歌山）堀口（岐阜）若林（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）熊谷（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

二五一、てんたうむしだまし 僞瓢蟲（二十八星瓢蟲）（Epilachna 28-maculata, Motsch.）伴野（三重）松崎（愛知）

二五二、おほてんたうむしだまし 大僞瓢蟲（大形二十八星瓢蟲）（Epilachna 28-punctata, Fab.）若林（岐阜）熊谷（岐阜）後藤三一（岐阜）

二五三、ななほしてんたうむし 七星瓢蟲（Coccinella 7-punctata L.）岩越（岐阜）伴野（三重）西岡（和歌山）堀口（岐阜）小幡（岐阜）小里（岐阜）大矢（三重）若林（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）津田（岐阜）津屋（岐阜）熊谷（岐阜）松崎（愛知）宮林（愛知）

二五四、ひめかめのかふてんたうむし 姫龜甲紋瓢蟲（Propylea conglobala, L.）伊東（三重）岩越（岐阜）岩見（京都）大矢（三重）若林（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）宮林（愛知）

二五五、しろほし てんたうむし 白星瓢蟲(シロホシテントウムシ)（Vibidia 12-guttata, Poda.）伊東（三重）岩越（岐阜）伴野（三重）小里（岐阜）吉澤（岐阜）津田（岐阜）

二五六、おほ しろほし てんたうむし 大白星瓢蟲(オオシロホシテントウムシ)（Coccinella 12-maculata, G.）岩越（岐阜）西岡（和歌山）吉澤（岐阜）

二五七、おほ てんたうむし 大瓢蟲(オオテントウムシ)（Synonycha grandis, Thunb.）岩見（京都）若林（岐阜）吉澤（岐阜）

二五八、かめのかふ てんたうむし 龜甲紋瓢蟲(カメノコテントウムシ)（Ithone hexaspilota, Hope.）岩見（京都）小里（岐阜）高橋（岐阜）水野（岐阜）下飯阪（岩手）

二五九、ひめ あかぼし てんたうむし 姫赤星瓢蟲(ヒメアカボシ)（Chilocorus similis, Rossi.）伊東（三重）岩越（岐阜）西岡（和歌山）小幡（岐阜）小里（岐阜）吉澤（岐阜）津田（岐阜）

二六〇、あかぼし てんたうむし 赤星瓢蟲(アカボシテントウムシ)（Chilocorus tristis, Fald.）岩見（京都）淨田（岐阜）

二六一、せすぢ てんたうむし 脊筋瓢蟲(セスヂテントウムシ)（Scymnus sp?）岩越（岐阜）小幡（岐阜）吉澤（岐阜）

二六二、くろ てんたうむし 黑色瓢蟲(クロテントウムシ)（Scymnus ferrugatus, Moll.）吉澤（岐阜）

二六三、べにへり てんたうむし 紅緣瓢蟲(ベニヘリテントウムシ)（Novius limbatus, Motsch.）伊東



ベニヘリテントウムシの圖

（三重）吉澤（岐阜）

（六）隱翅蟲科（ハチカクシムシクワ）（STAPHYLINIDAE）

二六四、あをば はね かくし 青腰蟲（アオバハチカクシ）（Poederus idae, Lewis.）伊東（三重）岩越（岐阜）松崎（愛知）後藤幸（三重）

二六五、はね かくし 隱翅蟲（Staphylinus inornatus, Sharp.）下飯阪（岩手）

二六六、あかば はねかくし 赤羽隱翅蟲（Staphylinus sp?）岩越（岐阜）

二六七、ひめ はねかくし 姬隱翅蟲（Gn? sp?）津屋（岐阜）

二六八、めだか はねかくし 目高隱翅蟲（Stenus alienus, Sharp.）大矢（三重）津田（岐阜）



アオバハ子カクシの圖

（七）埋葬蟲科（シデムシクワ）（SILPHIDAE）

二六九、おほ ひらた むし 大形平扁甲蟲（Silpha japonica, Motsch.）下飯阪（岩手）

二七〇、ももぶと むし 股太甲蟲（Necrodes nigricornis, Harold.）堀口（岐阜）水野（岐阜）

二七一、あかぼし しで むし 赤星埋葬蟲（Necrophorus japonicus, Harold.）若林（岐阜）高橋（岐阜）宮林（愛知）

（八）水龜蟲科（ガムシクワ）（HYDROPHILIDAE）

二七三、がむし 水龜蟲 (Hydrophilus cognatus, Sharp.)
伴野(三重) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 後藤三一(岐阜)



ガムシの圖 (イ)は雌蟲(ロ)は雄蟲の前脚

二七三、こがたの がむし 小形水龜蟲 (Hydrocharis affinis, Sharp.) 伴野(三重) 水野(岐阜)

第七 食肉類

(一)豉蟲科(ミヅスマシムシクワ) (GYRINIDAE)

二七四、みづ すましむし 豉蟲(マイマイムシ)(水澄蟲) (Dineutes marginatus, Sharp.) 伊東(三重) 津田(岐阜) 松崎(愛知)

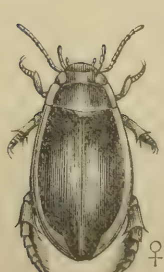


ミヅスマシの圖

二七五、こまひまひ むし 小豉蟲(コマイマイ) (Gyrinus curtus, Motsch.) 岩越(岐阜) 津田(岐阜)

(二)龍蝨科(ゲンゴラウムシクワ) (DYTISCIDAE)

二七六、こがたの げんごらう むし 小形龍蝨(コガタノゲンゴロウ) (Cybister tripunctatus, Oliv.) 伊東(三重) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)



コガタノゲンゴロウの圖(雌)

二七七、げんごらう むし 龍蝨(ゲンゴロウ)(源五郎蟲) (Cybister japonicus, Sharp.)

高橋（岐阜）松崎（愛知）後藤三（岐阜）阿刀田（宮城）水野（岐阜）下飯阪（岩手）

二七八、げんごらうむし もどき 擬龍蝨（ゲンゴロウモドキ） (Dytiscus sharpi, Wehnecke.) 岩見（京都）後藤三（岐阜）

二七九、きすぢ げんごらうむし 黃筋龍蝨（キスヂゲンゴロウ） (Hydaticus bowringi, Clark.) 岩見（京都）伴野（三重）大矢（三重）若林（岐阜）高橋（岐阜）津田（岐阜）水野（岐阜）

二八〇、こ しま げんごらうむし 小形縞龍蝨（コシマゲンゴロウ） (Hydaticus grammicus, Germ.) 高橋（岐阜）

二八一、とびいろ げんごらうむし 鳶色龍蝨（トビイロゲンゴロウ） (Rhantus pulverosus, Steph.) 伊東（三重）岩越（岐阜）津屋（岐阜）後藤三（岐阜）水野（岐阜）

二八二、くびぼそ げんごらうむし 頸細龍蝨（クビボソゲンゴロウ） (Haliplus japonicus, Sharp.) 伊東（三重）

（三）歩行蟲科（ゴミムシクワ） (CARABIDAE)

二八三、まひまひ かぶり 舞々掉頭（マイマイカブリ） (Damaster pandurus, Bates.) 岩見（京都）水野（岐阜）宮林（愛知）

二八四、くろ をさ むし 黑筬蟲 (Carabus albrechti, Moraw.) 堀口（岐阜）大矢（三重）

二八五、あかがね をさむし 銅色筬蟲 (Carabus procerulus, Chand,) 高橋（岐阜）宮林（愛知）



アカガ子オサムシの圖

二八六、をさむし もどき 擬筬蟲 (Craspedonotus tibialis, Schaum.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 津屋(岐阜)

二八七、あを をさむし 青筬蟲(アオオサムシ) (Carabus insulicola, Chand.) 宮林(愛知)

二八八、へうたん ごみむし 瓢形塵芥蟲(ヒヨウタンゴミムシ) (Scarites pacifucus, Bates.) 大矢(三重) 下飯阪(岩手)

二八九、ひめ へうたん ごみむし 姫瓢形塵芥蟲(ヒメヒヨウタンゴミムシ) (Dyschirius sphaerulifer, Bates.) 岩越(岐阜)



ヒヨウタンゴミムシの圖

二九〇、こんぜやう ごみむし 紺青塵芥蟲(コンジヨウゴミムシ) (Gn? sp?) 津田(岐阜)

二九一、きべり くろ ごみむし 黄縁黑塵芥蟲 (Gn? sp?) 津田(岐阜)

二九二、ふたほし ごみむし 二星塵芥蟲 (Planetes bimaculatus, Macleay.) 小里(岐阜)

二九三、おほ むねあか ごみむし 大胸赤塵芥蟲 (Brachinus stenoderus, Bates,) 小里(岐阜) 水野(岐阜)

二九四、るり ごみむし 碧色塵芥蟲 (Gn? sp?) 河合(岐阜)

二九五、あかぼし ごみむし 赤星塵芥蟲 (Gn? sp?) 水野(岐阜)

二九六、めだか ごみむし 目高塵芥蟲 (Tachypus semilucidus, Motsch.) 伊東(三重)

二九七、よつもん ごみむし 四紋塵芥蟲 (Gn? sp?) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

二九八、あか ごみむし 赤色塵芥蟲 （Gn? sp?） 小幡（岐阜）

二九九、せあか ごみむし 脊赤塵芥蟲 （Dolichus flavicorns, F.） 津田（岐阜） 阿刀田（宮城）

三〇〇、きべり ごみむし 黃緣塵芥蟲 （Chlaenius circumductus, Mor.） 高橋（岐阜） 水野（岐阜）

三〇一、こ ごみむし 小塵芥蟲 （Anisodactylus signatus, Illiger.） 下飯阪（岩手） 伊東（三重） 岩越（岐阜） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 西岡（和歌山） 高橋（岐阜）

三〇二、あを ごみむし 青色塵芥蟲 （Chlaenius abstersus, Bates.） 岩越（岐阜） 小幡（岐阜） 小里（岐阜） 筒井（岐阜） 津田（岐阜） 高橋（岐阜） 下飯阪（岩手）

クロゴミムシの圖



三〇三、くろ ごみむし 黑色塵芥蟲 （Triplogenius ingens, Mor.） 堀口（岐阜） 小幡（岐阜） 松崎（愛知） 熊谷（岐阜） 宮林（愛知）

三〇四、きべり あを ごみむし 黃緣青色塵芥蟲 （Chlaenius inops, Chaud.） 岩越（岐阜） 岩見（京都） 堀口（岐阜） 小里（岐阜）

三〇五、きもん あを ごみむし 黃紋青色塵芥蟲 （Chlaenius pictus, Chaud.） 堀口（岐阜） 高橋（岐阜）

三〇六、おほ あかあし ごみむし 大赤脚塵芥蟲 オオアカアシゴモク （Harpalus cephalotes, Motsch.） 堀口（岐阜） 下飯阪（岩手）

三〇七、まるがた ごみむし 圓形塵芥蟲 (Amara chalcites, Zim.) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 小里(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜)

三〇八、せぐろ ごみむし 脊黑塵芥蟲 (Dolichus collitheres, Bates.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 津田(岐阜)



マルガタゴミムシの圖

三〇九、あかあし ごもくむし 赤脚塵芥蟲(アカアシゴモク) (Harpalus tridens, Mor.) 堀口(岐阜) 大矢(三重) 津田(岐阜)



ヒラタゴミムシの圖

三一〇、ひらた ごみむし 扁身塵芥蟲 (Anchomenus magnus, Bates.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小里(岐阜)

三一一、こ ひらた ごみむし 小形扁身塵芥蟲 (Pterostichus sp?) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 西岡(和歌山) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 後藤幸(三重)

三一二、みゐでら はんめう 行夜(三井寺斑猫)(ミイデラハンミョウ) (Pheropsophus jessoensis, mor.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜)

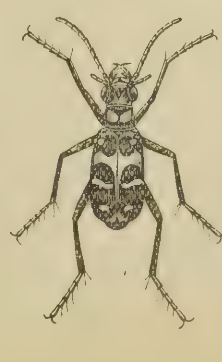
三一三、きばし あを ごみむし 黃星青色塵芥蟲 (Chlaenius hospes, Mor.) 大矢(三重) 津屋(岐阜)

三一四、せすぢ ごみむし 脊筋塵芥蟲 (Anchomenus daimio, Bates.) 大橋(岐阜)

三一五、ごみむし の一種 塵芥蟲一種 (Gn? sp?) 岩越(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

（四）斑螢科（CICINDELIDAE）

三一六、みちをしへ　和斑猫（道教）ミチオシイ（Cicindela chinencis, Degeer.）伊東（三重）岩見（京都）伴野（三重）小幡（岐阜）大矢（三重）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）津田（岐阜）高橋（岐阜）熊谷（岐阜）松崎（愛知）後藤幸（三重）後藤三（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）



ミチオシヘの圖

三一七、さびはんめう　錆色斑猫 サビハンミヨウ（Cicindela japonica, G. M.）伊東（三重）岩見（京都）若林（岐阜）河合（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

三一八、ひめはんめう　姫斑猫 ヒメハンミヨウ（Cicindela amurensis, Mor.）伴野（三重）小里（岐阜）高橋（岐阜）下飯阪（岩手）

三一九、こさびはんめう　小形錆色斑猫（Cicindela japanensis, Chaud.）岩見（京都）若林（岐阜）水野（岐阜）下飯阪（岩手）



ヒメハンミヨウの圖

三二〇、しろはんめう　白斑猫 シロハンミヨウ（Cicindela laetescripta. Motsch.）宮林（愛知）

（備考）　前に揚げたるが如く、鞘翅目のものは、分類標本中、最も多數に居り、都合二百三拾餘種に上れり。中には塵芥蟲、瓢蟲等の如き食肉性のものあれど、また天牛、象鼻蟲、葉蟲類の農作を蝕損するもありて、其害は却つて益よりも多し。但龍蝨科のものに至りては、害益未だ何れなるやを明言し難きも養魚上の害蟲たるは、蓋し疑ひなかるべし。而して舊分類式に據れば

此目を細別するには、一に其跗節の構成に重きを置かざる可からざるも、今や學術の進歩に伴れ、これを採用せざるに至れり。讀者の參考の便に供せんがため、次に舊式分科の太要を揭ぐべし。

一、五節類　步行蟲、青腰蟲、龍蝨、水龜蟲、鍬形蟲、叩頭蟲、吉丁蟲、螢火等みな此中にあり。

二、異節類　葛上亭蟲、地膽、擬塵芥蟲等はこの類に屬す。

三、四節類　象鼻蟲、天牛、葉蟲等はこの類に屬す。

四、三節類　瓢蟲これに屬す。

◉雙翅目（DIPTERA.）

雙翅目とは、蚊、蠅及び虻の如く、單だ一双の翅を有するもの丶總名なり。蓋しこの目に屬するものと雖ども、初めより全たく二翅なるにはあらで、其後翅の退化によりて、斯くは前翅のみを有するが如くに、變形をなせるなり。後翅は平均翅と稱せられ、概むね棍棒狀をなして、後胸部の左右に存す。口部は吸吮、舐食に適し、種類によりては、また刺螫の功用をも兼ぬ。變態は完全なり。幼蟲は、常に蛆と稱せられ、其形狀は一ならざるも、皆無脚なり。概むね腹端に二個の氣門を有し時としては、之を腹側に具ふるものあり。老熟の後は、皮膚硬化して其蛹を被包す。

裸被蛹亞目（Orthorrhapha）

第一　總絲類

（一）大蚊科（TIPULIDAE）

三二二、かの うば 蚊姥（カノウバ）（Conosia substituta, Walker.）後藤幸（三重）

三二三、きり うじ かがんぼ 切蛆蚊姥（Tipula parva, Loew.）岩越（岐阜）伴野（三重）大矢（三重）小林（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

三二四、おほ はまだら かがんぼ 大翅斑蚊姥（Tipula sp?）後藤幸（三重）下飯阪（岩手）

三二五、くろ かがんぼ 黑蚊姥（Tipula sp?）下飯阪（岩手）

三二六、べっかふ かがんぼ 鼈甲蚊姥（ベツコウカガンボ）（Dictenidia fasciata, Coquill.）下飯阪（岩手）

三二七、き まだら かがんぼ 黄斑蚊姥（Tipula imperialis, Meig.）松崎（愛知）宮林（愛知）

三二八、かがんぼ の一種 蚊姥一種（Tipula sp?）伊東（三重）岩越（岐阜）

（三）蚊子科（カクワ）（CULICIDAE）

三二九、は まだら か 花蚊（翅斑蚊）（Anopheles punctipennis, Say?）津田（岐阜）

（二）擬蚊科（ガモドキクワ）（CHIRONOMIDAE）

三三〇、くろ か もどき 黑擬蚊（Gn? sp?）津田（岐阜）

三三一、ひめくろかもどき 姫黒擬蚊 (Gn? sp?) 津田(岐阜)

三三二、かもどきの一種 擬蚊一種 (Gn? sp?) 伊東(三重)

(四)毛蠅科 (BIBIONIDAE)

三三三、くさばへ 草蠅 (Bibio tenebrosus, Coquillett.) 大矢(三重)

(五)蟆子科 (SIMULIIDAE)

三三四、れほぶと 蚋子 (Simulia sp?) 津田(岐阜)

第二 項刺類

(一)虻科 (TABANIDAE)

三三五、めくらあぶ 盲虻 (Tabanus pyrrhus, Walker.) 吉澤(岐阜)

三三六、うしあぶ 木虻(牛虻) (Tabanus Trigonus?) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 熊谷(岐阜) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三三七、あかうしあぶ 赤色牛虻 (Tabanus chrysurus, Loew.) 筒井(岐阜) 後藤三(岐阜)

三三八、こうしあぶ 鹿虻(小牛虻) (Tabanus sp?) 若林(岐阜)

三三九、あぶ 虻 (Tabanus sp?) 伴野(三重) 若林(岐阜) 天野(岐阜) 小幡(岐阜) 下飯阪(岩手)

三四〇、ひめ あぶ 姫虻 (Tabanus sp?) 大矢(三重) 河合(岐阜)

三四一、くろ あぶ 黑虻 (Tabanus sp?) 伴野(三重)

三四二、こ べっかふ あぶ 小形鼈甲虻(コベッコウアブ) (Gn? sp?) 後藤三一(岐阜) 下飯阪(岩手)

三四三、あぶ の一種 虻一種 (Gn? sp?) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

(二)水虻科 (STRATIOMYIIDAE)

三四四、ひげなが あぶ 髭長虻(ヒゲナガアブ) (Stratiomyia barca, Walker.) 伴野(三重) 大矢(三重) 後藤三一(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三四五、こうか ばへ 後架蠅(コウカバチ) (Sargus tenebrifer, Walker.) 後藤三一(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三四六、るり ばへ 碧蠅(ルリバイ) (Sargus niphonensis. Bigot.) 後藤幸(三重)

三四七、しま こうかばへ 大麻蠅(縞後架蠅)(シマコウカバイ) (Sargus aurifer, Walker.) 水野(岐阜)

三四八、ひめ こうかばへ 姫後架蠅(ヒメコウカバイ) (Sargus sp?) 下飯阪(岩手)

(三)黃蠅(キバヘ)科(クワ) (LEPTIDAE)

三四九、きいろ ばへ 黃色蠅(キイロバイ) (Chrysopila dives, Loew.) 宮林(愛知)



コウカバヘの圖

(四)食蟲虻科 (ASILIDAE)

三五〇、しりながあぶ 尻長虻 (Dasypogon japonica, Bigot.) 松崎(愛知)

三五一、あをめあぶ 青眼虻 (Ommatius pennus, Walker.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

三五二、しほやあぶ 白尾虻(塩屋虻) (Promachus ater, Coquill.) 岩越(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 松崎(愛知)


シホヤアブの圖 ♀

三五三、ちやいろむしひきあぶ 茶色蟲曳虻 (Asilus brevistylus, Coquill.) 小幡(岐阜)


ムシヒキアブの圖 ♀

三五四、むしひきあぶ 蟲曳虻 (Asilus angusticornis, Loew.) 小幡(岐阜)

三五五、ひめむしひきあぶ 姫蟲曳虻 (Asilus atripes, Loew.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

三五六、おほむしひきあぶ 大蟲曳虻 (Asilus virgatipes, Coquill.) 伴野(三重) 高橋(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三五七、くろむしひきあぶ 黒蟲曳虻 (Laphria sp.?) 水野(岐阜)

三五八、おほ いしあぶ 大形石虻（Laphria mitsukurii, Coquill.） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 宮林（愛知）

（五）長吻虻科（ツリアブクワ）（BOMBYLIIDÆ）

三五九、びろうど つりあぶ 剪絨釣虻（Bombylius major, Linn.） 伊東（三重） 岩見（京都） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 高橋（岐阜）

三六〇、とら つりあぶ 黄毛虻（虎毛釣虻）（Anastœchus nitidulus, Fabr.） 松崎（愛知） 後藤幸（三重）

三六一、こうや つりあぶ 紺屋釣虻（Spogostylum distigma, Wied.） 大矢（三重） 河合（岐阜） 津屋（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）



トラツリアブの圖

被蛹亞目（Cyclorrhapha）

第三　側刺類

（一）喰蚜虻科（ヒラタアブクワ）（SYRPHIDAE）

三六二、ひらた あぶ 喰蚜虻（扁虻）（Syrphus porcinus, Coquill.） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 小里（岐阜） 大矢（三重） 津田（岐阜） 松崎（愛知） 後藤三（岐阜） 下飯阪（岩手）

三六三、ほし ひらたあぶ 白星扁虻 (Syrphus arcuatus, Fallen.) 津田(岐阜)

三六四、ひめ ひらたあぶ 姫扁虻 (Spherophoria laeniata, Meigen.) 岩見(京都) 松崎(愛知) 下飯阪(岩手)

三六五、おほ ひらたあぶ 大扁虻 (Syrphus corollae, Fabr.) 宮林(愛知)

三六六、くろ はな あぶ 黑花虻(ソロアブ) (Eristalis oculartius, Coquill.) 水野(岐阜)

三六七、はな あぶ 黃虻(花虻) (Eristalis tenax, Linn.) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三六八、おほ はなあぶ 大黃虻 (Megaspis zonalis, Fabr.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

三六九、のら あぶ 野虻(コハナアブ)(小黃虻) (Eristalis incisuralis, Loew.) 岩見(京都) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 小里(岐阜) 大矢(三重) 吉澤(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三七〇、ももぶと はなあぶ 腿太黃虻 (Helophilus virgatus, Coquill.) 大矢(三重) 吉澤(岐阜) 下飯阪(岩手)

三七一、べっかふ あぶ 鼈甲虻(ベッコウアブ) (Gn? sp?) 天野(岐阜)

ハナアブの圖



三七二、こしあき あぶ 腰透虻 (Volucella japonica, Bigot.) 小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 熊谷(岐阜) 水野(岐阜)

三七三、むねあか あぶ 胸赤虻 (Volucella sp?) 筒井(岐阜)

(一一)寄生蠅科 (TACHINIDAE)

三七四、ひげなが やどり ばへ 髭長寄生蠅 (Tachina sp?) 後藤三(岐阜)

三七五、あしなが やどりばへ 脚長寄生蠅 (Tachina sp?) 高橋(岐阜)

三七六、やどり ばへ 寄生蠅 (Meriania puparum, Fabr.) 後藤三(岐阜)

三七七、かひこ の うじ ばへ 蠶蠅(蠶蛆蠅) (Ugimya Sericaria, Rondani) 筒井(岐阜) 松崎(愛知)

三七八、はり ばへ 刺毛蠅 (Echinamyia micado, Kirby.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三七九、おほ はりばへ 大刺毛蠅 (Servillia luteola, Coquill.) 堀口(岐阜) 後藤三(岐阜) 下飯阪(岩手) 水野(岐阜)

三八〇、はまくりむし の やどりばへ 葉捲蟲寄生蠅 (Tachina sp?) 大矢(三重)



カヒコノウジバヘの圖

三八一、こしあきやどりばへ 腰透寄生蠅 (Tachina sp?) 下飯阪(岩手)

三八二、やどりばへの一種 寄生蠅一種 (Tachina sp?) 下飯阪(岩手)

(三)蛆蠅科 (SARCOPHAGIDÆ)

三八三、うじばへ 蛆蠅 (Sarcophaga privigna, Rond.) 伴野(三重) 小里(岐阜)
大矢(三重) 若林(岐阜) 津田(岐阜) 筒井(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

(四)家蠅科 (MUSCIDÆ)

三八四、いへばへ 痲蠅(家蠅) (Musca domestica, Linn.) 小里(岐阜) 津田(岐阜)

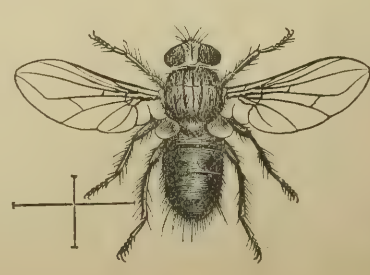
三八五、くろばへ 蒼蠅(黑蠅) (Calliphora lata, Coquill.) 小里(岐阜) 大矢(三重) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜)
津屋(岐阜) 松崎(愛知)

三八六、きんばへ 青蠅(金蠅) (Lucilia caeser, Linn.) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 宮林(愛知)
小林(岐阜)

三八七、かまきりばへ 蟷螂蠅 (Gn? sp?) 津田(岐阜)

三八八、こうしばへ 小形牛蠅 (Stomoxys calcitrans, Linn.) 下飯阪(岩手)

三八九、ひげながるりばへ 髭長碧蠅 (Gn? sp?) 若林(岐阜) 下飯阪(巖手)



ハマクリヤドリバヘの圖

三九〇、**はへ の一種** 家蠅一種 (Gn? sp?) 岩越(岐阜)

(五)斑蠅科 (TRYPETIDÆ)

三九一、**はまだら ばへ の一種** 翅斑蠅一種 (Trypeta sp?) 下飯阪(巖手)

(六)鼈甲蠅科 (SCIOMYZIDAE)

三九二、**べっかふ ばへ** 鼈甲蠅 (Eggizoneura formosa, Wied.) 伴野(三重) 小里(岐阜) 大矢(三重) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三九三、**あかけ ばへ** 赤毛蠅 (Scatophaga stercoraria, Linn) 岩見(京都) 岩越(岐阜) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 小林(岐阜)

三九四、**おほ はちもどき ばへ** 大擬蜂蠅 (Eupyrgota luteora, Coquill.) 高橋(岐阜)

(備考) 双翅目に屬する出品は、斯く七十餘種ありて、中には、稻の害蟲たる切蛆蚊姥あり、蠶兒の强敵たる蠶蠅あり、瘧疾の媒介者たる翅斑蠅ありと雖ども、釣虻、寄生蠅の如く、他の蟲體に寄生して、間接の功を致すもの、また蟲虻の如くに、直接に他蟲を蝕害する有益蟲も少なしとせず。之を要するに、此目に屬するものは、農作の害蟲といはんよりも、寧ろ衞生上の害蟲多きに居るに似たり、即はち蠅、虻、蚋、蚊の或種は、皆人畜其他の體軀に害毒を與ふるものとす。

◉鱗翅目（LEPIDOPTERA）

鱗翅目とは、色彩を施こせる鱗狀の細粉を以て、其翅面を被覆せる蟲類を云ふ。すなはち蝶と蛾の類の總稱とす。其品種の多きは鞘翅目に亞ぎ、形狀は大小肥瘦相同じからざるも、總て完全の變態を遂げ、且つ概むね美裝せる四翅を有せり。口吻は常に螺線狀に卷縮し、花上に粉蜜を求むるに際りて之を伸長す、其長きものに至りては、約そ四五寸に達するもあり。蝶屬と蛾屬とは、その習性その形態を異にするを以て、飛翔の時期も、亦自つから晝間と夜間の別あり。

幼蟲には、種類により鳥蠋、木蠹、螟蛉、蛅蟖、尺蠖、地蠶等の名稱ありて一樣ならず。多くは八雙脚を有し、中に尺蠖の五雙、螟蛉の或種の六雙なるをも混へり。其老熟するや、蝶類にありては裸蛹に化し、蛾類は多く營繭す。要するに、此目のものは、其幼期には皆植物を蝕害するも、老後に至れば、反つて人生日常の用に資せらるゝもの、花粉仲媒の功をなすもの等、將た少なからず、昔時は、多く藥劑に供用せられきと云ふ。

蝶（Rhopalocera）

第一　胡蝶類

（一）鳳蝶（アゲハノテフ）科（クワ）（PAPILIONIDAE）

三九五、きあげはてふ　黃鳳蝶（黃揚翅蝶）（キアゲハ）（Papilio machaon, L.）　岩見（京都）　伊東（三重）　大橋（岐阜）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　谷（岐阜）　高橋（岐阜）　津屋（岐阜）　熊谷（岐阜）　後藤幸（三重）　後藤三（岐阜）　天野（岐阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

三九六、あげはのてふ　鳳蝶（揚翅蝶）（アゲハノチョウ）（Papilio xuthus, L.）　伊東（三重）　岩見（京都）　小幡（岐阜）　大橋（岐阜）　大矢（三重）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　吉澤（岐阜）　谷（岐阜）　高橋（岐阜）　津田（岐阜）　筒井（岐阜）　津屋（三重）　松崎（愛知）　後藤三（岐阜）　阿刀田（宮城）　天野（岐阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

三九七、からすばあげはてふ　鴉羽鳳蝶（カラスバアゲハ）（papilio bianor, Cramer.）　岩見（京都）　谷（岐阜）　筒井（岐阜）　阿刀田（宮城）

三九八、みやまからすあげはてふ　深山鴉羽鳳蝶（ミヤマカラスアゲハ）（Papilio maacki, Menn.）　河合（岐阜）　谷（岐阜）　高橋（岐阜）　天野（岐阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

三九九、くろあげはてふ　大黑蝶（黑鳳蝶）（クロアゲハ）（Papilio demetrius, Cramer.）　岩見（京都）　小幡（岐阜）　大橋（岐阜）　小里（岐阜）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　谷（岐阜）　高橋（岐阜）　津屋（岐阜）　筒井（岐阜）　津田（岐阜）　後藤幸（三重）　後藤三（岐阜）　阿刀田（宮城）　天野（岐阜）　水野（岐阜）

四〇〇、をながあげはてふ　尾長鳳蝶（オナガアゲハ）（Papilio macilentus, Janson.）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　谷（岐阜）　下飯阪（岩手）

四〇一、じやかう あげは てふ 麝香鳳蝶（ジヤコウアゲハ） (Papilio alcinous, Klug.) 岩見（京都） 伴野（三重） 大橋（岐阜） 若林（岐阜） 谷（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤幸（三重） 後藤三（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

四〇二、もんき あげは てふ 紋黄鳳蝶（モンキアゲハ） (Papilio helenus, L.) 岩見（京都） 後藤幸（三重）

四〇三、あをすぢ あげは 青筋鳳蝶 (Papilio sarpedon, L.) 岩見（京都） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 高橋（岐阜）

四〇四、ぎ ふ てふ 岐阜蝶（ギフチヨウ） (Luehdorfia japonica, Leech.) 伊東（三重） 河合（岐阜） 高橋（岐阜）

四〇五、につくわう しろ てふ 日光白蝶（ニツコウシロチヨウ） (Parnassius citrinarius. Mots.) 天野（岐阜） 下飯阪（岩手）

（一二）粉蝶科（コテフクワ） (PIERIDAE)

四〇六、ひめ しろ てふ 姫白蝶（ヒメシロチヨウ） (Pieris sinapis Linn.) 下飯阪（岩手）

四〇七、もん しろてふ 有紋白蝶（モンシロチヨウ） (Pieris rapae, Linn.) 伊東（三重） 岩見（京都） 小幡（岐阜） 大橋（岐阜） 大矢（三重） 小里（岐阜） 河合（岐阜） 高橋（岐阜） 津田（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 後藤三（岐阜） 阿刀田（宮城） 水野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

四〇八、すぢぐろ てふ 筋黒白蝶（スヂグロチヨウ） (Pieris napi, Linn.) 伊東（三重） 岩越（岐阜） 小幡（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 高橋（岐阜） 津田（岐阜） 筒井（岐阜） 津屋（岐阜） 阿刀田（宮城） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

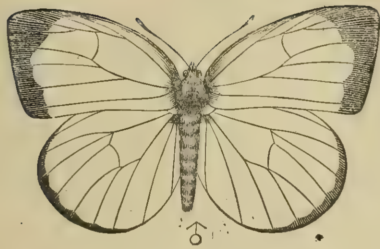
四〇九、つまき てふ 褄黄蝶（ツマキチヨウ） (Anthocaris scolymus, But.) 伊東（三重） 岩見（京都） 小幡（岐阜） 大橋

(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤三一(岐阜) 下飯阪(岩手)

四一〇、もんきてふ 有紋黃蝶(モンキチヨウ) (Colias hyale, L.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 小林(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三一(岐阜) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)



モンキテフの圖(雄)



キテフの圖(雄)

四一一、やまきてふ 山產黃蝶(ヤマキチヨウ) (Gonopteryx rhamni, L.) 岩見(京都) 吉澤(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

四一二、きてふ 黃蝶(キチヨウ) (Terias hecabe, L.) 伊東(三重) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四一三、つまぐろきてふ 褄黑黃蝶(ツマグロキチヨウ) (Terias laeta, Boisd.) 伊東(三重) 若林

（岐阜） 吉澤（岐阜） 津田（岐阜） 後藤幸（三重）

（三）斑蝶科（DANAIDAE）

四一四、あさぎまだらてふ　淺葱斑蝶（Daneis tytia, Gray.） 谷（岐阜） 後藤幸（三重） 宮林（愛知）

（四）蛺蝶科（NYMPHALIDAE）

四一五、おほはやばてふ　大速翅蝶（Grapta c-aureum, Leech.） 大橋（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 熊谷（岐阜） 後藤幸（三重） 後藤三二（岐阜） 阿刀田（宮城）

四一六、ひをどしてふ　緋威鎧蝶（Vanessa xanthomelas, Schiff.） 伊東（三重） 岩見（京都） 伴野（三重） 小幡（岐阜） 大橋（岐阜） 大矢（三重） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤幸（三重） 阿刀田（宮城） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

四一七、くじゃくてふ　孔雀紋蝶（Vanessa io, L.） 阿刀田（宮城） 下飯阪（岩手）

四一八、るりたてはてふ　碧蛺蝶（Vanessa canacede, Niceville.） 伊東（三重） 岩見（京都） 小幡（岐阜） 大橋（岐阜） 小里（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 谷（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 熊谷（岐阜） 後藤幸（三重） 後藤三二（岐阜） 阿刀田（宮城） 宮林（愛知） 水野（岐阜） 下飯阪（岩手）

四一九、あかたてはてふ　赤蛺蝶（Pyrameis indica, Moore.） 岩見（京都） 伴野（三重） 大橋（岐阜） 大矢

（三重）小里（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）高橋（岐阜）津田（岐阜）松崎（愛知）阿刀田（宮城）水野（岐阜）宮林（愛知）

四二〇、**ひめ あか たてはてふ** 姫赤蛺蝶（ヒメアカタテハ）（Pyrameis cardui.）堀口（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）谷（岐阜）津屋（岐阜）熊谷（岐阜）阿刀田（宮城）下飯阪（岩手）



ウラギンヘウモンテフの圖（雄）

四二一、**いしがき てふ** 石垣（石壁）白蝶（イシガケ チヨウ）（Cyrestis thyodamas, Boisd.）後藤幸（三重）

四二二、**へうもん てふ** 豹紋蝶（ヒヨウモン チヨウ）（Argynnis anadyomene, Feld.）大矢（三重）河合（岐阜）吉澤（岐阜）谷（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）

四二三、**うらぎん へうもんてふ** 裏銀豹紋蝶（ウラギン ヒヨウモン）（Argynnis adippe, L.）若林（岐阜）高橋（岐阜）後藤三（岐阜）

四二四、**おほ うらぎん へうもんてふ** 大形裏銀豹紋蝶（オオウラギン ヒヨウモン）（Argynnis nerippe, Feld.）岩見（京都）河合（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）後藤幸（三重）

四二五、**ぎんすぢ へんもんてふ** 銀筋豹紋蝶（ギンスヂ ヒヨウモン）（Argynnis paphia, L.）高橋（岐阜）津屋（岐阜）

四二六、めす ぐろ へうもんてふ 雌黒豹紋蝶（メスグロヒヨウモン）（Argynnis sagana, Doubl.）岩見（京都）伴野（三重）河合（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）水野（岐阜）

四二七、つまぐろ へうもんてふ 褄黒豹紋蝶（ツマグロヒヨウモン）（Argynnis niphe, L.）若林（岐阜）吉澤（岐阜）後藤幸（三重）

四二八、みすぢ てふ 三筋蝶（ミスヂチヨウ）（Neptis aceris, Lep.）岩見（京都）伴野（三重）大橋（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）後藤幸（三重）阿刀田（宮城）下飯阪（岩手）

四二九、おほ みすぢてふ 大三筋蝶（オオミスヂ）（Neptis alnerna, Brem.）河合（岐阜）水野（岐阜）

四三〇、ほし みすぢてふ 星三筋蝶（ホシミスヂ）（Neptis pryeri, But.）後藤幸（三重）下飯阪（岩手）

四三一、いちもじ てふ 一文字蝶（イチモジチヨウ）（Limenitis sibylla, L.）岩見（京都）伴野（三重）大橋（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）筒井（岐阜）後藤幸（三重）阿刀田（宮城）下飯阪（岩手）

四三二、ひめ いちもじ てふ 姫一文字蝶（ヒメイチモンジ）（Araschnia burejana, Bremer.）下飯阪（岩手）

四三三、こ むらさき てふ 小紫蝶（コムラサキ）（Apatura ilia, Hiibn.）岩見（京都）伴野（三重）小幡（岐阜）大橋（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）松崎（愛知）後藤三（岐阜）天野（岐阜）下飯阪（岩手）

四三四、むらさき てふ 紫蝶（ムラサキチヨウ）（Euripus charonda, Hew.）伴野（三重）若林（岐阜）

四三五、ごま まだら てふ 胡麻斑蝶（ゴマダラチヨウ）（Hestina japonica, Feld.）岩見（京都）伴野（三重）大橋（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）宮林（愛知）

四三六、すみ ながし てふ 墨流蝶(スミナガシ) (Dichorragia nesimachus, Boisd.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜)

(五)環紋蝶科(ジャノメテフクワ) (SATYRIDAE)

四三七、うすいろ こ ぢゃのめ てふ 薄色小環紋蝶(ウスイロコジャノメ) (Mycalesis gotama, Moore.) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

四三八、ひかげ てふ 日蔭蝶(ヒカゲチヨウ) (Lethe sicelis, Hew.) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重)

四三九、くろ ひかげてふ 黒日蔭蝶(クロヒカゲ) (Lethe diana, But.) 河合(岐阜) 水野(岐阜)

四四〇、ぢゃのめてふ もどき 擬環紋蝶(ジャノメモドキ) (Pronophila schrenckii, Men.) 阿刀田(宮城)

四四一、ぢゃのめ てふ 環紋蝶(ジャノメチヨウ)(蛇目蝶) (Satyrus dryas, Scop.) 大橋(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四四二、ひめ ぢゃのめてふ 姫環紋蝶(ヒメジャノメ) (Ypthima philomela, Johausen.) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

四四三、き まだら てふ 黄斑蝶(キマダラチヨウ) (Neope gaschkevitschii, Men.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知) 下飯坂(愛知)

（六）天狗蝶科（LIBYTHEIDAE）

四四四、てんぐ てふ 天狗蝶（Lybithea lepita, Moore.） 堀口（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜）



テングテフの圖（雄）

（七）小灰蝶科（LYCAENIDAE）

四四五、しじみ てふ 小灰蝶（蜆蝶）（Cyaniris argiolus, L.） 大橋（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜）

四四六、やまと しじみてふ 和產小灰蝶（Zizera maha, Kollar.） 大橋（岐阜） 小里（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

四四七、べに しじみてふ 緋色小灰蝶（Chrysophanus phlaeas, L.） 伊東（三重） 堀口（岐阜） 大橋（岐阜） 小里（岐阜） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 松崎（愛知） 阿刀田（宮城） 水野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯坂（岩手）



シジミテフの圖（雄）

四四八、つばめ しじみてふ 燕尾小灰蝶（Everes argiades, Pallas.） 大橋（岐阜） 吉澤（岐阜） 宮林（愛知）

四四九、るり しじみてふ 碧色小灰蝶（Arhopala japonica, Murray.） 伊東（三重） 堀口（岐阜） 小里（岐阜）

河合（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）

四五〇、こつばめてふ　小燕尾蝶（コツバメ）（Satsuma ferrea, Butt.）伊東（三重）河合（岐阜）吉澤（岐阜）後藤幸（三重）

四五一、あをつばめてふ　青燕尾蝶（アオツバメ）（Zephyrus orientalis, Murray.）下飯坂（岩手）

四五二、つまぐろあかつばめてふ　褄黒赤燕尾蝶（ツマグロアカツバメ）（Zephyrus lutea, Hewiton.）下飯坂（岩手）

四五三、あかしじみてふ　黃小灰蝶（アカシジミ）（Curetis acuta, Moore.）伊東（三重）岩見（京都）堀口（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）河合（岐阜）谷（岐阜）熊谷（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）水野（岐阜）

第二　弄花蝶類

（一）弄花蝶科（ハナセセリテフクワ）（HESPERIDAE）

四五四、ちゃまだらはなせせりてふ　茶斑弄花蝶（チヤマダラセセリ）（Thanaos montanus, Brem.）岩見（京都）高橋（岐阜）

四五五、おほはなせせりてふ　大弄花蝶（オオハナセセリ）（Rhopalocampta benjamini, Guerin.）岩見（京都）小林（岐阜）水野（岐阜）下飯坂（岩手）

四五六、きまだらはなせせりてふ　黃斑弄花蝶（キマダラセセリ）（Padraona dara, Kollar.）大橋（岐阜）津屋（岐阜）

四五七、はな せせり てふ 弄花蝶(ハナセセリ)（Parnara pellucida Murray.）岩見（京都）高橋（岐阜）水野（岐阜）下飯坂（岩手）

四五八、いちもじ はなせせり てふ 一文字弄花蝶(イチモジセセリ)（Parnara guttata, B,&G.）伴野（三重）小幡（岐阜）大橋（岐阜）大矢（三重）若林（岐阜）河合（岐阜）津田（岐阜）松崎（愛知）後藤幸（三重）阿刀田（宮城）水野（岐阜）

四五九、こ はなせせり てふ 小弄花蝶(コハナセセリ)（Parnara mathias, Fab.）岩見（京都）

四六〇、こ ちゃばね はなせせり てふ 小褐翅弄花蝶(コチャバチセセリ)（Halpe varia, Murray.）高橋（岐阜）

四六一、くろ はなせせり てふ 黒弄花蝶(クロハナセセリ)（Daimio tethys, Men.）後藤幸（三重）

蛾（Heterocera）

第三　天蛾類

（一）天蛾科(スズメガクワ)（SPHINDiDAE）

四六二、いかり もん が 錨紋蛾(イカリチョウ)（Pterodecta gloriosa.）高橋（岐阜）

四六三、うち すずめ 紅娘子（家雀）（Smerinthus ocellatus, L.）河合（岐阜）吉澤（岐阜）後藤幸（三重）



ハナセセリテフの圖 ♀

宮林(愛知)

四六四、もも すずめ 桃蟲蛾 (Triptogon complacens, Walk.) 大矢(三重) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四六五、うんもん すずめ 雲紋天蛾 (Ambululyx totarionovii, Brem.) 津屋(岐阜)

四六六、めんがた すずめ 面形天蛾(ガイコツチヨウ) (Acherontia atropos, Linn.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四六七、えびがら すずめ 蝦殼天蛾 (Protoparce convolvuli, L.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四六七、こえびがら すずめ 小蝦殼天蛾 (Protoparce sp.) 水野(岐阜)

四六八、しもふり すずめ 霜降天蛾 (Ancery x increta, Walker.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 小林(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

四六九、おほ しもふり すずめ 大霜降天蛾(オオシモフリスズメ) (Gn? sp?) 岩見(京都)

四七〇、くちば すずめ 朽葉天蛾 (Triptogon picepennis, But.) 宮林(愛知)

四七一、すずめ が 天蛾(スズメチヨウ) (Chaerocampa nessus, Dranoy.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四七二、くるま すずめ 車輪紋蛾 (Anpelophaga rubiginosa, Brem.) 若林(岐阜) 谷(岐阜)

四七三、ぶだう すずめ 葡萄蟲蛾(ブドウスズメ) (Acosmeryx anceus, Cram.) 後藤幸(三重) 天野(岐阜)

四七四、とびいろ すずめ 鳶色大蛾 (Triptogon sp?) 後藤幸(三重)

四七五、くろ すずめ 黑天蛾 (Hyloicus pinastri.) 宮林(愛知)

四七六、こ すずめ 小天蛾(ゴスズメチョウ) (Chaerocampa japonica, Boisd.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

四七七、せすぢ すずめ 脊筋天蛾 (Chaerocampa oldenlandiae, Fab.) 小幡(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四七八、べに すずめ 紅天蛾 (Chaerocampa elpenor, L.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四七九、はうぢやく が 蜂雀蛾(ホウジャク) (Macroglossa stellatarum, L.) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜)

四八〇、ひめ はうぢやく が 姫蜂雀蛾(ヒメホウジャク) (Lophura sangaica, Butl.) 堀口(岐阜) 後藤幸(三重) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四八一、くろ はうぢやく が 黑蜂雀蛾(クロホウジャク) (Macroglossa pyrrhosticta, Butl.) 大橋(岐阜) 河合(岐阜)

吉澤（岐阜）津屋（岐阜）宮林（愛知）

四八二、すきば はうざやく が　透翅蜂雀蛾 (Hemaris radious, walk.) 若林（岐阜）河合（岐阜）津屋（岐阜）

四八三、おほ すかしば が　大透翅蜂雀蛾 (Cephanodes hylas, L.) 河合（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）後藤幸（三重）宮林（愛知）

（一二）硝子蛾科 (AEGERIDAE)

四八四、ももぶと すきば が　腿太透翅蛾 (Melittia sp?) 宮林（愛知）

（一三）纈文蛾科 (ZYGAENIDAE)

四八五、かのこ もん が　纈文（鹿子斑）蛾 (Syntomis fortunei, Boisd.) 若林（岐阜）河合（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）下飯阪（岩手）

四八六、きはだ かのこもん が　黄肌纈文蛾 (Syntomis germana, Feld.) 大矢（三重）

四八七、ほし はまきけむし の が　星葉捲毛蟲蛾 (Procris nigra, Leech.) 小幡（岐阜）下飯阪（岩手）

第四　木蠹蛾類

（一）蝙蝠蛾科 (HEPIALIDAE)

四八八、くさぎ の えんくひ の が　臭梧桐蠹蟲蛾 (Hepialus excrescens, Butl.) 小幡（岐阜）天野（岐阜）

水野（岐阜）

（二）木蠹蛾科（COSSIDAE）

四八九、ごまふのきんくひが　胡麻斑木蠹蛾（Zenzera aesculi.）　河合（岐阜）　下飯阪（岩手）

第五　蠶蛾類

（一）蛓蟲蛾科（LIMACODIDAE）

四九〇、いらむしのが　蛓蟲蛾（Monema flavecens, Walk.）

河合（岐阜）



イラムシノガの圖
（イ）は繭（ロ）は繭の上部を内面より見たるもの（ハ）は成蟲（雌）

（二）赤頭蛾科（CHALCOSSIDAE）

四九一、ほたるが　螢火蛾（Pidorus atratus, Butl.）　伴野（三重）

大橋（岐阜）　大矢（三重）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　谷（岐阜）　津屋（岐阜）

水野（岐阜）　宮林（愛知）

四九二、ほたるがもどき　擬螢火蛾（LAurion remota, Walk.）　若林（岐阜）　河合（岐阜）　高橋（岐阜）　水野（岐阜）　下飯阪（岩手）

四九三、うすばつばめが　薄翅燕尾蛾（Elcysma westwoodi, Volleuh.）　伴野（三重）　小幡（岐阜）　若林

(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

(三)避債蟲蛾科 (PSYCHIDAE)

四九四、みの むし の が 結草蟲(蓑蟲)蛾 (Eumeta minuscula, Butl.) 小幡(岐阜)

(四)羊齒蛾科 (LITHOSIDAE)

四九五、ごま まだら きいろ が 胡麻斑黄色蛾 (Stigmatophora flava, B. G.) 大橋(岐阜)

四九六、あかすぢ しろ が 赤筋白蛾 (Bizone hamata, Walk.) 河合(岐阜)



ゴマダラキイロガの圖(雌)

(五)燈蛾科 (ARCTIIDAE)

四九七、さらさ もん が 花布紋蛾 (Numenes interiorata, Walk.) 岩見(京都) 高橋(岐阜)

四九八、ごま まだら しろ が 胡麻斑白蛾 (Spilosoma menthastri, Esp.) 岩見(京都) 若林(岐阜)

四九九、はらあか おほ しろ が 腹赤大白蛾 (Dionychopius niveus, Men.) 伴野(三重) 河合(岐阜) 後藤幸(三重) 下飯阪(岩手)

五〇〇、はらあか しろ が 腹赤白蛾 (Spilosoma erubescens, Moore.) 河合(岐阜) 津屋(岐阜)

五〇一、べにへり しろ が 紅縁白蛾 (Creatonotos lactinea, Cram.) 津屋(岐阜)

（六）粗毛蛾科（ハンノキケムシガクワ）（LYMANTRIIDAE）

五〇二、はんのきけむしのが　赤楊毛蟲蛾（ハンノキチヨウ）（Lymantria japonica, Motsch.）　高橋（岐阜）　津屋（岐阜）　下飯阪（岩手）

五〇三、かしはのけむしのが　槲樹毛蟲蛾（カシワノチヨウ）（Lymantria mathura, Moore.）　小里（岐阜）　若林（岐阜）　後藤三（岐阜）

（七）毒蛾科（ドクガクワ）（LIPARIDAE）

五〇四、きんけむしのが　金色毛蟲蛾（キンケムシノチヨウ）（Leucoma similis, Fuessl.）　松崎（愛知）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

五〇五、ちやのけむしのが　茶樹毛蟲蛾（チヤケムシノチヨウ）（Artaxa conspersa, But.）　後藤幸（三重）　宮林（愛知）

五〇六、ばらけむしのが　薔薇毛蟲蛾（バラケムシノチヨウ）（Artaxa intensa, Butl.）　宮林（愛知）

（八）蛅蟖蛾科（ケムシノガクワ）（LASIOCAMPIDAE）

五〇七、まつけむしのが　松樹毛蟲蛾（マツケムシノチヨウ）（Dendrolinus pini, L.）　伴野（三重）　小幡（岐阜）　若林（岐阜）　吉澤（岐阜）　谷（岐阜）　津屋（岐阜）　松崎（愛知）　後藤幸（三重）　天野（岐阜）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

五〇八、かれこのはが　枯葉蛾（カレハチヨウ）（Gastroparcha quercifolia, L）　小幡（岐阜）　津屋（岐阜）　宮林（愛知）

五〇九、たけのおほけむしのが　竹大毛蟲蛾（Gastroparcha quercifolia, L.）谷（岐阜）

五一〇、うめけむしのが、梅樹毛蟲蛾（Clisiocampa neustria, L.）小幡（岐阜）後藤幸（三重）下飯阪（岩手）

五一一、しろよつぼしが　白色四星蛾（Odonestes albomaculata, Brem.）大矢（三重）津屋（岐阜）宮林（愛知）

（九）野蠶蛾科（SATURNIIDAE）

五一二、やままゆのが　野蠶蛾（山繭蛾）（Antherea yamamai, Guer.）若林（岐阜）吉澤（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）後藤幸（三重）江尻（富山）天野（岐阜）宮林（愛知）

五一三、くりけむしのが　天蠶蛾（栗毛蟲蛾）（Caligula Japonica, Moore.）堀口（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）松崎（愛知）天野（岐阜）水野（岐阜）下飯阪（岩手）

五一四、やまがますのが　山蒲簀蛾（Rhodia fugax, But.）堀口（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）松崎（愛知）天野（岐阜）水野（岐阜）下飯阪（岩手）

五一五、おほあをが　大青蛾（Actias artemis, Brem.）若林（岐阜）谷（岐阜）水野（岐阜）

五一六、しょくこうのにしきが　蜀江錦蛾（水蠟樹裸蟲蛾）（Brahmaea taponica, Butl.）谷（岐阜）津屋（岐阜）天野（岐阜）

(一〇)蠶蛾科(カヒコノガクワ) (BOMBYCIDAE)

五一七、かひこのが 家蠶蛾(カイコノチヨウ) (Bombyx mori, L.) 下飯阪(岩手)

五一八、くはごのが 桑繭蛾(クワゴノチヨウ)(桑蠶蛾) (Bombyx mandarinus, Moore.) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜)

(一一)擧尾蛾科(シリアゲガクワ) (NOTODONTIDAE)

五一九、さくらけむしのが 櫻樹毛蟲蛾(サクラケムシノチヨウ) (Phalera flavescens, Brem.) 谷(岐阜)

五二〇、びろうどが 剪絨蛾(ビロウドチヨウ) (Gn? sp?) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

第六 糖蛾類

(一)擬蠶蛾科(ケムシモドキガクワ) (BOMBYCOIDAE)

五二一、なのけむしのが 蔬菜毛蟲蛾(ナケムシノチヨウ) (Acronycta rumicis.) 河合(岐阜)

五二二、けんもんが 劍紋蛾(ケンモンチヨウ) (Acronycta consanguis, But.) 小幡(岐阜)

(二)粟蠶蛾科(アハノヨタウムシガクワ) (LEUCANIIDAE)

五二三、あはのよたうむしのが 粟夜盜蟲蛾(アワヨトウムシノチヨウ) (Leucania unipunctata, Haw.) 松崎(愛知)

五二四、おほずゐむしのが 大螟蟲蛾(オオズイムシノチヨウ) (Nonagria innocens, But.) 松崎(愛知)

(三)木皮蛾科 (GLOTTULIDAE)

五二五、きのかはが　擬木皮蛾 (Dandaca senex, But.)　小里(岐阜)　津田(岐阜)　津屋(岐阜)　熊谷(岐阜)

(四)糖蛾科 (NOCTUIDAE)

五二六、ねきりむしのが　根切蟲蛾 (Agrotis segetum, Schib.)　堀口(岐阜)

五二七、はちのじねきりのが　八文字根切蟲蛾 (Noctua c-nigrum, L.)　熊谷(岐阜)

五二八、とげしやくとりもどきのが　擬刺尺蠖蛾 (Gn? sp?)　小幡(岐阜)　河合(岐阜)　谷(岐阜)
後藤幸(三重)　阿刀田(宮城)

五二九、たうがの一種　糖蛾一種 (Noctua sp?).　大矢(三重)　下飯阪(岩手)

五三〇、ほそばきしたばが　細形黃下翅蛾 (Epilecta decotata, But.)　水野(岐阜)

(五)地蠶蛾科 (HADENIDAE)

五三一、ゑんどうのきりむしのが　豌豆地蠶蛾 (Mamestra Brassicae, L.)　伴野(三重)　津屋(岐阜)
後藤幸(三重)

五三二、あをふもんが　青斑紋蛾 (Hadena atriplicis, But.)　津屋(岐阜)

五三三、しろほしあかしたばが　白星赤下翅蛾 (Amphipyra surnia, Fel.)　岩見(京都)　大矢(三重)　高橋

（岐阜）宮林（愛知）

五三四、やにいろが　烟脂色蛾（Perinaenia lignosa, But.）小里（岐阜）

五三五、しらふが　白斑蛾（Sypna achatina, But.）小里（岐阜）

五三六、しろすぢが　白筋蛾（Amphiphyra tripartita, But.）大橋（岐阜）河合（岐阜）水野（岐阜）

五三七、はねぐろが　翅黑蛾（Amphiphyra cervina, Motsch.）堀口（岐阜）小里（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）津屋（岐阜）後藤幸（三重）

五三八、ぎしぎしのきりむしのが　野大黄地蠶蛾（Naenia contaminata.）高橋（岐阜）

五三九、くろくもが　黑雲紋蛾（Dinumnia lilacina, But.）若林（岐阜）高橋（岐阜）後藤幸（三重）

（六）螟蛉蛾科（PLUSIIDAE）

五四〇、つまきんが　褄金色蛾（Plusia chrysitina, Mar.）伴野（三重）谷（岐阜）津田（岐阜）熊谷（岐阜）

五四一、おほぎんもんが　大銀紋蛾（Plusia virgo, Mots.）大橋（岐阜）

五四二、きんぎんもんが　金銀紋蛾（Plusia ornatissima, Walk.）大橋（岐阜）

五四三、いねのあをむしのが　稻螟蛉蛾（Naranga diffusa, Butl.）松崎（愛知）

（七）擬尺蠖蛾科（CATOCALIIDAE）

五四四、あけび の きのは が 通草木葉蛾（アケビチヨウ） (Ophideres tyrannus, Guen.) 堀口（岐阜） 小里（岐阜） 大橋（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 谷（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 熊谷（岐阜） 天野（岐阜） 水野（岐阜）

五四五、こがた の きのは が 小形木葉蛾（コキノハチヨウ） (Calpe excavata, But.) 小幡（岐阜） 若林（岐阜） 吉澤（岐阜） 水野（岐阜）

五四六、うすべに したば が 薄紅下翅蛾（ウスベニシタバ） (Catocala nivea, But.) 谷（岐阜） 津屋（岐阜）

五四七、べに したば が 紅下翅蛾（ベニシタバ） (Catocala zalmunna, But.) 岩見（京都） 小里（岐阜） 水野（岐阜） 下飯阪（岩手）

五四八、き したば が 黄下翅蛾（キシタバ） (Catocala volcanica, But.) 大橋（岐阜） 河合（岐阜） 谷（岐阜） 高橋（岐阜） 宮林（愛知）

五四九、こがた の き したば が 小形黄下翅蛾（コキシタバ） (Catocala esther, But.) 大矢（三重）

五五〇、くもがた き したば が 雲形黄下翅蛾（クモガタキシタバ） (Catocala mirifica?) 谷（岐阜）

五五一、おほ くもがた き したば が 大雲形黄下翅蛾（オオクモガタキシタバ） (Catocala jonasi, But.) 谷（岐阜）

（八）巴紋蛾科（トモヱモンガクワ） (HYPOPYRIDAE)

五五二、おほ ともゑ もん が 大巴紋蛾（シラニシキ） (Nyctipao crepuscularis.) 岩見（京都） 河合（岐阜） 吉澤（岐阜）

五五三、かきのは まがひ が 擬似柿葉蛾（カキノハマガイ） (Hypopyra dulcina, Fel.) 高橋（岐阜）

五五四、ともゑもんが 鞆繪紋(巴字形)蛾 (Spirama retorta, Clerk.) 岩見(京都) 伴野(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

五五五、びろうどともゑが 剪絨巴紋蛾 (Spirama japonica, Men?) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

五五六、しろすぢともゑが 白筋巴紋蛾 (Spirama interlineata, But.) 岩見(京都) 大矢(三重) 河合(岐阜) 小林(岐阜)

五五七、ふくらすずめ 文蛾(脹雀) (Cocytodes modesta, Guen.) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知)

五五八、うんもんくちばが 雲紋朽葉蛾 (Remigia annetta, But.) 大矢(三重) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

第七 尺蠖蛾類

(一)白蠖蛾科 (URAPTERIDAE)

五五九、いぬがやのしやくとりのが 粗榧尺蠖蛾 (Urapteryx maculicaudaria, Mots.) 谷(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

五六〇、きまだら つばめ 黄斑燕尾蛾 (Urapteryx delectans, But.) 岩見(京都)

五六一、おほ きまだら つばめ 大形黄斑燕尾蛾 (Urapteryx crocopterata, Guen.) 大橋(岐阜)

(二)赭黄尺蠖蛾科(クチバイロシヤクトリガクワ) (ENNOMIDAE)

五六二、よつもん しやくとり が 四紋尺蠖蛾 (Niphonissa arida, But.) 岩見(京都)

五六三、もんき しやくとり が 紋黄尺蠖蛾 (Bizia aexaria, B.M.) 岩見(京都) 高橋(岐阜)

(三)枝尺蠖蛾科(エダシヤクトリガクワ) (BOARMIIDAE)

五六四、おほ しやくとり むし の が 大尺蠖蛾 (Biston robustum, But.) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

五六五、えだ しやくとりむし の が 枝尺蠖蛾(エダシヤクトリ) (Hemirophia atrilineata, But.) 伴野(三重) 大矢(三重) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重)

五六六、まつかは しやくとり が 松皮尺蠖蛾(マツカワシヤクトリ) (Boarmia grisea, But.) 大橋(岐阜)

五六七、しやくとりむし の が の一種 尺蠖蛾一種 (Gn? sp?) 岩見(京都)

五六八、ちや の しもふり しやくとり が 茶樹霜降尺蠖蛾 (Opthalmodes cretacae, But.) 岩見(京都) 河合(岐阜) 津屋(岐阜)

(四)尺蠖蛾科(シヤクトリムシガクワ) (GEOMETRIDAE)

五六九、こ　しろすぢ　あをしやくとり　の　が　小形白筋青尺蠖蛾（Thalara venata, But.）河合（岐阜）津屋（岐阜）

五七〇、あを　つばめ　しやくとりが　青色燕尾尺蠖蛾（Thalara sp?）津屋（岐阜）

五七一、ひめ　あを　しやくとりが　姫青色尺蠖蛾（Thalassodes marina, But.）河合（岐阜）

五七二、こけ　の　あを　しやくとりが　蘚苔青尺蠖蛾（Gn? sp?）岩見（京都）

（五）波紋尺蠖蛾科（ACIDALIDAE）

五七三、ささなみ　しやくとりが　小波紋尺蠖蛾（Micronia pontiata, Wal.）津屋（岐阜）

（六）梅尺蠖蛾科（ZERENIDAE）

五七四、さみだれ　が　五月雨蛾（Vithora agrionides, But.）大矢（三重）河合（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）宮林（愛知）

五七五、うめ　しやくとり　の　が　梅樹尺蠖蛾（Abraxas eurymede, Motsch.）高橋（岐阜）阿刀田（宮城）

五七六、おほ　まだら　き　したば　が　大斑黄下翅蛾（Icterodes jaguaria.）岩見（京都）河合（岐阜）谷（岐阜）高橋（岐阜）

五七七、まだら　き　したば　が　斑黄下翅蛾（Icterodes fraterna, But.）大矢（三重）高橋（岐阜）

五七八、ごま まだら しゃくとり が 胡麻斑尺蠖蛾（Abraxas elegans, But.）河合（岐阜）谷（岐阜）

五七九、ゆふ まだら が 夕暮斑蛾（杜中尺蠖蛾）（Abraxas miranda, But.）谷（岐阜）津屋（岐阜）阿刀田（宮城）

（七）斑點尺蠖蛾科　（HYBERNIIDAE）

五八〇、まだら しゃくとり が 斑尺蠖蛾（Anisodes hadassa.）高橋（岐阜）

五八一、しゃくとり が の一種 尺蠖蛾一種（Gn? sp?）岩見（京都）

五八二、ひめ びろうど しゃくとり が 姫剪絨尺蠖蛾（Cidaria mactata, Fel.）津田（岐阜）

第八　小蛾類

（一）厚翅小蛾科　（HYPENIDAE）

五八三、やぶ まを むし の が 苧麻蟲蛾（Dichromia amica, But.）大橋（岐阜）

（二）線條小蛾科　（HERMINIIDAE）

五八四、みすぢ はまきむし が 三筋葉捲蟲蛾（Amblygoes cinerea, But.）大橋（岐阜）

（三）小蛾科　（PYRALIDAE）

五八五、たね つづり むし の が 結巣蟲蛾（種綴蟲蛾）（Aglossa dimidiata, Haw.）小幡（岐阜）大橋（岐阜）

（四）花文蛾科　（HYDROCAMPIDAE）

五八六、おほ さらさ もんが 大形花文蛾（大更紗紋蛾）（Hydrocampa interruptalis, W.B.Pryer.） 大橋（岐阜） 津屋（岐阜）

（五）結桑蟲蛾科（クハハマキムシガクワ） （MARGARODIDAE）

五八七、わた はまき むしのが 綿葉捲蟲蛾（ワタハマキノガ） （Sylepta multilinealis, Guen.） 伴野（三重）

五八八、を ぐろ くは はまきむしのが 尾黒桑葉捲蟲蛾 （Glyphodes pryeri, But.） 大橋（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤幸（三重）

五八九、くぬぎ はまきむしのが 櫟葉捲蟲蛾 （Gn? sp?） 大矢（三重）

五九〇、うり はまきむしのが 瓜葉捲蟲蛾 （Phakellura indica.） 水野（岐阜）

五九一、しそ はまきむしのが 紫蘇葉捲蟲蛾 （Gn? sp?） 大橋（岐阜）

五九二、たけ はまきむしのが 竹葉捲蟲蛾（タケハマキノガ） （Nomis sp?） 大橋（岐阜）

五九三、きすぢ はまきむしのが 黄筋葉捲蟲蛾（キスヂハマキノガ） （Gn? sp?） 大橋（岐阜）

（六）藍螟蛾科（アヰノズヰムシガクワ） （BOTYDIDAE）

五九四、あはの ずゐむしのが 粟螟蛾（アハズヰムシノガ） （Botys nubilalis, Hüb.） 後藤三（岐阜）

五九五、あさの ずゐむしのが 麻螟蛾（アサノズヰムシ） （Botys sp?） 大橋（岐阜）

五九六、まめ はまきむし の が　豆葉捲蟲蛾（Botys sp?）　大橋（岐阜）　河合（岐阜）

（七）黑斑捲葉蟲蛾科（ゴマフハマキムシガクワ）（HYPONOMEUTIDAE）

五九七、ごまふ はまきむし が　胡麻斑葉捲蟲蛾（ゴマフハマキ）（Hyponomeuta malinella, Zll.）　下飯坂（岩手）

（備考）　此目のものにて出品に係るは、蝶類六十七、蛾類百三十七、都合二百四種とす。而して其殆んど全部は、農作上の有害蟲と稱すべきものにて、中に害をなさゞるは、その蘚苔を以て食とするもののみ。蝶類の中、有紋白蝶と筋黑白蝶の蔬菜に於ける、緋威鎧蝶の樹木に於ける加害は皆人の知る所なり。また蛾類特に毛蟲、烏蠋、木蠹、螟蟲、葉捲蟲、螟蛉等の、國家に損害を與ふる多少の如何ば、今茲に細説するの要なかる可しと信するを以て、之を省きつ。

◉毛翅目（TRICOPTERA）

毛翅目とは、從來、脈翅目（羅翅類）に隷屬せしめたる、蜻蛉の一種の總稱なり。其品種は、甚はだ少なく、纔かにデムキカグロフ族あるのみ。變態は完全に、四翅を有するも、口部の搆成もと完たからざるを以て、殆んど食を取るに堪へず。前翅は、其形細長く、毛狀の細鱗を以て覆はる。而してこの細鱗は、毛翅目專有の特徵にて、彼の鱗翅目の鱗毛とは、相同じからず。後翅は、前翅よりも、著るしく濶く、且つ稍透明に、網狀をなせる縱條脈を有せり、横脈は極めて少なし。幼蟲は、概むね水中に生育し、六脚を有す。其形は宛がら鱗翅目のそれと彷彿たり。多くは草木の

屑片又は砂礫の細小なるものを綴りて、其躰軀を被包するの性あり。

第一　石蠶類

（一）石蠶科　（PHRYGANEIDAE）

五九八、まつかはぢむきかげろふ　松皮地向蜻蛉　（Limnephilus sp?）　大橋（岐阜）　小里（岐阜）　若林（岐阜）
高橋（岐阜）　津屋（城阜）　水野（岐阜）　宮林（愛知）　下飯阪（岩手）

五九九、おほぢむきかげろふ　大形地向蜻蛉　（Neuronia sp?）　若林（岐阜）

六〇〇、ぢむきかげろふ　地向（俯覗）蜻蛉　（Phryganea sp?）　小幡（岐阜）　高橋（岐阜）　津屋（岐阜）　松崎（愛知）
宮林（愛知）

六〇一、こぢむきかげろふ　小形地向蜻蛉　（Phryganea sp?）　大橋（岐阜）　高橋（岐阜）

六〇二、ひげながぢむきかげろふ　髭長地向蜻蛉　（Mystacides sp?）　大橋（岐阜）

六〇三、はまだらぢむきかげろふ　翅斑地向蜻蛉　（Phryganea sp?）　大橋（岐阜）

（二）擬蛾石蠶科　（HYDROPTILIDAE）

六〇四、がもどきかげろふの一種　擬蛾石蠶一種　（Gn? sp?）　若越（岐阜）　小里（岐阜）

（備考）　此目に屬するもの丶出品は、上記の七種に止まりしが、其幼蟲の水中に棲息する間は、なべてイサゴムシと稱せら

れて、古來釣餌又は藥劑に用ゐらる。成蟲は、夜間に火光を慕ふて、往々室內に飛來ることあり。其靜止の際には、四翅を屋脊狀となし、必らず地上を俯視す、故に地向蜻蛉の稱あり。此屬は敢て農作物に加害するものにはあらず。

◉脈翅目（NEUROPTERA）

脈翅目は、また羅翅類ともいふ。舊分類式よては、蜻蛉屬の總稱として、久しく此名稱を用ゐしかど、近來は、これに薄翅蜻蛉、草蜻蛉、長角蜻蛉等の七八種族を配するに止め、他は擧げて、之を擬脈翅目と稱するよ至れり。而して此目に屬するものゝ四翅は、皆强靱瑩徹、縱横に纖脈を通じ、其さま猶ほ薄紗輕羅のごとし、故に脈翅又は羅翅の稱あるなり。頭部は口吻狀をなすものと、然らざるものとありて一様ならず。去れど、口器の咬嚼に適すると、變態の完全なるに至りては、各種を通じて皆相同じ。幼蟲には、水棲と陸棲とありて、前者は後者よりも、其品種少なし。孰れも六脚を具有する食肉性にして、老熟期に到れば、營繭するもの多し。

第一　水棲類

（一）黑條蜻蛉科（クロスヂカゲロフクワ）（SIALIDAE）

一〇五、**くろすぢかげろふ** 黑筋蜻蛉（クロスヂカゲロウ）（Sialis japonicus, M. L.）岩越（岐阜）高橋（岐阜）

六〇六、おほ きすぢ かげろふ 大黄筋蜻蛉 (Corydalis sp?) 津屋(岐阜)

六〇七、おほ くろすぢ かげろふ 大黒筋蜻蛉 (Corydalis glandis, Thunb.) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

第二 陸棲類

(一) 擬蟷螂科 (MANTISPIDAE)

六〇八、かまきり かげろふ 擬蟷螂蜻蛉 (Mantispa sp?) 若林(岐阜)

六〇九、おほ かまきり かげろふ 大形擬蟷螂蜻蛉 (Mantispa sp?) 宮林(愛知)

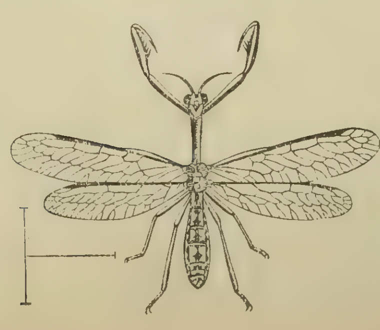
六一〇、ひめ かまきり かげろふ 姫擬蟷螂蜻蛉 (Mantispa sp?) 松崎(愛知)

(二) 草蜻蛉科 (CHRYSOPIDAE)

六一一、くさ かげろふ 草色蜻蛉(綠蜻蛉) (Chrysopa perta, L.) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 熊谷(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

(三) 擬草蜻蛉科 (HERMEROBIIDAE)

六一二、くさかげろふ もどき 擬草蜻蛉 (Osmylus chrysops ?) 水野(岐阜)



カマキリカゲロウの圖

(四)薄翅蜻蛉科 (MYRMELEONIDAE)

六一三、うすば かげろふ 薄翅蜻蛉 (Myrmeleon formicarius, L.) 岩見(京都) 伴野(三重) 若林(岐阜) 熊谷(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

六一四、ほし うすばかげろふ 星薄翅蜻蛉 (Myrmeleon micans, M. L.) 後藤幸(三重)

六一五、ひめ うすばかげろふ 姫薄翅蜻蛉 (Myrmeleon sp?) 朝倉(岡山)

六一六、かすり うすばかげろふ 綛薄翅蜻蛉 (Myrmeleon sp?) 小林(岐阜)

六一七、おほ かすり うすばかげろふ 大形綛薄翅蜻蛉 (Myrmeleon sp?) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) 津屋(岐阜) 朝倉(岡山)

(五)長角蜻蛉科 (ASCALAPIDAE)

六一八、つれ とんばう 長角蜻蛉 (Ascalaphus subjacens, Walk.) 伴野(三重) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

六一九、きばね つれ とんばう 黄翅長角蜻蛉 (Ascalaphus japonicus, M. L.) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 下飯阪(岩手)

蠍蟲亞目 (Mecoptera)

第一　擧尾蟲類

（一）擧尾蟲科（シリアゲムシクワ）（PANORPHIDAE）

六二〇、しりあげむし　擧尾蟲（Panorpa japonica, Thunb.）大橋（岐阜）高橋（岐阜）朝倉（岡山）

六二一、あかしりあげむし　赤色擧尾蟲（Panorpa sp.?）津屋（岐阜）松崎（愛知）水野（岐阜）

六二二、こしりあげむし　小擧尾蟲（Panorpa sp.?）水野（岐阜）

（備考）上記の如く、脈翅目に屬する蟲種の出品は、都て十八種なりき。就中、第六百五號より七號に至る三種は、水生のものにて、他は皆陸産とす。而して概むね食肉性なるが故に、其有益蟲たるや論なし。例へば、薄翅蜻蛉の幼蟲砂挼子の、地上に乳鉢狀の凹孔を設置きて、蟻その他の陷落するを窺がひ、堅強の上顎を以て、之を捕食するが如き、草蜻蛉の幼蟲の、蚜蟲を貪食して飽くなきが如き、又長角蜻蛉の空中を翔り乍ら、巧みに多くの小蟲を啄ばみ食ふが如きは、皆著明の事實とす。其他擧尾蟲の雄の腹端は、上に曲りて鈎狀をなすが故に、また能く他蟲を挾み捕ふることを得るなり。

◎有吻目（RHYNCHOTA）

有吻目は、また半翅類（Hemiptera）ともいふ。變態の不完全なる蟬、浮塵子、貝殼蟲、椿象及び水黽等の總稱にして、有害種の魁首とも見るべきものは、半ば此中にあり。孰れも吸吮の用に供する、細長尖鋭の口吻と、移植に適當せる器官とを具ふ。但し亞目の異なるに隨うて、翅の形質を異にし

異翅亞目のもの丶、前翅の基部は、革質不透明に、その先端部は、膜質透明なるに反し、同翅亞目のものは同一質より成り、且つ概むね透明なり。而して前者は靜息の際、翅を水平に躰上に置きて其尖端を重ね、後者は之を屋背狀となして、恒に體側に横たふ。幼蟲の形態は、殆んど成蟲と違はざるも、未だ翅を生ずるに至らず。然れども、無翅の屬にありては、成蟲と幼蟲の別の、判然とせざるも之あり、即はち蟻と蝨の分界の如きは其適例とす。

同翅亞目（Homoptera）

第一　貝殼蟲類

（一）貝殼蟲科（カヒガラムシクワ）（COCCIDAE）

六二三、くはのかひがらむし　桑樹貝殼蟲（クワノカイガラムシ）（Diaspis pentagona, S. T.）　小幡（岐阜）　津田（岐阜）

第二　木蝨類

（一）木蝨科（キジラミクワ）（PSYLLIDAE）

六二四、くはのきぢらみ　桑蝨（クワジラミ）（Anomoneura mori, Schwarz.）　伴野（三重）

六二五、なしのきぢらみ　梨蝨（ナシジラミ）（Psylla pyrisuga, Foerster.）　津田（岐阜）

六二六、まつのきぢらみ　松蝨（マツジラミ）（Gn? sp?）　津田（岐阜）

第三　浮塵子類

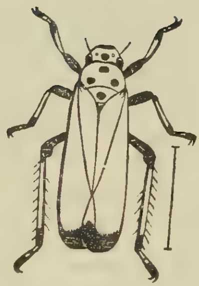
（一）浮塵子科（JASSIDAE）

六二七、みみづく よこばひ 猫頭横蚑蟲（ミミヅクヨコバイ）（Ledra auditura, Walker.）河合（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）

六二八、よこばひ むし 横蚑蟲（ヨコバイ）（浮塵子）（Tettigonia viridis, Linn.）伊藤（三重）伴野（三重）大矢（三重）小里（岐阜）津田（岐阜）松崎（愛知）

六二九、むぎ の よこばひ 麥横蚑蟲（ムギヨコバイ）（Tettigonia guttigera, Uhler.）宮林（愛知）

六三〇、おほ つまぐろ よこばひ 大形褄黑横蚑蟲（オオツマグロヨコバイ）（Tettigonia ferruginea, Fab.）伊東（三重）岩見（京都）伴野（三重）河合（岐阜）小林（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）



オホツマグロヨコバイの圖

六三一、つまぐろ よこばひ 褄黑横蚑蟲（ツマグロヨコバイ）（Selenocephalus cincticeps, Uhler.）伴野（三重）大矢（三重）河合（岐阜）津田（岐阜）松崎（愛知）宮林（愛知）下飯阪（岩手）

六三二、もん よこばひ 紋横蚑蟲（モンヨコバイ）（Thamnotettix sellata, Uhler.）津田（岐阜）

六三三、まだら よこばひ 斑横蚑蟲（マダラヨコバイ）（Deltocephalus striatus, Linn.）岩越（岐阜）大矢（三重）津田（岐阜）

六三四、あかがね よこばひ 銅色横蚑蟲 (Cicadura sp?) 津田(岐阜)

六三五、ふたほし よこばひ 二星横蚑蟲 (Cicadura waroni, Lethert.) 大矢(三重)

六三六、みどり よこばひ 綠色横蚑蟲 (Typhlocyba sp?) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 津田(岐阜)

六三七、くろめ よこばひ 黑眼横蚑蟲 (Typhlocyba sp?) 津田(岐阜)

六三八、くはの あか ふ よこばひ 桑赤斑横蚑蟲 (Thphlocyba sp?) 津田(岐阜)

(二)沫吹蟲科 (CERCOPIDAE)

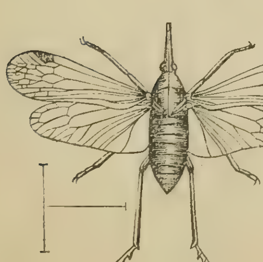
六三九、あわ ふき よこばひ 沫吹横蚑蟲 (Aphrophora flavipes, Uhler.) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 筒井(岐阜) 松崎(愛知)

(三)薄翅浮塵子科 (EULGORIDAE)

六四〇、てんぐ よこばひ 天狗横蚑蟲 (Dictyophora inscripta, Walker.) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

六四一、とびいろ うんか 鳶色横蚑蟲(褐色浮塵子) (Delphax sp?) 宮林(愛知)

六四二、あを はごろも よこばひ 青羽衣横蚑蟲 (Poeciloptera distinctissima, Walker.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知)



テングヨコバイの圖

六四三、べっかふ はごろも よこばひ 鼈甲羽衣横蚑蟲(ベッコウハゴロモ) (Ricania japonica, Metich.) 伴野(三重) 大矢(三重) 松崎(愛知) 下飯阪(岩手)

六四四、あみがさ はごろも よこばひ 繭笠(編笠)横蚑蟲(アミガサハゴロモ) (Pochazia obscura, F. G.) 大矢(三重)

六四五、やなぎかはいろ よこばひ 柳皮色横蚑蟲(ヤナギカワヨコアイ) (Cotyleceps subnubilus, Uhler.) 松崎(愛知)

第四 蟬類

(一) 蟬(セミ)科(クワ) (CICADIDAE)

六四六、にいにい ぜみ 蟪蛄(夏蟬)(ナツゼミ) (Platypleura repanda, Linn.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)

六四七、ひぐらし ぜみ 茅蜩(日暮蟬)(カナカナゼミ) (Pomponia japonensis, Distant.) 津屋(岐阜) 下飯阪(岩手) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

六四八、みんみん ぜみ 蛁蟟(翠玉蟬) (Pomponia maculaticollis, Motsch.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知)



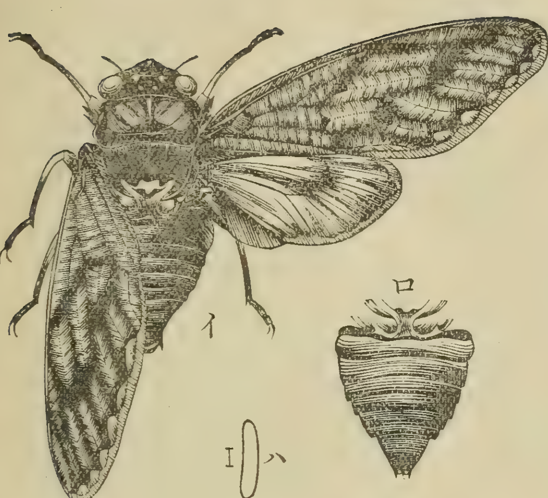
ニイニイゼミの圖

六四九、つくつく ぼうし ぜみ 寒蟬(寒蟬)(フユゼミ) (Cosmopsaltria opalifera,

Walker.) 小林（岐阜）天野（岐阜）水野（岐阜）宮林（愛知）

六五〇、くま ぜみ 馬蜩（熊蟬）(Cryptotympana pustulata, Fabricius.) 若林（岐阜）吉澤（岐阜）天野（岐阜）宮林（愛知）

六五一、はる ぜみ 蟳母（春蟬）(Terpnosia pryeri, Distant.) 岩見（京都）伴野（三重）大矢（三重）河合（岐阜）松崎（愛知）宮林（愛知）



アブラゼミの圖　（イ）は成蟲（雄）（ロ）は雌の腹部（ハ）は卵子（放大）



ヒグラシゼミの圖（イ）は成蟲（ロ）は雄の腹部

六五二、あぶら ぜみ 蚱蟬（秋蟬）(Graptopsaltria colorata, Stol.) 岩見（京都）伴野（三重）堀口（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）津屋（岐阜）筒井（岐阜）松崎（愛知）小林（岐阜）後藤幸（三重）阿刀田（宮城）天野（岐阜）宮林（愛知）

六五三、ちっち ぜみ 小蜩 (Melampsalta radiator, Uhler.) 若林（岐阜）小林（岐阜）下飯阪（岩手）

六五四、えぞ ぜみ 蝦夷蟬（松蟬）（Cicada flammata, Distant.） 下飯阪（岩手）

六五五、こ えぞぜみ 小蝦夷蟬（Cicada bihammata, Mots.） 河合（岐阜）

異翅亞目（Hemiptera）

第一 水棲類

（一）水蟲科（CORIXIDAE）

六五六、こ みづ むし 小水蟲（Corisus substriata, Uhler.） 津田（岐阜）

（二）松藻蟲科（NOTONECTIDAE）

六五七、まつも むし 松藻蟲（Notonecta triguttata, Mots.） 伊東（三重） 津田（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 後藤三（岐阜）

（三）紅娘科（NEPIDAE）

六五八、ゆり の はなすひ 紅娘（百合花吸）（Laccotrephes japonensis, Scott.） 伊東（三重） 岩越（岐阜） 大矢（三重） 若林（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 天野（岐阜） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

六五九、みづ かまきり 水斧蟲（水鎌切）（Ranatra brachyura, Horvath.） 伊東（三重） 大矢（三重） 吉澤（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 天野（岐阜） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

六六〇、こみづかまきり　小水斧蟲　(Ranatra chinensis, Mayr.)　伊東(三重)　津屋(岐阜)

(四)水虵蟲科　(BELOSTOMIDAE)

六六一、たがめ むし　水虵蟲(田鼈)　(Belostoma deyrollii, Vuillef.)　岩見(京都)　伴野(三重)

六六二、こ おひ むし　負子　(Appasus japonicus, Vuillef.)　伊東(三重)　伴野(三重)　堀口(岐阜)　大矢(三重)　河合(岐阜)　津屋(岐阜)　水野(岐阜)　宮林(愛知)

六六三、こおひむしの一種　負子ノ一種　(Zaitha sp?)　岩見(京都)

第二　濕生類

(一)水黽科　(HYDROBATIDAE)

六六四、あめんばう むし　水黽(水秀才)　(Hygrotrechus remigator, Horvath.)　伊東(三重)　天野(岐阜)

六六五、おほ かはぐも　大水黽(大川蜘蛛)　(Limnotrechus elongatus, Uhler.)　松崎(愛知)

第三　陸棲四節類

(一)食肉椿象科　(REDUVIIDAE)

六六六、おほ さし がめむし　大形刺椿象　(Proceratesp?)　岩見(京都)　堀口(岐阜)　若林(岐阜)　河合(岐阜)　津屋(岐阜)　水野(岐阜)　宮林(愛知)

六六七、やに いろ さし がめ 樹脂色刺椿象（ヤニサシガメ）（Velinus nodipes, Uhler.）岩越（岐阜）小幡（岐阜）小里（岐阜）
津田（岐阜）松崎（愛知）

六六八、しま さしがめ 柳條刺椿象（Sphedanolestes impressicolls, Stal.）若林（岐阜）河合（岐阜）

六六九、びろうど さしがめ 剪絨刺椿象（Gn? sp?）岩見（京都）大矢（三重）津田（岐阜）松崎（愛知）宮林（愛知

六七〇、あかいろ しまさしがめ 赤色縞刺椿象（アカシマサシガメ）（Gn? sp?）若林（岐阜）河合（岐阜）

六七一、べに さしがめ 紅色刺椿象（Gn? sp?）岩見（京都）宮林（愛知）

六七二、くろ さしがめ 黒色刺椿象（Larymna haematogaster, Barm.）小里（岐阜）津田（岐阜）筒井
（岐阜）下飯阪（岩手）

六七三、とびいろ さしがめ 鳶色刺椿象（Oncocephalus squalidus, Rossi.）堀口（岐阜）

六七四、はらなが さしがめ 腹長刺椿象（Gn? sp?）若林（岐阜）

六七五、きまだら さしがめ 黄斑刺椿象（Gn? sp?）水野（岐阜）

六七六、さしがめむし の 一種 刺椿象一種（Gn? sp?）伊東（三重）

（一二）軍扇蟲科（グンバイムシクワ）（TINGITIDAE）

六七七、つつじ の ぐんばい むし 躑躅（軍扇蟲）（Phyllontochila debile, Uhler.）津田（岐阜）

六七八、くぬぎ の ぐんばいむし 櫟樹軍扇蟲（クノキグンバイムシ）（Gn? sp?）岩越（岐阜）

(三)食肉小椿象科 (ANTHOCORIDAE)

六七九、ひめ さし がめむし 姫刺椿象 (Triphleps insidiosus.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 津田(岐阜)

(四)細角椿象科 (CAPSIDAE)

六八〇、まつ の ひげぼそ がめむし 松樹髭細椿象 (Lygus simplus, Uhler.) 津屋(岐阜)

(五)凸眼椿象科 (LYGAEIDAE)

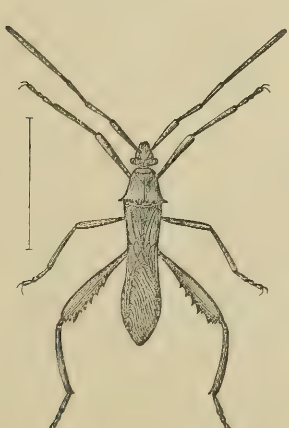
六八一、ほほづき の がめむし 酸漿椿象 (Prionolomia sordidus, Thunb.) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 水野(岐阜)

六八二、ささげ の がめむし 豇豆椿象 (Riptortus clavatus, Thunb.) 伴野(三重) 大矢(三重) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

六八三、めだか がめむし 凸眼(目高)椿象 (Chauliops fallax, Scott.) 阿刀田(宮城)

六八四、ふたほし がめむし 二星椿象 (Physopetta gutta, Burm.) 小里(岐阜)

六八五、ひめ がめむし 姫椿象 (Nysius expressus, Distant.) 津田(岐阜)



ササゲガメムシの圖

六八六、ありもどきがめ 擬蟻椿象（Pamera hemiptera, Scott.）伴野（三重）

六八七、すながめむし 砂土色椿象（Pyrrhocoris tibialis, Stal.）岩越（岐阜）堀口（岐阜）津田（岐阜）

六八八、くろすながめむし 黑砂土色椿象（Pachycephalus opacus, Uhler.）岩見（京都）

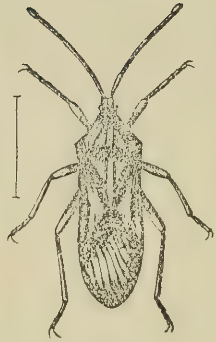
六八九、あはのがめむし 粟椿象（Corizus hyalinus, Fabricius.）津田（岐阜）

（六）有緣椿象科（COREIDAE）

六九〇、をほくもがめむし 大形蜘蛛椿象（Homoeocerus marginatus, Uhler.）小里（岐阜）

六九一、あづきのがめむし 赤小豆椿象（Homoeocerus concoloratus, Uhler.）小里（岐阜）大矢（三重）筒井（岐阜）宮林（愛知）

六九二、かぼちやのがいだ 南瓜椿象（Hemoeocerus punctipennis, Uhler.）阿刀田（宮城）



アヅキガメムシの圖

六九三、をほがめむし 大椿象（Ochrochira fuliginosa, Uhler.）若林（岐阜）下飯阪（岩手）

六九四、はりがめむし 有刺椿象（Cletus bipunctatus, H. S.）伴野（三重）松崎（愛知）

第四 陸棲五節類

(一)椿象科 (PENTATOMIDAE)

六九五、くぬぎ の がめむし 櫟樹椿象 (Urostylis striicornis, Scott.) 小里(岐阜) 津田(岐阜)

六九六、しま くさ がめむし 縞臭椿象 (Urochela luteovaria, Distant.) 下飯阪(岩手)



シマクサガメの圖 (イ)は成蟲(放大) (ロ)は觸角(放大)

六九七、ちやばね がいだ 茶翅椿象 (Halyomorpha picus, Fabricius.) 岩見(京都) 堀口(岐阜) 津田(岐阜) 阿刀田(宮城)

六九八、るり がめむし 碧色椿象 (Zicrona caeurulea, Linn.) 岩見(京都)

六九九、あを つの がめむし 青色角椿象(アオツノガメ) (Gn? spp?) 若林(岐阜) 水野(岐阜)

七〇〇、いぶき がめむし 伊吹椿象 (Acanthosoma distinctum, Dallas.) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)

七〇一、あを くさ がめむし 青色臭椿象(アオクサガメ) (Nezara Antennata, Scott.) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

七〇二、あを がめむし 青色椿象 (Nezara viridula, Linn.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 水野(岐阜)

七〇三、ちやばね あを がめむし 茶翅青椿象(チヤバチアオガメ) (Plautia spp?) 河合(岐阜)

七〇四、しろへり がめむし 白緣椿象 (Aenaria assimulans, Distant.) 大矢(三重)

七〇五、いね の がめむし 稻椿象(イネガメムシ) (Aenaria Lewisi, Scott.) 大矢(三重) 松崎(愛知)

七〇六、いぶき くさがめむし 伊吹臭椿象 (Eysarcoris Lewisi, Distant.) 岩越(岐阜)

七〇七、ひめ くさがめむし 姫臭椿象 (Rubiconia intermedia, Wolff.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小里(岐阜) 津田(岐阜)

(一一)黑椿象科 (CYDNIDAE)

七〇八、こ くろ がいだ 小黑椿象 (Aethus nigropiceus, Scott.) 岩越(岐阜)

七〇九、ひめ くろがいだ 姫黑椿象 (Aethus sp?) 岩越(岐阜)

(一二)黑臭椿象科 (SCUTELLERIDAE)

七一〇、あかすぢ がめむし 赤筋椿象 (Graphosoma lineata, Linn.) 後藤三(岐阜)

七一一、あかすぢ あを がめむし 青筋青椿象 (Gn? sp?) 水野)岐阜)

七一二、きん がめむし 油桐椿象(金椿象) (Chrysocoris grandis, Thunb.) 岩見(京都) 宮林(愛知)



キンカメムシの圖

(備考) 有吻目に屬する昆蟲の標本は、上記の九十種にて、過半は皆農業上の有害蟲と目せらるゝものゝみ。たゞ陸棲四節類及び食肉椿象科の全部と、食肉小椿象科のヒメサシガメ等は、共に有益蟲と稱すべし。特にヒメサシガメのもたのる、躰長僅かに四五厘に過ぎざる小形種なるも、ムクゲムシ、アブラムシ、ヨコバヒの諸族を刺殺すること多ければ、暗々の裏に無算の農益を與ふるなる可し。次に少しく有害蟲に就て言はんに、貝殼蟲科の桑樹に寄生のものゝ如きは、今や殆んど全國の桑園に蔓延

し、其他ヨコバヒ、ガメ、キジラミの諸族の各種の植物を蝕損するが爲めに菽麥、蔬菜、果樹、庭樹の被害は、年々痛く實業上の收利を殺げり。之を要するに、此目に入るべき蟲種は、孰れも其小形微躰たるに似ず、蝕害の結果に至りては、實に寒心すべきものあり。而して水棲のものは、總て食肉性なるを以て、小蟲を捕食し、農作上の保護者たるが如きも、幼魚、蛙類をも併せ害ふを以て、直ちに有益蟲とは言ひ難し。第六百五拾六號のコミヅムシより、第六百六拾三號のコオヒムシに至る八種は、即はちこれなり。

◉總翅目（THYSANOPTERA）

總翅目は、舊と半翅類に編入せられしものにて、其品種は唯、一の尨蟲族あるのみ。此族は、不完全變態を遂げ、其翅は、兩對ともに皆同形にして、細長く、宛然脈翅目のそれに似たるを以て、時としては、また脈翅目に加へらる。即はち透明の薄膜狀をなして、微かに脈痕を存し、其翅緣には氄毛を密生す。是れ總翅若くは尨蟲の稱ある所以なり。口部は、吸吮咬齧、兩つながら之を爲し得べき構造なるも、多くは吸收を事とするが如し。幼蟲は殆んど成蟲に異ならざるも、たゞ翅は之を闕けり、概むね赤色若くは黃色を帶ぶ。

第一　尨蟲類

（一）黑尨蟲科（クロムクゲムシクワ）（PHLOEOTHRIPIDAE）

七一三、くろ むくげ むし 黑尨毛蟲（クロムクゲ） (Phleothrips japonica, Matsum.) 津田(岐阜)

（參考） 此類の出品標本は、纔かに一種に止まる。原とクロムクゲムシは躰軀の微小なるに似ず、稻作大害蟲の一に數へらるゝものにて、春夏の候、秧田に於ては、苗葉の尖端を黄變せしめ、秋時抽穗の際には、葉陰花間に潛匿し乍ら、滋液を吸取して、結實を十分ならしめず。其躰色を黑く、其身長は五厘左右にして、常に陰處を好むの性あり。この族中には園藝上の害蟲と認めらるゝものまた數種あり。

◉ 直翅目（ORTHOPTERA）

直翅目とは、前翅の平直硬强ある蟷螂、螽斯、蟋蟀、稻螽等の總稱にて、俗に所謂、草蟲、鳴蟲の類をいふ。或種の他は、皆四翅を有し、前翅は革質をなして細長に、靜止の際には、これを以て其全體を掩護す。後翅はその形短濶に、透明の膜質より成り、常時は扇狀に屈折して、之を前翅の下に藏む。口部の搆成は、能く咬嚙に適し、變態は不完全なり。幼蟲は成蟲の形躰を存するも、全たく翅翼を缺けり。

此目の蟲類には、音響を發するものあり、邦俗これを鳴聲と稱す。この發聲の源因には二樣ありて多くは前翅の摩擦によるも、また前翅と股節との摩擦作用によりて、然かく聞ゆるも之あり。即はち稻螽科のものゝ如きは、後者に屬す。又別に聽官をも具有するものありて、蟲螽の如きは、腹部の第一節の兩側に、螽斯と草螽とは、前脚の脛節に之を存せり。是れ古來、蝗蛑の驅防に、鉦鼓を

亂打して、其驚起跳飛を期する所以なるべし。

疊翅亞目 (Euplexoptera)

第一　蠼螋類

(一)蠼螋科 (FORFICULIDAE)

七一四、**はさみ むし** 蠼螋(挾蟲) (**Anisolabis maritima, Bon.**) 大矢(三重) 朝倉(岡山)

七一五、**ひげぢろ はさみむし** 髭白挾蟲 (**Anisolabis marginalis, Dohrn.**) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 朝倉(岡山)

七一六、**いぶき はさみむし** 伊吹挾蟲 (**Chelisoches morio, Fabr.**) 堀口(岐阜)

七一七、**おほ はさみむし** 大挾蟲 (**Labidura riparia, Pall.**) 朝倉(岡山)

眞直翅亞目 (Orthoptera Genuina)

第一　走脚類

(一)蜚蠊科 (RLATTIDAE)

七一八、**ごき ぶり** 蜚蠊(油蟲) (**Periplaneta americana, L.**) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 小里(岐阜) 津屋(岐阜) 朝倉(岡山)

七一九、ちやばね ごきぶり 茶翅蜚蠊 （Phyllodromia germanica, Steph.） 朝倉（岡山）

七二〇、おほ ごきぶり 大蜚蠊 （Panesthia angustipennis, Illig.） 河合（岐阜） 水野（岐阜） 天野（岐阜）

第二 緩歩類

（一）蟷螂科（カマキリクワ） （MANTIDAE）

七二一、かまきり 蟷螂（鎌切蟲） （Tenodera capitata, Sauss.） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 津屋（岐阜） 松崎（愛知） 後藤幸（三重） 朝倉（岡山）

七二二、おほ かまきり 大蟷螂 （Tenodera aridifolia, Stoll.） 伴野（三重） 堀口（岐阜） 大橋（岐阜） 小里（岐阜） 小幡（岐阜） 後藤幸（三重） 後藤三（岐阜） 朝倉（岡山） 宮林（愛知） 下飯坂（岩手）

七二三、はらびろ かまきり 腹濶蟷螂 （Hirodula bipapilla, Serv.） 小里（岐阜） 高橋（岐阜） 後藤幸（三重） 朝倉（岡山） 宮林（愛知）

七二四、こ かまきり 小蟷螂 （Pseudomantis maculata, Thunb.） 伴野（三重） 堀口（岐阜） 後藤幸（三重） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 天野（岐阜） 朝倉（岡山） 下飯坂（岩手）

（二）竹節蟲科（ナナフシムシクワ） （PHASMIDAE）

七二五、なな ふし むし 竹節蟲（タケノフシ）（七節蟲） （Lonchodes niponensis, Dehaan.） 朝倉（岡山）

七二六、とげ なな ふし 鋭刺竹節蟲 (Acanthoderus japonicus, Dehaan.) 堀口（岐阜）

七二七、とび なな ふし 飛揚竹節蟲 (Necroscia chloris, Serv.) 宮林（愛知）

第三　跳脚類

（一）稻蝗科（イナゴクワ） (ACRIDIDAE)

七二八、とのさま ばった 蛗螽（大名螇蚸） (Pachytylus determinatus, Thunb.) 伴野（三重）堀口（岐阜）小幡（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）後藤幸（三重）後藤三（岐阜）天野（岐阜）朝倉（岡山）下飯坂（岩手）

七二九、くるま ばった 車輪紋螇蚸 (Oedaleus marmoratus, Thunb.) 小幡（岐阜）大橋（岐阜）吉澤（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）小林（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）朝倉（岡山）宮林（愛知）

七三〇、くるま ばった もどき 擬車輪紋螇蚸 (Oedaleus infernalis, Sauss.) 伴野（三重）大橋（岐阜）若林（岐阜）津屋（岐阜）天野（岐阜）

七三一、かはら ばった 河原螇蚸 (Sphingonotus indus, Sauss.) 堀口（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）若林（岐阜）高橋（岐阜）津屋（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）宮林（愛知）

七三二、ひめ ばった もどき 姫種擬螇蚸 (Trilophidia annulata, Thunb.) 小幡（岐阜）大橋（岐阜）吉澤

（岐阜）朝倉（岡山）

七三三、ひな ばった 小雛蝗蚸 (Camnula sp?) 小里（岐阜）後藤三（岐阜）

七三四、つち いなご 土螽 (Acridium consanguineus, Serv.) 伊東（三重）小幡（岐阜）大矢（三重）小里（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）熊谷（岐阜）小林（岐阜）朝倉（岡山）

七三五、いなご 稲螽（稲子）(Oxya velox, Fabr.) 堀口（岐阜）小里（岐阜）津屋（岐阜）後藤三（岐阜）下飯坂（岩手）

七三六、はねなが いなご 翅長稲螽 (Oxya sp?) 堀口（岐阜）高橋（岐阜）松崎（愛知）朝倉（岡山）下飯坂（岩手）

七三七、つまぐろ いなご 褄黒稲螽 (Gn? sp?) 河合（岐阜）筒井（岐阜）天野（岐阜）

七三八、あし べに いなご 脚紅稲螽 (Eupreponemis plorans, Charp.) 堀口（岐阜）小里（岐阜）若林（岐阜）高橋（岐阜）天野（岐阜）

七三九、まる いなご 圓形稲螽 (Gn? sp?) 後藤三（岐阜）

七四〇、しやうりやう ばった 蟴螽（生靈蝗蚸 ショウリョウバッタ）(Truxalis nasuta, Linn.) 伴野（三重）小幡（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）若林（岐阜）吉澤（岐阜）津屋（岐阜）松崎（愛知）天野（岐阜）朝倉（岡山）宮林（愛知）

七四一、をんぶ ばった 脊負蝗蚸 (Atractomorpha sp?) 堀口（岐阜）小里（岐阜）朝倉（岡山）

七四二、きちきち ばった 小蟴螽 (Gn? sp?) 若林（岐阜）

七四三、つちいろばった　壤螇（ツチバツタ）（土色螇蚸）（Criotettix bispinosus, Dalm.）　伊東（三重）　小里（岐阜）　若林（岐阜）　河合（岐阜）

七四四、はねながばった　翅長螇蚸（Paratettix histricus, Stal.）　小里（岐阜）

七四五、ひしばった　菱形螇蚸（Tettix japonicus, Dehaan.）　伊東（三重）　岩越（岐阜）　大矢（三重）　河合（岐阜）　小林（岐阜）　朝倉（岡山）　下飯坂（岩手）

七四六、のみばった　黒小土螽（蚤螇蚸）（Tridactylus japonicus, Dehaan.）　伊東（三重）

第四　長角類

（一）螽斯（キリギリス）科（クワ）（LOCUSTIDAE）

七四七、きりぎりす　螽斯（ギス）（Platycleis Bonneti, Boliv.）　伴野（三重）　若林（岐阜）　高橋（岐阜）　筒井（岐阜）　津屋（岐阜）　松崎（愛知）　朝倉（岡山）　宮林（愛知）

七四八、やぶきりぎりす　絡緯（ヤブキリ）（草馬）（Locusta japonica Brun.）　小幡（岐阜）　津屋（岐阜）

七四九、いぶききりぎりす　伊吹螽斯（Decticus japonicus, Bojiv.）　筒井（岐阜）

七五〇、くつわむし　聒聒兒（紡績娘）（Mecopoda elongata, L.）　松崎（愛知）

七五一、うまおひむし　馬追蟲（ウマオイムシ）（Locusta plantaris, D. H.）　堀口（岐阜）　若林（岐阜）

七五二、くさきりぎりす　叢螽（クサキリ）（Conocephalus fuscipes, Redt.）　堀口（岐阜）　若林（岐阜）　小林（岐阜）

天野（岐阜）朝倉（岡山）宮林（愛知）

七五三、つゆ むし 草螽（首切螇蚸）（Conocephalus Thunburgi, Stal.）松崎（愛知）

七五四、かや きりぎりす 茅螽（Conocephalus sp?）江尻（富山）朝倉（岡山）

七五五、くだまき もどき 擬紡蟲（Holochlora brevifissa, Brunner.）堀口（岐阜）小幡（岐阜）大橋（岐阜）小里（岐阜）津屋（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）宮林（愛知）

七五六、ひめ くだまき もどき 姫種擬紡蟲（Phaneroptera nigo-antennata, Brum.）堀口（岐阜）若林（岐阜）阿刀田（宮城）

七五七、ひげなが ささ きりぎりす 髭長竹螽（Xiphidium longicorne, Redt.）堀口（岐阜）若林（岐阜）阿刀田（宮城）

七五八、ひめ ささ きりぎりす 姫種竹螽（Xiphidium sp?）小里（岐阜）

（一二）蟋蟀科（GRYLLIDAE）

七五九、えび こほろぎ 竈馬（Diestrammena japonica, Brum.）岩越（岐阜）堀口（岐阜）朝倉（岡山）

七六〇、こほ ろぎ 蟋蟀（促織）（Gryllodes berthellus, Sauss.）堀口（岐阜）朝倉（岡山）

七六一、くま こほろぎ 黒蟋蟀（Gryllodes blennus, Sauss.）大矢（三重）

七六二、**えんま こほろぎ** 油胡盧（閻魔蟋蟀）エンマコオロギ （Gryllus chinensis, Web.） 岩越（岐阜） 伴野（三重） 高橋（岐阜） 筒井（岐阜） 松崎（愛知） 小林（岐阜） 天野（岐阜） 朝倉（岡山） 水野（岐阜）

七六三、**みつかど こほろぎ** 三稜蟋蟀 ミツカドコオロギ （Loxoblemmus Haanii, Sauss.） 堀口（岐阜） 小里（岐阜）

七六四、**おかめ こほろぎ** 福女蟋蟀 オカメコオロギ （Loxoblemmus equestris, Sauss.） 堀口（岐阜） 宮林（愛知）

七六五、**まつ むし** 金琵琶（松蟲） （Calyptotryphus marmoratus, D. H.） 松崎（愛知） 朝倉（岡山） 宮林（愛知）

七六六、**すず むし** 金鐘兒（鈴蟲） （Homoeogryllus japonicus, D. H.） 水野（岐阜） 宮林（愛知）

七六七、**やまと すず** 長聲兒（大和鈴） （Gn? sp?） 小里（岐阜）

七六八、**けら** 螻蛄 （Gryllotalpa africana, Pall.） 津屋（岐阜）

（備考）　直翅目の出品五十六種中、疊翅亞目の蠼螋科のものは、眞直翅亞目のものとは、頗ぶる外形を異にし、反つて鞘翅目の隱翅科に類似する所あり。そも此科のものには、有翅なると、無翅なるとありて、前者は四短翅を背上に重ぬるが故に、自づから腹脚の大半を露出す。而してオホハサミムシは、多く小蟲を捕食するを以て、有益蟲と稱し得べく、他の三種また塵芥堆裏にありて、貪食を逞ふす。又眞直翅亞目の蟷螂科のものゝ、食肉性なるは、顯著の事實なるが、一時は野蠶の仇敵として、之が驅除を唱道せし者もありき。竹節蟲科のものをば、アチトカゲなど稱し、劇烈の有毒蟲として、世には之を畏怖する者多きも是は漢方醫の迷信に基因せる妄說とす。稻螽科のイナゴとハネナガイナゴとは、共に農作上の害蟲にして、其他また植物に加害をなす種類少しとせず。然れども、コホロギ、キリギリス、スズムシ、マツムシの如き清音妙聲を發するもありて、古來好事の雅賞に入りしより、今なほ薰蕕を混視して、直翅目の蟲類をば、農作上の害蟲と認めぬも多かり、斯學者は宜しく一考すべし。

◉擬脈翅目　(PSEUDO-NEUROPTERA)

擬脈翅目とは、七類分類式の羅翅類に編入せられたる蜻蛉、蜉蝣、白蟻、羽蝨、積翅蟲等の總稱なり。翅は前後同大なるあり、或ひは前大後小なるあり、又或ひは双翅、無翅なるもあれど、孰れも膜質網狀をなし、其翅脈は脈翅目のそれに彷彿たり。口器は咬嚼に適し、變態は不完全とす。幼蟲には水生のものと、陸生のものとありて、一類兩種の別あり。即はち積翅、蜻蛉、蜉蝣の三亞目にありては、其幼蟲みな瀦水、流水中に生育を遂ぐるも、食毛亞目種のものに至りては、主に鳥禽其他の動物に寄生するが如し。

第一　積翅亞目

(一)積翅蟲科(カハゲナクワ)　(PERLIDAE)

七六九、かはげな　石蠶(カワゲラ)(積翅蟲)　(Perla sp?)　津屋(岐阜)　水野(岐阜)

七七〇、おほかはげな　大石蠶(オオカワゲラ)　(Perla sp?)　吉澤(岐阜)

七七一、ひめかはげな　姫石蠶(ヒメカワゲラ)　(Lsopteryx sp?)　岩越(岐阜)

第二　蜻蛉亞目

(一)豆娘科(イトトンバウクワ)　(AGRIONIDAE)

七七二、あを はだ いと とんばう 青膚絲蜻蛉（アオハダトンボ） (Calopteryx virgo, L.) 小幡（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 天野（岐阜） 朝倉（岡山） 下飯阪（岩手）

七七三、はぐろ いととんばう 鉄漿（齒黑）絲蜻蛉（ハグロトンボ） (Calopteryx atrata, Selys.) 大橋（岐阜） 高橋（岐阜） 小林（岐阜） 後藤幸（三重） 後藤三（岐阜） 朝倉（岡山） 宮林（愛知） 下飯阪（岩手）

七七四、かは いととんばう 河絲蜻蛉（カワトンボ） (Mnais pruinosa, Selys.) 小幡（岐阜） 若林（岐阜） 河合（岐阜） 高橋（岐阜） 松崎（愛知） 後藤幸（三重） 朝倉（岡山） 下飯阪（岩手）

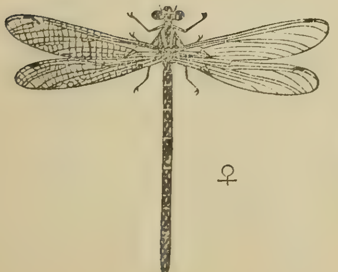
七七五、やなぎ いととんばう 柳絲蜻蛉（ヤナギトンボ） (Mnais strigata, Hagen.) 朝倉（岡山）

七七六、あを いととんばう 青色絲蜻蛉（アオイトトンボ） (Lestes temporalis, Selys.) 小里（岐阜） 河合（岐阜） 阿刀田（宮城） 朝倉（岡山）

七七七、ものさし いととんばう 尺度絲蜻蛉（モノサシトンボ） (Psilocnemis annulata, Selys.) 吉澤（岐阜） 高橋（岐阜） 津屋（岐阜） 下飯阪（岩手）

七七八、き いととんばう 黃色絲蜻蛉（キイトトンボ） (Ceriagrion coromandelianum, Selys.) 吉澤（岐阜） 津屋（岐阜） 後藤三（岐阜） 宮林（愛知）

七七九、とびいろ いととんばう 鳶色絲蜻蛉（トビイロトンボ） (Agrion spp?) 若林（岐阜） 筒井（岐阜） 下飯阪（岩手）



イトトンボの圖

七八〇、いと とんばう 絲蜻蛉(細蜻蛉) (Agrion quadrigerum, Selys.) 大矢(三重) 若林(岐阜)

七八一、おほ いととんばう 大形絲蜻蛉 (Agrion sp?) 阿刀田(宮城)

七八二、あか いととんばう 赤色絲蜻蛉 (Agrion sp?) 大矢(三重)

(二)蜻蛉科 (LIBELLULIDAE)

七八三、ぎふ やまとんばう 岐阜山蜻蜓 (Tachopteryx pryer, Selys.) 岩見(京都)

七八四、こ おに やんま 小馬大頭(小形鬼蜻蜓) (Hagenius japonicus, Selys.) 高橋(岐阜)

七八五、うちは とんばう 團扇蜻蜓 (Ictinus clavatus, Fabr.) 後藤幸(三重) 江尻(富山) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七八六、ひめ やまとんばう 姫山産蜻蜓 (Gomphus melanops, Selys.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤三二(岐阜)

七八七、さなへ とんばう 早苗蜻蛉 (Gomphus melampus, Selys.) 伴野(三重) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 下飯阪(岩手)

七八八、おほ さなへとんばう もどき 大形擬早苗蜻蛉 (Gomphus postocularis, Selys.) 高橋(岐阜) 下飯阪(岩手)

七八九、おに やんま 馬大頭(鬼蜻蜓) (Cordulegaster sieboldii, Selys.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 筒井

（岐阜）阿刀田（宮城）

七九〇、あをとんぼう　青虻（アオトンボ）（青蜻蜓）（Aeschnophlebia optata, Selys.）宮林（愛知）

七九一、こしぼそとんぼう　腰細蜻蜓（コシボソトンボ）（Fonscolombia Maclachlani, Selys.）高橋（岐阜）

七九二、かとりとんぼう　蚊捕蜻蜓（カトリトンボ）（Gynacantha hyalina, Selys.）堀口（岐阜）若林（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）朝倉（岡山）

七九三、ぎんいろやんま　銀色蜻蜓（ギンヤンマ）（Anax parthenope, Selys.）伴野（三重）大橋（岐阜）後藤三（岐阜）朝倉（岡山）

七九四、おほやまとんぼう　大形山蜻蜓（オオヤマトンボ）（Epophthalmia elegans, Hagen.）小幡（岐阜）大橋（岐阜）

七九五、こやまとんぼう　小形山蜻蜓（コヤマトンボ）（Epophthalmia amphigera, Selys.）津屋（岐阜）

七九六、うすばきとんぼう　薄翅黃蜻蛉（ウスバキトンボ）（Pantala flavescens, Fabr.）大橋（岐阜）若林（岐阜）河合（岐阜）後藤幸（三重）天野（岐阜）朝倉（岡山）

七九七、てふとんぼう　紺蠜（チヨウトンボ）（蝶蜻蛉）（Rhyothemis fuliginosa, Selys.）伴野（三重）大矢（三重）高橋（岐阜）後藤幸（三重）朝倉（岡山）宮林（愛知）

七九八、べっかふとんぼう　鼈甲蜻蛉（ベッコウトンボ）（Libellula angelina, Selys.）大橋（岐阜）

七九九、べっかふとんぼうの一種　鼈甲蜻蛉一種（ベッコウトンボ）（Libellula sp?）阿刀田（宮城）下飯阪（岩手）

八〇〇、おほしほから とんばう 大形白襟(塩辛)蜻蛉（オオシオカラトンボ） (Orthetrum melania, Selys.) 大矢(三重) 河合(岐阜) 天野(岐阜)

八〇一、しほや とんばう 塩貰(塩屋)蜻蛉（シオヤトンボ） (Orthetrum albistylum.) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

八〇二、しほから とんばう 塩辛蜻蛉（シオカラトンボ） (Orthetrum japonicum, Uhler.) 小幡(岐阜) 阿刀田(宮城) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手)

八〇三、こしあき とんばう 腰透蜻蛉（コシアキトンボ） (Pseudothemis Lewisi, Selys.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山)

八〇四、はらびろ とんばう 腹濶蜻蛉（ハラビロトンボ） (Lyriothemis servilia, Drury.) 伴野(三重) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手) 宮林(愛知)

八〇五、しやうじやう とんばう 猩々蜻蛉（ショウジョウトンボ） (Crocothemis servilia, Drury.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手) 宮林(愛知)

八〇六、みやま あかね とんばう 山産赤卒(深山赤蜻蛉)（ミヤマアカネ） (Diplax pedemontana, Muller.) 伴野(三重) 堀

口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 筒井(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)

八〇七、きとんばう　胡黎(黄蜻蛉)(キトンボ)　(Diplax croceola, Selys.)　小里(岐阜)

八〇八、おほきとんばう　大黄蜻蛉(オオキトンボ)　(Diplax uniformis, Selys.)　大橋(岐阜)

八〇九、なつあかねとんばう　夏生赤卒(ナツアカチ)　(Thecadiplax erotica.)　伴野(三重) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 阿刀田(宮城)

八一〇、のしめとんばう　熨目蜻蛉(ノシメトンボ)　(Thecadiplax infuscata, Selys.)　高橋(岐阜) 後藤三(岐阜)

第三　蜉蝣亞目

(一)蜉蝣科(フイウクワ)　(EPHEMERIDAE)

八一一、ふいう　蜉蝣(白露蟲)(フユウ(カゲロウ))　(Ephemera sp?)　下飯阪(岩手)

八一二、ひめふいう　姫蜉蝣(ヒメフユウ)　(Heptagenia sp?)　大矢(三重)

八一三、はまだらふいう　翅斑蜉蝣(ハマダラフユウ)　(Heptagema sp?)　小林(岐阜)

(備考)　此目に屬する出品數は、上記の四十五種となす。今こゝに各亞目に就て、その特點を擧ぐれば、積翅亞目のものゝ腹端には、二枝の附屬物を有し、前翅は窄長に、後翅は濶大にて、靜止の時には、前翅を脊上に收め、後翅を其下に疊縮す、乃はち後翅の積襞樣なるは、偶々此名稱を來たしたる所以なり。蜻蛉亞目のものは、そが靜止の狀によりて、二科に分たる、一は

前後翅を重積して之を體上に收め、他は四翅を開張して體軀を十字形となす、即ち前者は豆娘科のものにて、後者は蜻蛉科のものたり。斯く相違の點ありとは云へ、其幼蟲は共に水生をなし、且つ前後兩翅は殆んど同大に、腹部の長さは脈翅目の薄翅蜻蛉種に類似せり、唯彼の如く觸角の顯著ならざるのみ。而して此族のものは、空中を飛翔し乍ら小蟲類を捕食すること多く、就中、カトリトンボ、オホヤンマ、ギンヤンマ等の黄昏に輕快の速力を試みて、蚊族を捕獲するに忙はしきは、能く人の知る所なり。次に蜉蝣亞目のものは、前翅よりも後翅小に、且つ腹端には二枚若くは三枚の絲狀附屬物を有し、羽化の後は久しからずして死す、故に朝生暮死蟲又はアサガホ等の名あり。其幼蟲は水中に在りて、生育に二三年間を要し、其成蟲となるや、朝または夕を以て河邊に群飛するものとす。之を要するに擬脈翅目に屬する蟲種は、概むれ有益蟲と稱し得べきも、中にはまた有害種無きにしもあらず。

◉ 彈尾目（THYSANURA）

彈尾目とは、衣魚、跳蟲の如き無翅に且つ不變態の蟲類の總稱にて、昆蟲綱中、最とも劣等の種屬とす。口部は不完全の搆成なるも、また咬嚙の用をなし、腹端若くはその近き局部よは、跳器を具へて跳行をなす。常よ石下、落葉間又は樹皮の罅隙等に潜伏し、又好みて陰處、濕地に居る。其軀面には、一種の鱗毛を以て飾らるゝもの少なしとせず。

第一　毛尾亞目

（一）衣魚科（シミムシクワ）（LEPISMIDAE）

八一四、しみむし　衣魚（Lepisma saccharina, L.）　岩越（岐阜）

（備考）　此目の出品とては、纔かに衣魚の一種あるのみ。こは書籍衣類の間には普通のものにて、擧動頗ぶる活潑に常に狹隘の間隙にも隱匿するの性あり。腹端には三枝の附屬器を備へ、全軀銀白色の鱗毛を以て覆はる、故にまた箔蟲ともいふ。

第三章　害蟲標本ニ於ケル蟲種別

害蟲標本ハ、第壹部第貳類ニ屬シ、出品總數ハ貳拾七點五拾六凾ニシテ、品種ハ貳百五拾餘ヲ算シ、其區域ハ北ノ方奥羽ヨリ、南ハ新領土臺灣島ニ及ビ中ニ大阪、奈良、愛知、靜岡、岐阜、宮城、福島、靑森、山形、富山、山口、香川、臺南ノ一府十二縣ノ産品ヲ包有セリ。點數ノ多寡ヨリ論ヘバ、夐カニ分類標本ニ及カザルモ、全ク彼ニ無クシテ、此ニ有ルモノモ少ナシトセズ。特ニ治ネク各地所產ノ蟲品ヲ通觀スルノ便アレバ、强チニ其多少ヲ以テ、効益ノ有無ヲ斷定シ難シ。而シテ斯學研究者ノ利ヲ圖リ、兼テ當業者ノ參考ニ供セント欲セバ、前章ノ記事ノ體載ニ據ラズシテ、先ヅ加害蟲種ト、其被害

作物トノ關係ヲ示シ、又分類標本網羅ノ蟲種ト、害蟲標本ノモノトヲ對照セシムルニ在リ。此ヲ以テ、本章ニ收ムル所ノ記事ハ、此目的ニ副ハシメンガ爲ニ、少サカ分別叙述ノ方法ヲ一變セリ。庶幾ハ讀者閲讀ノ便ニ資スルモノアラン歟。

◉有害蟲

害蟲とは、其種族の蕃殖を圖らんが爲めに、直接に人類に傷害を與ふる蟲種をいふ。而して其加害の方法は、昆蟲の種屬によりて違ふ所あるも、咬嚙、吸吮、二者其一を行ふに外ならず。即はち人畜衞生上の害蟲たる蚊蠅蚤蝨の類ひより、穀菽蔬果の諸害蟲に至るまで、皆盡ごとく然らざるは無きなり。然は云へ、一般に害蟲とし云へば、最とも人生の消長に關係を有する、農作を損害する蟲種の謂ひにて、決して小利害のものを指すにはあらじ。

之を要するに、其生業の如何によりて、益害を異にすること多く、一方に於て益蟲と稱すべきものも、他方に於ては之を害蟲と認むることあり。例へば水生昆蟲、又は一種の寄生害蟲種の如きは、即はち是なり。さばれ、古來蟲災のために、飢疫變亂を釀せしこと、前後幾回なるやを知らざれば、居常害蟲の驅防に努めて、實業の發達と、國力の充實とを期すべきなり。

第一　穀菽の害蟲類

（一）稻の害蟲　附　米の害蟲

一、いねのずゐむしのが　稻髓蟲（二化生螟蟲）蛾　Chilo simplex, Butl.〔鱗翅目〕　岩越（岐阜）　半澤（岐阜）　中野（奈良）　松崎（愛知）　小林（岐阜）　齋藤（山形）　白須賀（靜岡）　森島（岐阜）

二、おほずゐむしのが〔鱗翅目・分類〕　松崎（愛知）　古井（岐阜）　藤戸（大坂）　白須賀（靜岡）

三、いねのあをむしのが〔鱗翅目・分類〕　中野（奈良）　松崎（愛知）　江尻（富山）　白須賀（靜岡）

四、おほあをむしのが　大螟蛉（大青蟲）蛾　Plusia festucae, L.〔鱗翅目〕　江尻（富山）

五、いちもじはなせせりてふ〔鱗翅目・分類〕　岩越（岐阜）　半澤（岐阜）　大橋（岐阜）　松崎（愛知）　小林（岐阜）　草間（宮城）　江尻（富山）　齋藤（山形）　高橋（岐阜）　白須賀（靜岡）



オホアオムシの圖

六、はなせせりてふ〔鱗翅目・分類〕　古井（岐阜）　江尻（富山）　草間（宮城）

七、いねのぞうむし〔鞘翅目・分類〕　中野（奈良）

八、どろはむし　泥負葉蟲　Lema flavipes, Suff.〔鞘翅目〕　齋藤（山形）

九、かみなりはむし〔鞘翅目・分類〕　岩越（岐阜）　松崎（愛知）

一〇、きりうじかがんぼ〔雙翅目・分類〕　岩越（岐阜）　大橋（岐阜）　齋藤（山形）　白須賀（靜岡）

一一、はりがめむし〔有吻目・分類〕　大橋（岐阜）　松崎（愛知）　白須賀（靜岡）

一二、くも　がめむし　蜘蛛形椿象　Leptocoris varicornis, Fab.〔有吻目〕　松崎（愛知）

一三、ひめ　くさ　がめむし〔有吻目・分類〕　岩越（岐阜）大橋（岐阜）

一四、いね　の　がめむし〔有吻目・分類〕　松崎（愛知）

一五、うづら　がめむし　鶉紋椿象　Aelia fieberi, Scott.〔有吻目〕　大橋（岐阜）

一六、くろ　くさ　がめむし　黒臭椿象　Eurygaster sp?〔有吻目〕　中野（奈良）

一七、てんぐ　よこばひ〔有吻目・分類〕　松崎（愛知）齋藤（山形）

一八、ひし　よこばひ　菱形横蚑蟲（ヒシヨコバイ）　Myudus apicalis, Uhler.〔有吻目〕　齋藤（山形）

一九、くろ　しま　うんか　黒縞横蚑蟲　Gn? sp?〔有吻目〕　齋藤（山形）

二〇、こ　ふき　うんか　粉吹横蚑蟲　Meenoplus sp?〔有吻目〕　白須賀（靜岡）

二一、やなぎかばいろ　よこばひ〔有吻目・分類〕　齋藤（山形）

二二、とびいろ　うんか〔有吻目・分類〕　小田（山口）中野（奈良）

二三、せぐろ　うんか　脊白横蚑蟲　Delphax furcifera, Horv.〔有吻目〕　小田（山口）松崎（愛知）齋藤（山形）白須賀（靜岡）

二四、こばね　うんか　小翅横蚑蟲　Gn? sp?〔有吻目〕　小田（山口）

二五、つまぐろ　よこばひ〔有吻目・分類〕　岩越（岐阜）小田（山口）大橋（岐阜）中野（奈良）松崎（愛知）小林

(岐阜) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡)

二六、まだら よこばひ (有吻目•分類) 齋藤(山形)

二七、いなづま よこばひ 電紋横蚊蟲 Thamnotettix sp? (有吻目) 小田(山口) 齋藤(山形)

二八、おほ いなづま よこばひ 大電紋横蚊蟲 Gn? sp? (有吻目) 齋藤(山形)

二九、ふたほし よこばひ (有吻目•分類) 小田(山口) 齋藤(山形)

三〇、しろ よこばひ 白色横蚊蟲 Cicadula sp? (有吻目) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡)

三一、くろめ よこばひ (有吻目•分類) 小田(山口)

三二、くろ むくげ むし (總翅目•分類) 齋藤(山形)

三三、はねなが いなご (直翅目•分類) 松崎(愛知) 白須賀(靜岡)

三四、いなご (直翅目•分類) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 古井(岐阜) 江尻(富山) 齋藤(山形)



クロムクゲムシの圖

三五、こくざうむし (米の害蟲) (鞘翅目•分類) 大橋(岐阜) 中野(奈良)

(二)豆類の害蟲

三六、まめの こがねむし (鞘翅目•分類) 中野(奈良) 江尻(富山) 齋藤(山形)

三七、ひめ こがねむし (鞘翅目•分類) 大橋(岐阜) 松崎(愛知)

三八、まめ はんめう (鞘翅目•分類) 松崎(愛知) 白須賀(靜岡)

三九、こふきぞうむし〔鞘翅目•分類〕　大橋（岐阜）　松崎（愛知）　齋藤（山形）　白須賀（靜岡）

四〇、まめはまきむしのが〔鱗翅目•分類〕　古井（岐阜）

四一、あづきのがめむし〔有吻目•分類〕　大橋（岐阜）　古井（岐阜）

四二、ささげのがめむし〔有吻目•分類〕　牛澤（岐阜）　大橋（岐阜）　齋藤（山形）

第二　蔬菜の害蟲類

（一）葉菜の害蟲

四三、かぶらはばち〔膜翅目•分類〕　齋藤（山形）

四四、ねきりむしのが〔鱗翅目•分類〕　大橋（岐阜）

四五、もんしろてふ〔鱗翅目•分類〕　大橋（岐阜）　中野（奈良）　草間（宮城）　松崎（愛知）　古井（岐阜）　江尻（富山）　齋藤（山形）　白須賀（靜岡）

四六、すぢぐろてふ〔鱗翅目•分類〕　草間（宮城）　齋藤（山形）

四七、つまきてふ〔鱗翅目•分類〕　草間（宮城）

四八、さるはむし〔鞘翅目•分類〕　大橋（岐阜）　中野（奈良）

四九、こがいだむし　小椿象　Eurydema rugosa, Motsch.〔有吻目〕　齋藤（山形）

五〇、ゑんまこほろぎ〔直翅目•分類〕　岩越（岐阜）　大橋（岐阜）　江尻（富山）

五一、けら〔直翅目・分類〕　岩越（岐阜）　大橋（岐阜）

（二）根菜の害蟲

五二、きあげはてふ（胡蘿蔔の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　草間（宮城）　藤戸（大坂）　齋藤（山形）　白須賀（靜岡）

五三、ひめあかたてはてふ（牛蒡の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　草間（宮城）　齋藤（山形）

五四、すずめが（薯蕷の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　岩越（岐阜）　半澤（岐阜）　藤戸（大坂）

五五、せすぢすずめ（青芋の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　半澤（岐阜）　大橋（岐阜）　藤戸（大阪）　相馬（青森）

五六、ゑびがらすずめ（甘藷の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　大橋（岐阜）　古井（岐阜）　齋藤（山形）

五七、さつまいものはむし　甘藷葉蟲　Gn? sp?（甘藷の害蟲）〔鞘翅目〕　松崎（愛知）

五八、てんたうむしだまし（馬鈴薯及茄の害蟲）〔鞘翅目・分類〕　大橋（岐阜）　松崎（愛知）　白須賀（靜岡）

五九、をほてんたうむしだまし（馬鈴薯及茄の害蟲）〔鞘翅目・分類〕　中野（奈良）　齋藤（山形）

六〇、あをくさがめむし（馬鈴薯及茄の害蟲）〔有吻目・分類〕　大橋（岐阜）

六一、あをがめむし（馬鈴及茄の害蟲）〔有吻目・分類〕　古井（岐阜）

（三）蓏菜の害蟲

六二、うりはむし（瓜類の害蟲）〔鞘翅目・分類〕　大橋（岐阜）　中野（奈良）　松崎（愛知）　古井（岐阜）　白須賀（靜岡）

六三、くろうりはむし（瓜類の害蟲）〔鞘翅目・分類〕　齋藤（山形）

六四、かぼちやのがいだ（瓜類の害蟲）〔有吻目・分類〕　岩越（岐阜）齋藤（山形）

第三　特用植物の害蟲類

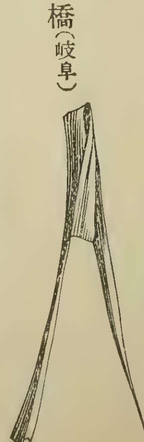
（一）綿麻（メンマ）の害蟲（ガイチウ）

六五、わたのはまきむしのが（草綿の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　大橋（岐阜）

六六、をほはやばてふ（チヨウ）（大麻の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　草間（宮城）

六七、あかたてはてふ（チヨウ）（蕁麻の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　岩越（岐阜）草間（宮城）

六八、ふくらすずめ（蕁麻の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　岩越（岐阜）牛澤（岐阜）古井（岐阜）齋藤（山形）



イネノアオムシの繭（分類標本第五四三號及び害蟲標本第三號參省）

（二）各用類の害蟲

六九、あゐのずゐむしのが（藍の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　白須賀（靜岡）

七〇、あゐのざうむし（藍の害蟲）〔鞘翅目・分類〕　大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

七一、ごまのがめむし　胡麻椿象（ゴマカメムシ）　Dolycoris saccarum, Linn.（胡麻の害蟲）〔有吻目〕　齋藤（山形）

七二、めんがたすずめ（胡麻の害蟲）〔鱗翅目・分類〕　藤戸（大坂）

七三、たばこのあをむしのが　煙草螟蛉蛾（タバコノアオムシ）　Heliothis armigera, Hub.（煙草の害蟲）〔鱗翅目〕　大橋（岐阜）

第四　葉樹の害蟲類

（一）桑樹（クハノキ）の害蟲（ガイチウ）　附　家蠶の害蟲

七四、きんけむし の が〔鱗翅目・分類〕　岩越（岐阜）　牛澤（岐阜）　大橋（岐阜）　松崎（愛知）

七五、くはご の が〔鱗翅目・分類〕　牛澤（岐阜）　松崎（愛知）　齋藤（山形）

七六、ごま まだら 𛁈ろが〔鱗翅目・分類〕　牛澤（岐阜）　齋藤（山形）

七七、とげ 𛁈やくとりむし の が　刺尺蠖蛾（トゲシャクトリ）　Zamacra albofasciaria, Leech.〔鱗翅目〕　牛澤（岐阜）　柳田（岐阜）

七八、ねだ 𛁈やくとりむし の が〔鱗翅目・分類〕　岩越（岐阜）　牛澤（岐阜）　大橋（岐阜）　松崎（愛知）　小林（岐阜）　齋藤（山形）

七九、くは の はまきむし の が　桑葉卷蟲蛾（クワハマキノガ）　Glyphodes pyloalis, Walk.〔鱗翅目〕　大橋（岐阜）

八〇、をぐろ くは はまきむし の が〔鱗翅目・分類〕　白須賀（靜岡）

八一、あを はまきむし の が　青葉捲蟲蛾（アオハマキノガ）　Exartema mori, Mats.〔鱗翅目〕　齋藤（山形）

八二、いとひき はまきむし の が　絲牽葉捲蟲蛾（イトヒキハマキノガ）　Cacoecia crataegana, Hubu.〔鱗翅目〕　大橋（岐阜）

八三、ひめ ざうむし〔鞘翅目・分類〕　松崎（愛知）　白須賀（靜岡）

八四、くはのかみきりむし〔鞘翅目•分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 齋藤(山形)

八五、とらふかみきりむし〔鞘翅目•分類〕 半澤(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 相馬(青森)

八六、くはのはむし〔鞘翅目•分類〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

八七、ひめはむし〔鞘翅目•分類〕 大橋(岐阜)

八八、くはのかひがらむし〔有吻目•分類〕 大橋(岐阜) 中野(奈良) 柳田(岐阜) 齋藤(山形)

八九、くはのらふむし 桑樹蠟蟲 Seroplastes sp? 〔有吻目〕 柳田(岐阜) 齋藤(山形)

九〇、べっかふはごろもよこばひ〔有吻目•分類〕 齋藤(山形)

九一、くはのきぞらみ〔有吻目•分類〕 白須賀(静岡)

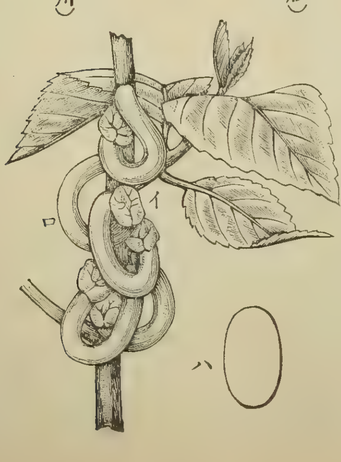
九二、よこばひむし〔有吻目•分類〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

九三、かひこのうじばへ(家蠶の害蟲)〔雙翅目•分類〕 松崎(愛知) 齋藤(山形)

(一一)茶樹の害蟲

九四、ちやのけむしのが〔鱗翅目•分類〕 松崎(愛知) 福家(香川)

九五、みのむしのが〔鱗翅目•分類〕 大橋(岐阜) 柳田(岐阜)



桑樹貝殻蟲の一種(ヒモワタ貝殻蟲)
(イ)は成蟲 (ロ)は卵嚢
(ハ)は卵子の放大圖

九六、おほみのむしのが 大蓑蟲蛾 Eumeta crameri, Moore. {鱗翅目} 中野(奈良) 松崎(愛知) 柳田(岐阜)

九七、あを はごろも よこばひ {有吻目・分類} 牛澤(岐阜)

九八、ちや の みどり よこばひ 茶樹綠色横跛蟲 Typhlocyba sp? {有吻目} 小田(山口) 齋藤(山形)

第五　果園の害蟲類

(一)葉實の害蟲

九九、いらむし の が (柿等の害蟲) {鱗翅目・分類} 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 柳田(岐阜) 江尻(富山)

一〇〇、うめけむし の が (梅等の害蟲) {鱗翅目・分類} 牛澤(岐阜) 大橋(岐阜) 柳田(岐阜)

一〇一、うめ の しやくとりむし の が (梅等の害蟲) {鱗翅目・分類} 草間(宮城)

一〇二、ほし はまきむし の が 星葉捲蟲蛾(ホシハマキノガ) Procris nigra, Leech. (梨の害蟲) {鱗翅目} 齋藤(山形)

一〇三、もも すずめ (桃の害蟲) {鱗翅目・分類} 牛澤(岐阜) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

一〇四、もも の ごま まだら が 桃胡麻斑蛾(モモゴマダラチヨウ) Dichocrolis punctiferalis, Guen. (桃子の害蟲) {鱗翅目} 大橋(岐阜)

一〇五、あげは の てふ (柑橘の害蟲) {鱗翅目・分類} 岩越(岐阜) 牛澤(岐阜) 草間(宮城) 柳田(岐阜) 古井(岐阜) 味勝(愛知)

一〇六、くろ あげは てふ（柑橘の害蟲）〔鱗翅目•分類〕 半澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜） 味勝（愛知）

一〇七、こ すずめ（葡萄の害蟲）〔鱗翅目•分類〕 藤戶（大坂） 古井（岐阜） 齋藤（山形）

一〇八、ぶだう すずめ（葡萄の害蟲）〔鱗翅目•分類〕 半澤（岐阜）

一〇九、なし の ざうむし（梨子の害蟲）〔鞘翅目•分類〕 中野（奈良） 齋藤（山形）

一一〇、どうがね ぶいぶい（葡萄の害蟲）〔鞘翅目•分類〕

（二）枝幹の害蟲

一一一、おほ きくすひ（樹身の蠹蟲）〔鞘翅目、分類〕 齋藤（山形）

一一二、ほし かみきり むし（樹身の蠹蟲）〔鞘翅目•分類〕 半澤（岐阜） 大橋（岐阜） 江尻（富山） 齋藤（山形）

一一三、なし の きぞらみ（樹皮等の寄生蟲）〔有吻目•分類〕 高橋淸（山形）

第六 農林の害蟲類

（一）竹木の害蟲

一一四、たけ の とら ふ かみきりむし〔鞘翅目•分類〕 半澤（岐阜）

一一五、たけ の べに かみきりむし〔鞘翅目•分類〕 半澤（岐阜）

一一六、かみきり むし〔鞘翅目、分類〕 古井（岐阜） 江尻（富山） 齋藤（山形）

一一七、うすば かみきりむし〔鞘翅目・分類〕齋藤（山形）

一一八、みやま かみきりむし〔鞘翅目・分類〕牛澤（岐阜）古井（岐阜）

一一九、くぬぎ の あを ぞうむし 櫟樹青色象鼻蟲（クヌギアオゾウムシ） Myllocerus variabilis, Roelofs.〔鞘翅目〕古井（岐阜）

一二〇、たま むし〔鞘翅目・分類〕牛澤（岐阜）

一二一、うば たまむし〔鞘翅目・分類〕牛澤（岐阜）

一二二、をほ ぞうむし〔鞘翅目・分類〕牛澤（岐阜）齋藤（山形）

一二三、のこぎり かみきりむし〔鞘翅目・分類〕牛澤（岐阜）古井（岐阜）

一二四、すぎ の かみきりむし〔鞘翅目・分類〕齋藤（山形）

一二五、こ ふき こがねむし〔鞘翅目・分類〕大橋（岐阜）

一二六、はんのき の こがねむし〔鞘翅目・分類〕齋藤（山形）

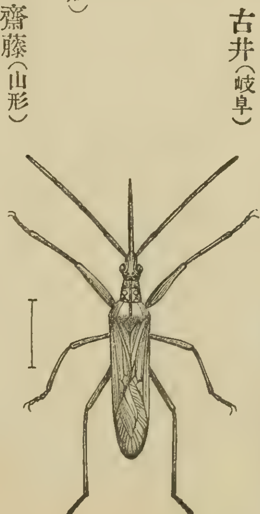
一二七、やなぎ の るり はむし〔鞘翅目・分類〕岩越（岐阜）齋藤（山形）

一二八、をとしぶみ ぞうむし〔鞘翅目・分類〕齋藤（山形）

一二九、あをすぢ あげは てふ 青筋鳳蝶（アオスヂアゲハ） Papilio surpedon, L.〔鱗翅目〕牛澤（岐阜）藤戸（大坂）

一三〇、くり けむし の が〔鱗翅目・分類〕牛澤（岐阜）古井（岐阜）齋藤（山形）

一三一、まつ けむし の が〔鱗翅目・分類〕岩越（岐阜）大橋（岐阜）中野（奈良）福家（香川）齋藤（山形）



ヒゲボソガメムシの圖
（分類第六八〇號參看）

一三二、ひをどし てふ（チヨウ） {鱗翅目・分類} 半澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜）

一三三、しも ふり すずめ {鱗翅目・分類} 半澤（岐阜）

一三四、を（オ）ほ あを が {鱗翅目・分類} 古井（岐阜）

一三五、はんのき けむし の が {鱗翅目・分類} 藤戸（大坂） 江尻（富山）

一三六、けん もん が {鱗翅目・分類} 松崎（愛知）

一三七、こ むらさき てふ（チヨウ） {鱗翅目・分類} 岩越（岐阜） 半澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜）

一三八、うち すずめ {鱗翅目・分類} 藤戸（大坂） 齋藤（山形）

一三九、を（オ）ほ すかしば が {鱗翅目・分類} 大橋（岐阜）

一四〇、ほたる が {鱗翅目・分類} 古井（岐阜）

一四一、いぬがや の しゃくとり の が {鱗翅目・分類} 大橋（岐阜） 古井（岐阜）

一四二、ゆふ（ウ） まだら が {鱗翅目・分類} 大橋（岐阜） 草間（宮城）

一四三、きばね はまきむし の が 黄翅葉捲蟲蛾（キバチハマキノが） Botys arbiter, But. {鱗翅目} 古井（岐阜）

一四四、くぬぎ の ぐんばい むし {有吻目・分類} 岩越（岐阜）

一四五、くぬぎ の たまかひ（イ）がら むし 櫟樹玉貝殼蟲（クヌギタマカイガラムシ） Kermes sp? {有吻目} 石澤（福島）

一四六、やなぎ の を（オ）ほ あぶら むし 柳樹大蚜蟲（ヤナギオオアブラムシ） Aphis sp? {有吻目} 齋藤（山形）

一四七、あぶら ぜみ〔有吻目・分類〕 牛澤（岐阜）
一四八、つの よこばひ 角横蚑蟲 Orthobelus flavipes, Uhler.〔有吻目〕 齋藤（山形）
一四九、あを ふき よこばひ〔有吻目・分類〕 齋藤（山形）
一五〇、おほ つまぐろ よこばひ〔有吻目・分類〕 大橋（岐阜） 齋藤（山形）

（二）園藝其他の害蟲

一五一、からすば あげは てふ〔鱗翅目・分類〕 齋藤（山形）
一五二、みやま からすあげは てふ〔鱗翅目・分類〕 草間（宮城） 古井（岐阜）
一五三、じやかう あげはてふ〔鱗翅目・分類〕 古井（岐阜） 味勝（愛知）
一五四、ひめ しろ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間（宮城）
一五五、もん き てふ〔鱗翅目・分類〕 岩越（岐阜） 牛澤（岐阜） 大橋（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜） 齋藤（山形） 味勝（愛知）
一五六、き てふ〔鱗翅目・分類〕 牛澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜） 味勝（愛知）
一五七、べに しじみ てふ〔鱗翅目・分類〕 牛澤（岐阜） 草間（宮城）
一五八、やまと しじみ てふ〔鱗翅目・分類〕 牛澤（岐阜） 草間（宮城）



横蚑蟲の一種（トビイロウンカ）（イ）は成蟲（ロ）は前翅（ハ）は後翅（分類第六四一號及び害蟲第二二號參看）

一五九、しじみ てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城） 古井（岐阜）
一六〇、みすぢ てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城）
一六一、おほ みすぢてふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城）
一六二、いち もじ てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城） 古井（岐阜）
一六三、あさぎ まだら てふ ｛鱗翅目・分類｝ 古井（岐阜）
一六四、るり たては てふ ｛鱗翅目・分類｝ 半澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜）
一六五、うらぎん へうもん てふ ｛鱗翅目・分類｝ 半澤（岐阜）
一六六、へうもん てふ ｛鱗翅目・分類｝ 古井（岐阜）
一六七、めすぐろ へうもんてふ ｛鱗翅目・分類｝ 古井（岐阜）
一六八、じやのめ てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城） 古井（岐阜）
一六九、じやのめてふ もどき ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城）
一七〇、ひめ じやのめてふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城）
一七一、くろ ひかげ てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城）
一七二、きまだら てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城） 味勝（愛知）
一七三、おほ はなせせり てふ ｛鱗翅目・分類｝ 草間（宮城）

一七四、きまだら はなせせり てふ〔鱗翅目・分類〕 草間（宮城）

一七五、こ はなせせり てふ〔鱗翅目・分類〕 大橋（岐阜）

一七六、くろ はなせせり てふ〔鱗翅目・分類〕 草間（宮城）

一七七、いかり もん が〔鱗翅目・分類〕 草間（宮城）

一七八、うんもん すずめ〔鱗翅目・分類〕 藤戸（大坂）

一七九、ひめ はうじゃく が〔鱗翅目・分類〕 古井（岐阜）

一八〇、ももぶと すきば が〔鱗翅目・分類〕 江尻（富山）

一八一、うすば つばめ 薄翅燕尾蛾 Elcysma westwoodi, Volleuh.〔鱗翅目〕 古井（岐阜）

一八二、はらあか えろが〔鱗翅目・分類〕 半澤（岐阜）

八三、えろ よつぼし が〔鱗翅目・分類〕 藤戸（大坂）

一八四、つま きん が〔鱗翅目・分類〕 古井（岐阜）

一八五、ぎしぎし の きりむし の が〔鱗翅目・分類〕 大橋（岐阜）

一八六、はねくろ が〔鱗翅目・分類〕 古井（岐阜）

一八七、やにいろ が〔鱗翅目・分類〕 半澤（岐阜）

一八八、くろくも が〔鱗翅目・分類〕 大橋（岐阜） 齋藤（山形）

一八九、しろほし あか したば が〔鱗翅目•分類〕 齋藤（山形）
一九〇、あけび の きのは が〔鱗翅目•分類〕 牛澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜）
一九一、き したば が〔鱗翅目•分類〕 牛澤（岐阜）
一九二、べに したば が〔鱗翅目•分類〕 古井（岐阜）
一九三、かきのは まがひ が〔鱗翅目•分類〕 古井（岐阜）
一九四、ともゑ もん が〔鱗翅目•分類〕 古井（岐阜）
一九五、びろうど ともゑ が〔鱗翅目•分類〕 古井（岐阜）
一九六 ささなみ しゃくとり が〔鱗翅目•分類〕 古井（岐阜）
一九七、もん き しゃくとり が〔鱗翅目•分類〕 大橋（岐阜）
一九八、さみだれ が〔鱗翅目•分類〕 牛澤（岐阜） 大橋（岐阜） 古井（岐阜）
一九九、しゃくとりむし の が の一種 尺蠖蛾一種 Gn? sp? 〔鱗翅目〕 大橋（岐阜）
二〇〇、ちやばね がいだ〔有吻目•分類〕 齋藤（山形）
二〇一、ひめ くろ がいだ〔有吻目•分類〕 岩越（岐阜） 大橋（岐阜）
二〇二、おほ がめむし 大椿象 Ochrochira buliginosa, Uhler.〔有吻目〕 牛澤（岐阜）
二〇三、おほ ひし もんよこばひ 大菱形紋横蚑蟲 Gn? sp? 〔有吻目〕 齋藤（山形）

ガメムシの一種
（メダカガメムシ）

I



（分類第六八三號參看）

二〇四、あわふきむし の 一種 沫吹横蚊蟲一種 Aphrophora sp? {有吻目} 齋藤（山形）

二〇五、くさ きりぎりす {直翅目・分類} 半澤（岐阜）

二〇六、ひめ くだまき もどき {直翅目・分類} 半澤（岐阜）

二〇七、つち いなご {直翅目・分類} 岩越（岐阜） 半澤（岐阜）

二〇八、とのさま ばった {直翅目・分類} 半澤（岐阜） 古井（岐阜） 齋藤（山形）

二〇九、くるまばった もどき {直翅目・分類} 古井（岐阜）

二一〇、しやうりやう ばった {直翅目・分類} 古井（岐阜）

二一一、をんぶ ばった {直翅目・分類} 江尻（富山）

二一二、ひし ばった {直翅目・分類} 岩越（岐阜） 古井（岐阜）

二一三、はねなが ばった {直翅目・分類} 岩越（岐阜）

二一四、をほむね ごきぶり 大胸蜚蠊（オホムチアブラムシ） Periplaneta orientalis, {直翅目} 松本（大坂）

二一五、ちやばね ごきぶり {直翅目・分類} 松本（大坂）

二一六、かつをぶし の むし {直翅目・分類} 岩越（岐阜） 齋藤（山形）

二一七、とびいろ きくひ むし {鞘翅目・分類} 岩越（岐阜）

二一八、とびいろ のみむし 鳶色蚤蟲 Scirtes japonicus, Kieseuw. {鞘翅目} 岩越（岐阜）

バッタの一種（ツチバッタ）



（分類第七四三號參看）

二一九、のこぎり むし〔鞘翅目・分類〕古井（岐阜）

二二〇、はな もぐり〔鞘翅目・分類〕大橋（岐阜）

二二一、かね ぶいぶい〔鞘翅目・分類〕岩越（岐阜）

二二二、あほ はなもぐり〔鞘翅目・分類〕大橋（岐阜）古井（岐阜）

二二三、かぶと むし〔鞘翅目・分類〕半澤（岐阜）古井（岐阜）

二二四、こめつき むし〔鞘翅目・分類〕齋藤（山形）

二二五、ごみむし だまし〔鞘翅目・分類〕岩越（岐阜）

二二六、とびいろ かみきりむし 鳶色天牛（トビイロカミキリ） Gn? sp?〔鞘翅目〕半澤（岐阜）

二二七、きくすひ 菊虎（菊吸蟲）（キクスイ） Phytoecia ventralis, Cherv.〔鞘翅目〕齋藤（山形）

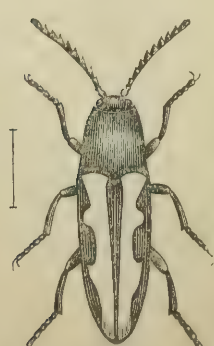
二二八、よすぢ かみきりむし〔鞘翅目・分類〕半澤（岐阜）齋藤（山形）

二二九、あかがね はむし〔鞘翅目・分類〕古井（岐阜）

二三〇、ぎしぎし の はむし〔鞘翅目・分類〕岩越（岐阜）

二三一、ぢんがさ むし〔鞘翅目・分類〕齋藤（山形）

二三二、まろ むし〔鞘翅目・分類〕岩越（岐阜）



コメツキムシの一種（トラフコメツキムシ）

二三三、だいこく むし〔鞘翅目・分類〕牛澤（岐阜）

二三四、くろ ばへ〔雙翅目・分類〕岩越（岐阜）

第七　動物の害蟲類

（一）人體（ジンタイ）の害蟲（ガイチウ）

二三五、か 蚊子 Culex pallens, Coquillett.〔雙翅目〕岩越（岐阜）中野（奈良）

二三六、はまだらか〔雙翅目・分類〕岩越（岐阜）

二三七、のみ 蚤 Pulex irritans, L.〔微翅目〕岩越（岐阜）

（二）獸畜（ジウチク）の害蟲（ガイチウ）

二三八、とこじらみ 臭蟲（床蝨） Acanthia lectularis, L.〔有吻目〕松本（大坂）

二三九、うし あぶ〔雙翅目・分類〕大橋（岐阜）

二四〇、うまの やどり ばへ 馬體寄生蠅（ウマヤドリバイ） Gastrophilus equi, Fab.〔雙翅目〕石澤（福島）

（三）魚族（ギヨゾク）の害蟲（ガイチウ）

二四一、こがた の げんごらう むし〔鞘翅目・分類〕中野（奈良）

二四二、くろまだら げんごらう むし 黑斑龍蝨（マダラゲンゴロウ） Eretes sticticus, L.〔鞘翅目〕中野（奈良）

二四三、**みづすまし**〔鞘翅目•分類〕中野(奈良)

二四四、**がむし**〔鞘翅目•分類〕中野(奈良)

二四五、**こみづむし**〔有吻目•分類〕中野(奈良)

二四六、**おほみづむし** 大水蟲 Crixa sp.? 〔有吻目〕中野(奈良)

二四七、**たがめむし**〔有吻目•分類〕中野(奈良)

二四八、**こおひむし**〔有吻目•分類〕中野(奈良)

二四九、**みづかまきり**〔有吻目•分類〕中野(奈良)

二五〇、**ゆりのはなすひ**〔有吻目•分類〕中野(奈良)



タガメノ卵塊の圖

(備考) 害蟲標本は斯く貳百五拾種に上り、粗ぼ各目のものを示すに足る。去れど其の過半は大形種のものにて、著るしく人目を惹くの種類を擇べるが如き嫌ひあるは、遺憾とすべし、蓋し本邦は唐土若くは泰西諸國と加害蟲種を異にし、其災殃を來たす所のものは、必ず小形種にあるを以てなり。例へば浮塵子といひ、螟蟲といひ、貝殼蟲といひ、蚜蟲といひ、桑象鼻蟲といひ、皆これ微軀小形にして、敢て關心するに足らざるが如きも、此が國損國辱の本根たるは、爭ふ可からざるの事實なれば、苟くも重きを農作害蟲に置かば、常に其心して、また斯かる蟲種を多く蒐集出品するの要あるべし。而して農作害蟲を除き、動物害蟲中には、人畜に危難を與ふる種類少なしとせず、翅斑蚊、臭蟲、牛馬の蠅虻すなはち是なり、但魚族の害蟲に至りては、一利一害あるを以て、必らずしも之を害蟲とのみ強ゐ可きにあらず。其他に至りては、各章を通覽せば、自づから分明するものあらん。

第四章　益蟲標本ニ於ケル蟲種別

益蟲標本ハ、第壹部ノ第三類ニ屬シ、其全數ハ、愛知、靜岡、岐阜、宮城、山形、富山、香川ノ七縣ヨリ出品セル拾貳點、拾七凾アルノミ。故ニ之ヲ他類ノ多キニ較ブレバ、少サカ寂寥ノ感アリ、然カモ是レ他ノ標本ト相竢チテ、昆蟲ノ分布ヲ認識スベキ有力ノ好材料タルヲ失ハザルノミカ、其出品ノ少ナキハ、遇々以テ世人ガ、益蟲ニ對スル觀念ノ深淺ヲ測ルノ利器タルベシ。乃チ斯種ノ標本ノ未ダ多ク整備セザルハ、本邦ニ於テ、昆蟲學思想ノ猶ホ發展セザルノ反射鏡トシテ、宜シク國民ノ留意スベキ一要件タリト信ズ。今ヤ、茲ニ其内容ヲ示スニ方リ、閲覽ノ便ヲ圖リテ、之ヲ數區ニ分載スルコト次ノ如シ。

◉有益蟲

益蟲とは、害蟲の蕃殖を妨たげ、其加害を制して、間接に人生の利益を援くる蟲種をいふ。其品種頗ぶる多く、隨うて性狀各々また同じからざるも、之を大別する時は、其卵仔を他の蟲體に寄居せしめて、自族の繁榮を圖るものと、絕えず他の蟲類を捕獲して、口腹の慾を飽かすものとの二種と

なる。即はち一を寄生類と云ひ、他を食肉類と云ふ。而して之が驅除上の價値をいへば、食蟲鳥獸の効功と同しく、造化自然の妙用は、實に驚駭するの外なく、嘗て國家數年の憂患、損害を、忽倏の間に救濟せし實例すら、また無きにしもあらぞ。是れ泰西諸國に於て、夙に天然驅除者の美稱を冠して、厚くこれを愛護する所以なるべし。

又一種の有益蟲とも稱すべきは、有効蟲(一に有用蟲ともいふ)の種屬なり。中には、無意にして作物結實の仲媒をなし、又は植物に加害するもあれど、前者は毫も害を與へざるのみか、後者と雖ども、之に多少の人工を加ふれば、以て衣服其他の原料となすべく、以て海外輸出品を製產すべく、以て日用の藥劑に供し得べし。仍りて本章の末尾には、此等の數種を特擧して。世の之に對する注意を惹起さんとす。

第一　寄生蟲類

(一)膜翅目(マクシモク)の益蟲(エキチウ)

一、あげは の やどり ばち〔分類標本〕 松崎(愛知) 大橋(岐阜)

二、ひめ ばち〔分類標本〕 齋藤(山形)

三、ほそ をなが ばち〔分類標本〕 大橋(岐阜)

四、くろ をながばち〔分類標本〕 齋藤(山形)

五、ふしだか をながばち〔分類標本〕齋藤（山形）

六、むなぐろ やどりばち 胸黑寄生蜂（Gn.? sp.?）齋藤（山形）

七、やどりばち の 一種 寄生蜂一種（Gn.? sp.?）齋藤（山形）

八、やどりばち の一種 寄生蜂一種（Gn.? sp.?）大橋（岐阜）草間（宮城）江尻（富山）

九、あめいろ やどりばち 飴色寄生蜂（Gn.? sp.?）松崎（愛知）

一〇、うすば やどりばち〔分類標本〕大橋（岐阜）齋藤（山形）

一一、むなぐろ あめいろ ばち 胸黑飴色寄生蜂（ムナグロアメバチ）（Gn.? sp.?）齋藤（山形）

一二、ひめ あめいろばち 姫飴色寄生蜂（ヒメアメバチ）（Gn.? sp.?）齋藤（山形）

一三、き まだら をながばち 黃斑馬尾蜂（Rhyssa sp.?）草間（宮城）齋藤（山形）

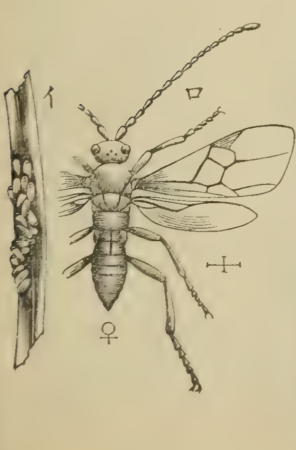
一四、をなが ばち〔分類標本〕齋藤（山形）白須賀（靜岡）

一五、か もどき ばち〔分類標本〕大橋（岐阜）

一六、きまゆ やどりばち〔分類標本〕大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

一七、まつけむし の やどりばち 松樹毛蟲寄生蜂（マツケムシヤドリバチ）（Microgoster sp.?）大橋（岐阜）

一八、いねあをむし の やどりばち〔分類標本〕江尻（富山）



イネアヲムシノヤドリバチの圖（雌）
（イ）は繭（ロ）は成蟲〔分類第三四號參看〕

一九、あをむし の あを やどりばち 螟蛉靑色寄生蜂(アオムシノアオヤドリバチ) (Gn? sp?) 大橋(岐阜) 松崎(愛知)

二〇、ずゐむし の あか たまごばち 赤色螟卵寄生蜂 (Gn? sp?) 江尻(富山)

二一、ももぶと やどりばち 〔分類標本〕 白須賀(靜岡)

(二)雙翅目(サウシモク)の益蟲(エキチウ)

二二、えだしやくとりの やどりばへ 枝尺蠖寄生蠅(エダシヤクトリノヤドリバイ) (Tachina sp?) 松崎(愛知)

二三、たけけむし の やどりばへ 竹毛蟲寄生蠅(タケケムシヤドリバイ) (Tachina sp?) 白須賀(靜岡)

二四、はり ばへ 〔分類標本〕 大橋(岐阜)

第二 食肉蟲類

(一)膜翅目(マクシモク)の益蟲(エキチウ)

二五、つち すがり 〔分類標本〕 草間(宮城)

二六、くま ばち 〔分類標本〕 岩越(岐阜) 牛澤(岐阜)

二七、こ つちばち 〔分類標本〕 牛澤(岐阜)

二八、けいとう ばち 〔分類標本〕 大橋(岐阜) 草間(宮城)

二九、もんあか くろばち 〔分類標本〕 大橋(岐阜) 草間(宮城)

三〇、あか ばち〔分類標本〕大橋(岐阜) 齋藤(山形)
三一、あな ばち〔分類標本〕大橋(岐阜)
三二、くもひき ばち 蜘蛛鼡蜂(Pompilus sp.?) 白須賀(靜岡)
三三、すず ばち〔分類標本〕大橋(岐阜)
三四、とっくり ばち〔分類標本〕大橋(岐阜)
三五、むしひき ばち〔分類標本〕大橋(岐阜)
三六、やま ばち〔分類標本〕岩越(岐阜) 牛澤(岐阜) 大橋(岐阜) 齋藤(山形)
三七、だんご ばち〔分類標本〕岩越(岐阜) 牛澤(岐阜) 大橋(岐阜) 齋藤(山形)
三八、あか ばち〔分類標本〕大橋(岐阜) 草間(宮城)
三九、ぢ ばち〔分類標本〕牛澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡)
四〇、あしなが ばち〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 江尻(富山)
四一、こ あしながばち〔分類標本〕草間(宮城)

(一二)鞘翅目の益蟲

四二、みち をしへ〔分類標本〕牛澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡) 江尻(富山)
四三、さび はんめう〔分類標本〕牛澤(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

四四、こ さびはんめう〔分類標本〕 齋藤(山形)

四五、ひめ はんめう〔分類標本〕 大橋(岐阜)

四六、まひまひ かぶり〔分類標本〕 松崎(愛知) 白須賀(靜岡)

四七、へうたん ごみむし〔分類標本〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

四八、あかがね をさむし〔分類標本〕 齋藤(山形)

四九、くろ をさむし〔分類標本〕 齋藤(山形)

五〇、をさむし もどき〔分類標本〕 齋藤(山形)

五一、あかあし ごわくむし〔分類標本〕 齋藤(山形)

五二、くろ ごみむし〔分類標本〕 松崎(愛知) 草間(宮城) 齋藤(山形) 江尻(富山)

五三、おほ きべり ごみむし 大形黄緣塵芥蟲（オオキベリゴミムシ） (Chlaenius variicornis, Mor.) 草間(宮城) 江尻(富山) 齋藤(山形)

五四、きべり あを ごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜)

五五、あを ごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜)

五六、きもん あを ごみむし〔分類標本〕 松崎(愛知) 江尻(富山)

五七、きばし あを ごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜) 草間(宮城)

五八、まるがた　ごみむし〔分類標本〕　岩越（岐阜）　大橋（岐阜）

五九、ひらた　ごみむし〔分類標本〕　岩越（岐阜）

六〇、こ　ひらた　ごみむし〔分類標本〕　岩越（岐阜）

六一、みゐでら　はんめう〔分類標本〕　岩越（岐阜）　牛澤（岐阜）　大橋（岐阜）

六二、きべり　くろ　ごみむし〔分類標本〕　岩越（岐阜）

六三、くびなが　ごみむし　頸長塵芥蟲（Casnonia sp.?）　白須賀（靜岡）

六四、せすぢ　ごみむし〔分類標本〕　大橋（岐阜）

六五、ごみむし　の　一種　塵芥蟲一種（Gn? sp.?）　大橋（岐阜）

六六、あをば　はね　かくし〔分類標本〕　大橋（岐阜）　松崎（愛知）　齋藤（山形）

六七、きばね　はねかくし　黄羽隱翅蟲（Ocypus gloriosus, Sharp.）　齋藤（山形）

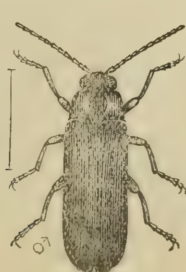
六八、あかば　はねかくし〔分類標本〕　齋藤（山形）

六九、をほ　ありもどき　大形擬蟻蟲（Paederus poweri, Sharp.）　齋藤（山形）

七〇、めだか　はねかくし〔分類標本〕　大橋（岐阜）

七一、あかぼし　ゑでむし〔分類標本〕　江尻（富山）　齋藤（山形）　白須賀（靜岡）

七二、ほたる〔分類標本〕　齋藤（山形）



ホタルの圖（雄）

七三、きくすひもどき〔分類標本〕大橋（岐阜）草間（宮城）松崎（愛知）、齋藤（山形）白須賀（靜岡）

七四、ひめ きくすひ もどき〔分類標本〕 牛澤（岐阜） 松崎（愛知）

七五、ひめあかぼし てんたうむし〔分類標本〕岩越（岐阜）大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

七六、ななほし てんたうむし〔分類標本〕岩越（岐阜）牛澤（岐阜）大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）白須賀（靜岡）

七七、ひめかめのかふ てんたうむし〔分類標本〕大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

七八、まろほし てんたうむし〔分類標本〕大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

七九、べにぼし まろほし てんたうむし〔分類標本〕岩越（岐阜）齋藤（山形）

八〇、きいろ てんたうむし 黄色瓢蟲（Coccinella 10-punctata, Var.?）松崎（愛知）

八一、てんたうむし〔分類標本〕牛澤（岐阜）大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

八二、べにぼし てんたうむし〔分類標本〕大橋（岐阜）松崎（愛知）

八三、かめのかふ てんたうむし〔分類標本〕大橋（岐阜）松崎（愛知）齋藤（山形）

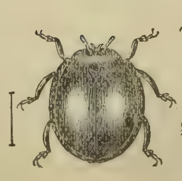
（三二）雙翅目の益蟲

八四、ありなが あぶ〔分類標本〕大橋（岐阜）草間（宮城）

八五、あをめ あぶ〔分類標本〕牛澤（岐阜）大橋（岐阜）草間（宮城）松崎（愛知）齋藤（山形）白須賀（靜岡）



ヒメアカボシ瓢蟲の圖



瓢蟲の一種（アカボシ瓢蟲）

（分類第二六〇參看）

八六、しほや あぶ〔分類標本〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡)

八七、おほむしひき あぶ〔分類標本〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山)

八八、ちやいろ むしひき あぶ〔分類標本〕 江尻(富山) 齋藤(山形)

八九、むしひき あぶ〔分類標本〕 大橋(岐阜) 草間(宮城) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡)

九〇、ひめ むしひき あぶ〔分類標本〕 松崎(愛知)

九一、ひらた あぶ〔分類標本〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山) 白須賀(靜岡)

九二、くろ ひらた あぶ 黑扁虻 (Syrphus serarius, Wiedemann.) 大橋(岐阜) 松崎(愛知)


シオヤアブの卵塊の圖

九三、ひめ ひらた あぶ〔分類標本〕 松崎(愛知) 齋藤(山形)

九四、ほし ひらた あぶ〔分類標本〕 大橋(岐阜)

(四)脈翅目の益蟲

九五、くさ かげろふ〔分類標本〕 松崎(愛知) 江尻(富山) 白須賀(靜岡)

九六、うすば かげろふ〔分類標本〕 半澤(岐阜) 草間(宮城) 齋藤(山形)

九七、おほ かすり うすばかげろふ〔分類標本〕 齋藤(山形)

九八、つの とんぼう〔分類標本〕 白須賀（靜岡）

（五）有吻目の益蟲

九九、やにいろ さし がめ〔分類標本〕 大橋（岐阜） 松崎（愛知）

一〇〇、びろうど さしがめ〔分類標本〕 松崎（愛知）

一〇一、あか さしがめ 赤色刺椿象（Procerates rubida, Uhler.） 松崎（愛知）

一〇二、とげ さしがめ 刺螯椿象（Acanthodasma perarmata, Uhler.） 齋藤（山形）

（六）直翅目の益蟲

一〇三、おほ はさみ むし〔分類標本〕 大橋（岐阜）

一〇四、かま きり〔分類標本〕 大橋（岐阜） 松崎（愛知） 江尻（富山） 齋藤（山形） 白須賀（靜岡）

一〇五、おほ かまきり〔分類標本〕 岩越（岐阜） 大橋（岐阜） 草間（宮城） 松崎（愛知） 齋藤（山形）

一〇六、こ かまかり〔分類標本〕 齋藤（山形）

一〇七、はらびろ かまきり〔分類標本〕 大橋（岐阜） 齋藤（山形）

（七）擬脈翅目の益蟲

一〇八、あをはだ いと とんぼう〔分類標本〕 半澤（岐阜） 草間（宮城）

一〇九、はぐろ いととんぼう〔分類標本〕 草間（宮城） 味勝（愛知）

一一〇、かは　いととんばう〔分類標本〕齋藤（山形）
一一一、あを　いととんばう〔分類標本〕草間（宮城）
一一二、ものさし　いととんばう〔分類標本〕草間（宮城）味勝（愛知）
一一三、き　いととんばう〔分類標本〕草間（宮城）
一一四、とびいろ　いととんばう〔分類標本〕草間（宮城）齋藤（山形）
一一五、いと　とんばう〔分類標本〕味勝（愛知）
一一六、をほ　いととんばう〔分類標本〕草間（宮城）
一一七、うちは　とんばう〔分類標本〕半澤（岐阜）
一一八、さなへ　とんばう〔分類標本〕大橋（岐阜）松崎（愛知）
一一九、をに　やんま〔分類標本〕草間（宮城）
一二〇、こしぼそ　とんばう〔分類標本〕味勝（愛知）
一二一、かとり　とんばう〔分類標本〕齋藤（山形）
一二二、ぎんいろ　やんま〔分類標本〕半澤（岐阜）大橋（岐阜）草間（宮城）
一二三、とら　ふ　とんばう　虎斑蜻蛉（トラフトンボ）（Somatochlora marginata? Selys.）岩越（岐阜）
一二四、うすば　きとんばう〔分類標本〕草間（宮城）

一二五、てふ とんばう〔分類標本〕半澤（岐阜）

一二六、おほ しほから とんばう〔分類標本〕草間（宮城）白須賀（靜岡）

一二七、しほや とんばう〔分類標本〕岩越（岐阜）半澤（岐阜）大橋（岐阜）草間（宮城）松崎（愛知）味勝（愛知）

一二八、しほから とんばう〔分類標本〕草間（宮城）齋藤（山形）

一二九、はらびろ とんばう〔分類標本〕味勝（愛知）

一三〇、しやうじやう とんばう〔分類標本〕半澤（岐阜）草間（宮城）

一三一、みやま あかね とんばう〔分類標本〕草間（宮城）味勝（愛知）

一三二、なつ あかね とんばう〔分類標本〕草間（宮城）江尻（富山）齋藤（山形）味勝（愛知）白須賀（靜岡）

第二　効用蟲類

（一）花媒蟲

一三三、おほ まるばち〔膜翅目•分類〕齋藤（山形）白須賀（靜岡）

一三四、き まるばち〔膜翅目•分類〕齋藤（山形）

一三五、くろすぢ き ばち 黒筋黄蜂 Gn.? sp.?〔膜翅目•分類〕齋藤（山形）

一三六、ひげなが ばち〔膜翅目•分類〕齋藤（山形）

一三七、はな あぶ〔雙翅目•分類〕半澤（岐阜）大橋（岐阜）草間（宮城）

一三八、おほ(オ)はなあぶ〔雙翅目●分類〕大橋（岐阜）草間（宮城）

一三九、れらあぶ〔雙翅目●分類〕草間（宮城）

（二）紡(バウ)織(シキ)用(ヨウ)

一四〇、かひ(イ)このが〔鱗翅目●分類〕草間（宮城）

一四一、やままゆのが〔鱗翅目●分類〕岩越（岐阜）

一四二、くりけむしのが〔鱗翅目●分類及害蟲〕岩越（岐阜）

（三）藥(ヤク)劑(ザイ)用(ヨウ)

一四三、みつばち〔膜翅類●分類〕齋藤（山形）

一四四、おほ(オ)つちはんめう(ミヨ) 大地膽(オオツチハンミヨウ) Meloe auriculatus, Mars.〔鞘翅目〕齋藤（山形）

第四　雜蟲類（附記）

一四五、くはが(ワ)たむし〔鞘翅目●分類〕江尻（富山）

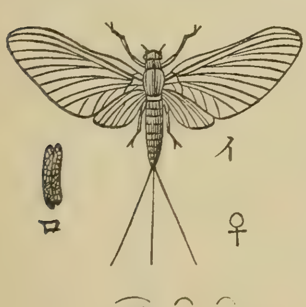
一四六、きまはりむし〔鞘翅目●分類〕草間（宮城）

一四七、こしあきあぶ〔雙翅目●分類〕半澤（岐阜）

一四八、しまこうかばへ(イ)〔雙翅目●分類〕草間（宮城）

一四九、こうかばへ(イ)〔雙翅目●分類〕草間（宮城）

フユウの一種（シロハ子フユウ）



（イ）は成蟲
（ロ）は幼蟲
（分類第八一號參看）

一五〇、ぢむきかげろふ〔毛翅目・分類〕半澤（岐阜）

一五一、ふいう（ユ）〔擬脈翅目・分類〕草間（宮城）

（備考）益蟲標本は、上記の百五十一種なりしかど、概むね分類標本のものと同じく、其眞に異種に屬するものに至りては都て二十數品に止まる。特に益害の別の未だ判明せざるもの、又は害蟲として疾視すへきものすら、多少これ無きにあらず、遺憾の極と謂ふべし。之を要するに、斯學の未だ普及發達せざる本邦に於て、初めより完全の出品は、到底之を望み能はざるも、平生その如何に益蟲を輕視するやの一斑は、本章によりて畧ぼ窺ひ知ることを得べき歟。なほ章末に附記したる「第四、雜蟲類」の一項の如きは、之を削除する、固より何の不可なきも、他日斯學進歩の曉に、當年の現況を追想するの料にもと思ひ、故らに之を存し置けり、覧者その心してよ。

第五章　教育用標本及其他ノ出品物

教育用標本ハ、第壹部第四類ニ屬シ、其出品ハ、愛知、岐阜、岩手、山口四縣ヨリ蒐集ノ十二點百九函ヨリ成リ。装飾用標本ハ、第壹部第五類ニ屬シ、愛知、岐阜二縣ノ出品、十五點四十六函ヲ算シ。有効蟲標本ハ、第壹部第六類ニ屬シ、岐阜縣ノ出品一點十二函アリテ、孰レモ不少ノ蟲種ヲ收メリ。然ドモ之ヲ分類及害益蟲標本ノモノト對照セバ、殆ンド異種ヲ認メザルノミカ、

教育用ト裝飾用ノモノトハ、其製作、圖案、配列、解說等ニ重キヲ置キタレバ、斯學究明及種類分布調查ノ上ヨリ觀ルトキハ、決シテ同一ニ律スベクモアラズ、故ニ本文ニハ之ガ記載ヲ缺ケリ。但中ニハ、興味多キ自然淘汰、雌雄淘汰標本アリ、巧ニ分類的ニ又ハ益害蟲種ニ分別セル學業兼用ノモノアリ又或ハ山川、形象ヲ描出セル美術界ノモノ等アリテ、絕エズ衆目ヲ惹キタレバ、假シ學術上ニ利スル所少シトハ云ヘ、普及策ノ一端トシテノ成功ハ、マタ疑ヒヲ容レズ。

第貳部第壹類ハ、驅蟲用ノ器具ニテ、其出品ハ兵庫、奈良、三重、愛知、岐阜、大分ノ五縣ノモノ八點十二個アリ。第貳部第二類ニハ、靜岡、岐阜、和歌山、德島ノ四縣ヨリ出品セル、驅除用藥劑四點九個アリ。第三部第一類ハ、山口、岐阜、愛媛三縣ヨリ出品セル、圖解、地圖、書籍等ニテ、都テ三點十個ニ達シ。第參部第貳類ハ、事業成績ノ書類ニテ、愛知、岐阜、山口三縣ノ出品ニ係ルモノ、五點九部アリ。第四部第壹類ハ、スナハチ參考品ノミニシ

テ、昆蟲學界ニ緣故ヲ有スルモノ、二十點八十三品ノ多キニ上リ、尙ホコレニ當昆蟲研究所出陳ノモノ千餘點ヲ加ヘタレバ、一矚ノ下ニ、此種ノ大概ヲ知ラシメキ。而シテ之ガ出品區域ハ、東京、三重、愛知、靜岡、岐阜、愛媛、宮城、沖繩、臺南等ノ府縣ニテ、中ニハ頗ル有用ノモノ鮮少ナラザリキ。

第六章　出品物ト其出品者

全國昆蟲展覽會ハ、モト共同戮力ノ實ヲ擧ゲシメンガ爲ニ、終始團體ノ出品ヲ奬勵セシ結果トシテ、賞狀ノ如キモ、皆團體ニ對ツテ之ヲ授與セリ。之ニ反シテ、本書目錄ニハ、便宜上、代表者ノ姓字ヲ摘記シテ、ソガ略符ニ充テシガ故ニ、閱覽ノ際ニ、或ヒハ讀者ノ疑惑ヲ招クコト無キヲ保セザルト、且本會開設ノ旨意ヲ賛襄シテ、未ダ前例無キノ事業ヲ、斯ク圓滿ニ成就セシメタル、各地出品者諸氏ノ好意ヲ多トスルノ餘リ、爰ニ第壹部第壹類ヨリ、第四部第壹類ニ亘ル出品ニ對シ、審カニ其出處ヲ登載シテ、永ク本會ノ紀念ニ

供ヘントス。但出品物ノ小別及町村區名等ニ至リテハ、克ク本書ノ收錄シ得ベキ所ニアラザレバ、盡ク之ヲ省略ニ附セリ。下ニ列記スル所ヲ翫讀シナバ當時ノ光景ノ彷彿トシテ、吾ガ讀者ノ眼前ニ映出スルモノアラン。（姓名右肩上ニ符號ノ無キモノハ團體ノ代表者、△印ヲ附シタルハ個人出品ニ係ルモノ。但參考品ニハ此區別ヲ設ケズ。）

◉第壹部第壹類（分類標本）

（出品目錄到達順、以下準之）

岐阜縣不破郡農事昆蟲研究會	古井由之
大分縣北海部郡	△藤澤節太郎
京都府丹後昆蟲研究會	岩見勇藏
岐阜縣本巣郡昆蟲研究會第五部落	小里運八
岐阜縣惠那郡教育會	若林卓爾
愛知縣南設樂郡	△松崎種次郎
岐阜縣武儀郡害蟲驅除講習修業生	天野秋二
岐阜縣師範學校第二年級生有志總代	梅田倉藏
愛知縣渥美郡昆蟲研究會	宮林桂次郎
岐阜縣安八郡	△森宇多司
岐阜縣海津郡昆蟲研究會	大橋尊義
岐阜縣安八郡	△谷雄太郎
三重縣志摩郡	△大矢圓三郎
三重縣阿山郡興農會	伴野熊吉
岐阜縣本巣郡教育會第一部落	堀口鍬五郎
岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會	吉澤讓
岩手縣膽澤郡	△下飯阪武次郎
岐阜縣揖斐郡昆蟲研究會	高橋俊益
岐阜縣稻葉郡昆蟲研究會	津田顯孝
和歌山縣那賀郡	△西岡直三郎
岐阜縣揖斐郡溫知小學兒童總代	今西武夫
富山縣射水郡	△江尻豐太郎
岐阜縣羽島郡竹鼻小學校	岩越金次郎
岐阜縣本巣郡一色小學高等四年生總代	山川多六

岐阜縣羽島郡松倉小學校　津屋基
岐阜縣安八郡大藪小學校　柳田光次郎
岐阜縣惠那郡　△熊谷伊八
岐阜縣安八郡昆蟲研究會　小幡忠藏
三重縣桑名郡七取村　△伊東照代
岡山縣邑久郡昆蟲研究會　朝倉力治

◉第壹部第貳類（害蟲標本）

大阪府大阪市松本合名會社　松本金祐
奈良縣生駒郡農事試驗場　中野末喜
青森縣青森市　△相馬寵一郎
福島縣東白川郡　△石澤寛助
山形縣飽海郡昆蟲研究會　齋藤朝之助
愛知縣南設樂郡　△松崎種次郎
岐阜縣稻葉郡昆蟲研究會　津田顯孝
香川縣農事試驗場　福家梅太郎
岐阜縣羽島郡竹鼻小學校　岩越金次郎
宮城縣志田郡昆蟲研究會　草間宗軒
岐阜縣羽島郡農會　半澤忠雄
岐阜縣安八郡大藪小學校　柳田光次郎
岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生　小林儀三郎
宮城縣名取郡昆蟲研究會　阿刀田義潮
岐阜縣郡上郡害蟲驅除修業生　筒井九郎右衛門外一名
三重縣三重郡大矢知村　△後藤幸吉
岐阜縣吉城郡　△後藤三喜藏
岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會　河合廣
山口縣玖珂郡昆蟲學會　小田勢助
岐阜縣不破郡農事昆蟲研究會　古井由之
愛知縣丹羽郡　△味勝正義
岐阜縣本巣郡昆蟲研究會　松野春一
山形縣東置賜郡　△高橋清兵衛
岐阜縣惠那郡　△熊谷伊八
富山縣射水郡　△江尻豐太郎
岐阜縣海津郡昆蟲研究會　大橋尊義
大阪府中河内郡　△藤戸作治郎
岐阜縣稻葉郡　△森島勘次郎
岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生　小林儀三郎
愛知縣中島郡農友會　服部松之丞

岐阜縣郡上郡害蟲驅除修業生　筒井九郎右衛門外一名
靜岡縣濱名郡白須賀町農會　山本庄次郎

◉第壹部第參類（益蟲標本）

奈良縣生駒郡農事試驗場　中野末喜
大分縣北海部郡　△藤澤節太郎
愛知縣南設樂郡　△松崎種次郎
富山縣射水郡　△江尻豊太郎
岐阜縣海津郡昆蟲研究會　大橋尊義
宮城縣志田郡昆蟲研究會　草間宗軒
岐阜縣羽島郡農會　半澤忠雄
岐阜縣本巣郡昆蟲研究會七部落　土屋龜次郎

◉第壹部第四類（教育用標本）

山口縣玖珂郡昆蟲學會　小田勢助
岐阜縣本巣郡昆蟲研究會第四部落　福田敏省
岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會　吉澤讓
岩手縣下閉伊郡教育會　馬場清平
岐阜縣揖斐郡鶯小學校　弓削良彌
岐阜縣羽島郡松倉小學校　津屋基

臺灣臺南縣　△中村辰治
岐阜縣本巣郡昆蟲研究會第七部落　土屋龜次郎
愛知縣丹羽郡　△味勝正義
山形縣飽海郡昆蟲研究會　齋藤朝之助
岐阜縣惠那郡　△熊谷伊八
香川縣農事試驗場　福家梅太郎
岐阜縣羽島郡竹鼻小學校　岩越金次郎
岐阜縣稻葉郡　△森島勘次郎
靜岡縣濱名郡白須賀町農會　山本庄次郎
岐阜縣加茂郡中川小學校　水野牛之介
岐阜縣本巣郡昆蟲研究會第六部落　林卜三郎
岐阜縣惠那郡教育會　若林卓爾
愛知縣渥美郡昆蟲研究會　宮林桂次郎
岐阜縣羽島郡竹鼻小學校　水谷靜吉
岐阜縣加茂郡教育會第三支會　德山安太郎

岐阜縣加茂郡八百津小學校　德山安太郎

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會　吉澤讓

◉第壹部第五類（裝飾用標本）

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第四支會　今井光介

岐阜縣加茂郡　△山口三二

岐阜縣安八郡　△森宇多司

岐阜縣羽島郡農會　半澤忠雄

岐阜縣山縣郡昆蟲研究會　後藤信明

岐阜縣吉城郡　△後藤三喜藏

岐阜縣羽島郡博文小學校　土岐鐵三郎

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會第七部落　土屋龜次郎

岐阜縣揖斐郡昆蟲研究會　高橋俊益

岐阜縣稻葉郡昆蟲研究會　津田顯孝

愛知縣渥美郡昆蟲研究會　宮林桂次郎

岐阜縣海津郡昆蟲研究會　大橋尊義

岐阜縣羽島郡松倉小學校　津屋基

岐阜縣土岐郡昆蟲學會　水谷弓夫

◉第壹部第六類（有効蟲標本）

岐阜縣郡上郡害蟲驅除修業生　筒井九郎右衛門外一名

岐阜縣揖斐郡　△小森省作

◉第貳部第壹類（器械類）

岐阜縣不破郡（殺蟲器）　△小竹浩

大分縣北海部郡（捕蟲網二種）　△藤澤節太郎

奈良縣生駒郡農事試驗場（熱殺器）　中野末喜

岐阜縣郡上郡（展翅板）　塩田健藏外一名

兵庫縣多紀郡（捕蟲器）　△大西忠太郎

三重縣阿山郡興農會（驅蟲器）　伴野熊吉

愛知縣渥美郡（捕蟲網二種）　△村田照二

岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生（捕蟲網二種）　小林儀三郎

◉第貳部第貳類（藥劑類）

德島縣名東郡（苦木）　△秋田義人
和歌山縣有田郡（除蟲粉）　△御前喜八郎

◉第參部第壹類（圖書類）

山口縣玖珂郡昆蟲學會（圖解三種）　小田勢助
愛知縣新居郡（驅螟地圖及書籍）　△山内幹衛

◉第參部第貳類（事業成績類）

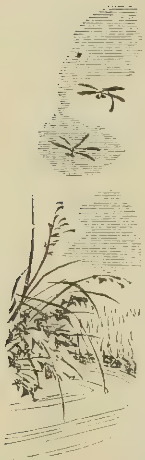
山口縣玖珂郡昆蟲學會（共同驅除成績）　小田勢助
岐阜縣揖斐郡鶯小學校（害蟲及卵塊）　弓削亘彌
岐阜縣山縣郡昆蟲研究會（共同驅除成績）　馬淵直保

◉第四部第壹類（參考品）

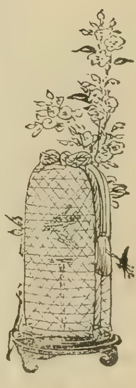
靜岡縣周智郡氣田製紙分社（製紙原料十二種）　岡村左右松
東京府東京市（注射器外六點）　東京興農園
岐阜縣郡上郡（直翅類一函）　壚田健藏外一名
東京府東京市（放大鏡外一點）　早稻田農園
岐阜縣不破郡（昆蟲附大理石置物）　安藤角次

靜岡縣周智郡氣田製紙分社（保米袋）　岡村左右松
岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生（除蟲菊）　小林儀三郎
和歌山縣有田郡（除蟲菊栽培製法）　△御前喜八郎
岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生（圖解四葉）　小林儀三郎
愛知縣渥美郡昆蟲學會（學會系圖及採卵成績）　宮林桂次郎
岐阜縣羽島郡農會（共同驅除成績）　半澤忠雄
靜岡縣濱名郡（害蟲分布表外一點）　岡田忠男
東京府東京市（害蟲圖解外十數點）　有隣堂書店
岐阜縣不破郡（昆蟲附石置物三點）　野村安太郎
東京府東京市（顯微鏡外五點）　田中李次郎
岐阜縣不破郡（蟷螂附石硯）　馬淵彌三郎

三重縣津市（害蟲發生氣候圖）　三重縣測候所
岐阜縣揖斐郡（金高蒔繪蝶摸様茶壷）　杉山馨
愛知縣名古屋市（刀鍔五種畵幅三幀）　小川弘水
愛知縣名古屋市（百蝶圖案外三點）　守隨鐐三郎
岐阜縣岐阜市（蝶附鉄瓶外二點）　竹中正義
愛媛縣新居郡（三化螟加害稻株）　山内幹衞
岐阜縣岐阜市（昆蟲摸様紙製品數十點）　勅使河原合資會社
石川縣金澤市（蟲塚記録）　石川縣廳内務部



沖繩縣農事試驗場（昆蟲嵌入漆器四點）　大山勇吉
岐阜縣岐阜市（昆蟲自動器外陶器等六點）　林正一
宮城縣仙臺市（古伊萬里燒陶器四點）　永澤小兵衛
東京府東京市（動物一覽圖外書籍十數點）　田中芳男
臺灣臺南縣（蚜蟲外五種）　中村辰治
三重縣津市（害蟲經過標本七種）　三重縣農事試驗場
愛知縣名古屋市（アセチリン誘蛾燈五基）　名古屋旭商會
宮城縣仙臺市（蟲供養碑搨本一葉）　宮城縣廳内務部



全國昆蟲展覽會出品目錄附錄

第一　昆蟲展覽會開設の計畫

全國昆蟲展覽會は、今明治三十四年四月を以て、始めて開催の機會に達したるも、其之が計畫に至りては、實に遠く明治三十二年九月に在りき。當時、私かに謂ひらく、近年農作害蟲の大發生ありしより、茲に昆蟲に對する國民の思想を一新し、驟かに斯學研修の徒を增したりと雖ども、その學科としての特立は、日なほ淺く、基礎すら未だ强固なるに到らず、苟くも基礎にして强固ならざらんか、異日之が講明、應用に際り、決して完整安泰を期し難し、特に從來、各地に於て、研鑽を遂げたる幾多の成績ある可しと雖ども、之を周知せしむるの機關なかりしを以て、弘く世に益し、人を濟ふに及ばず、今にして、斯學の基礎を確立し、傍ら同志に激勵を加ひ、及び其收め得たる成績を公衆に紹介して、之が普及と發達を圖らずんば、或ひはそれ益々國家に不利あるものあらん、而して此目的を遂行するの第一義は、斯種の展覽會を開催するより、急且切なるは莫けんと。乃はち其計畫の梗概をば、

時恰かも開會中の第壹回全國害蟲驅除講習會ュ於て演述し、尋で翌年三月三日、開會趣意書及び規則を發表して、名和昆蟲研究所は、微力自から揣らず、奮つて主催に任ぞべき旨を、全國の同志間に通告しき。(雜誌「昆蟲世界」第三十一號參看)

此企畫の熟するとゝもに、端なくも障害は各方面より續出しぬ。即はち、如何なる順序ュよりて多くの出品を蒐集すべきか、如何ある方法によりて會を組織すべきか、其程度を如何ある會ュ準據すべきか、開設資金を何處に求むべきか、又如何ある規程に據りて審査を加ふべきか等の諸問題なりき。依りて先づ、海外の前例を斟酌して、準繩に充てんことを欲し、在米國の河内忠二郎、桑名伊之吉の兩氏に飛信を傳へ、又内外の事情ュ通曉せる所友ュ對しても、之が組織幷びュ要件を質ぇしに、豈圖らんや、歐米學者間には、其所藏の標本を一塲ュ陳列して、同好者の觀覽研究の用に供ふる事は、屢次之あるも、未ざ競進の目的を以て、國内の蟲種を蒐集し、且これに批判を加へて、擬賞の擧に出でしものあるを知らぞ、との回報に接せんとは。斯く他に則とるべき例規の無かりしより、失望の極、衷心の憂苦は、また前日の比にあらざりき。此時もし縷かに、未だ海外先進諸國ュすら、前例なきの會たらば、必らずや、之を成就せしめざる可からず、との希望微りせば、或ひは中途挫折の厄に遭遇せしやも、未だ知る可からず。

爾後、外ュありては、各地を歷巡する每に、之が必要を說きて、賛同加盟を慫慂し、又頻々機關報、

其他の文書を以て、同志の發憤を促がし、之を内にしては、先づ日常の家費を節約し、臨時の收入を積蓄し、前後三年を經て、辛うじて壹千圓の豫定額に達せしめぬ。然れば漸やく、障害の二三を排除し得たるも、會の主催たる名和昆蟲研究所に、籍を列ぬる者は、擧つて會務と審査とに、干與することを回避せん、との初志を貫ぬかんが爲めには、學識名望經驗の三者を兼ぬる先輩を推戴して、之が統理たらしむるの必要を認め、乃はち明治三十三年十一月下旬、一知人を介し、博士玉利喜造氏に就きて會長の選擇を乞はしめしよ、本邦の昆蟲學よ緣故深き、田中芳男君こそ其適任なれ、之が推選交渉の事の如きは、自から其衝に當らん、との福音に接し、踵で田中氏よりも、昆蟲學開發のためには肯て多少の煩勞を辭せざるべしとの許諾を得き。本會は幸ひに、此かる好會長を戴き得たるも、事業の設備は、日一日と繁忙を加ひ、中には深省良圖を要すべきの用件も尠なからず、剩つさへ組織其他の方法すら、未だ完成を告げざりしかば、田中會長は數回、開設地岐阜市に來臨して、愼密の査察を遂げ、後また本會に關係を有する諸氏の意見を斟酌して、規則よ更正を施こし、重ねて之を全國の同志に知らしめぬ。即いち左の如し。

第壹回全國昆蟲展覽會開設趣意書

（明治三十五年一月更正）

輓近、昆蟲學思想の發達に伴ひ、之が研究と其應用の上に於て、長足の進步を來したるが如きも、成績區々として深く世に知られざるもの多し。洵に昭代の恨事にして、斯の如きは、復た昆蟲學の伸暢を計る所以にあらず。本所茲に觀るあり、今回博く大方の翼賛を得て、全國昆蟲展覽會を開設し、以て斯學攻究の一助に供し、併て其應用の普及を圖らんとす。此擧や微々たる本所の經營に係り

且加ふるに、斯種の企畵は、世に未だその前例なきを以て、固より好果を豫期せずと雖も、然かもそれ或は國利の萬一を裨補するものあらん歟。同志の士、幸に一顧の榮を垂れよ。

因に云ふ、二十餘年來、本所採收の昆蟲標本は、其數已に貳拾萬に超え、其種類の珍異なるもの亦少なからざるのみならず、昆蟲を工藝美術の上に應用せる、内外新古の器具、また將に千點に達せんとするを以て、展覽會開期間は、交々之を參考室に陳列して公衆の縱覽に供せんとす、冀くは來觀を賜へ。

明治三十四年一月十五日

岐阜縣岐阜市京町

名和昆蟲研究所

第一回全國昆蟲展覽會規則

第一條　本會は昆蟲學の發達及之が應用を圖らんが爲め、名和昆蟲研究所主催となり、明治三十四年四月十六日より、同年五月十五日迄三十日間、岐阜市京町岐阜縣農會構内に於て開設す。

第二條　本會の出品を分ちて、左の四部とす。

第壹部
- 第一類　分類標本。　第二類　害蟲標本。
- 第三類　益蟲標本。　第四類　敎育用標本。
- 第五類　裝飾用標本。　第六類　有効蟲標本。

第貳部
- 第一類　驅除、採集、製作、飼育、保存に供する器械。
- 第二類　驅除、採集、製作、保存用の藥品類。

第三部
- 第一類　書籍、圖畵、寫眞。
- 第二類　共同驅除、講習會、研究會の成績。
- 第三類　驅除、採集、製作、飼育、保存の方案。

第四部　第一類參考品。

第三條　前條第一部及第二部の出品は、自已の製作又は考案に係るものに限る。

第四條　過大巨重の出品は本會の都合により拒絶することあるべし

第五條　出品は、本會に於て相當の保護を爲すべしと雖も、萬一盜難、火風震災、其他避くべからざる事故に依り、破損若くは紛失したるときは、本會其責に任ぜず。

第六條　出品は第三部及第四部を除き、總て審査を加ふ。

第七條　出品の審査は、明治卅四年四月三日より之を始め、五月五日に終る。

第八條　出品人は、其出品に對して再審査を請ひ、又は授與の褒賞を拒み、若くは審査の決定に對して異議の申立を爲すことを得ず。

第九條　出品を審査の上、優等なるものには、其出品人に對して一等より四等に至る等級に從ひ褒賞を授與す。但受賞の出品に對し協贊の功ある者には、特に協贊賞を授與することある可し。

第十條　一人にして數部類に出品し、其出品優等なるときは、其部類に於て各褒賞を得べしと雖も、一類内數種を出品したる者に對しては、其中最優等なるもの一種に限るべし。但一類内と

雖も、異種にして優等に位するものあるときは、特に相當の褒狀のみを授與することあるべし。

第十一條　故人又は出品者以外の者と雖も、特に斯學に功勞ある者には、追賞又は功勞賞を授與することあるべし。

第十二條　褒賞授與式は五月十二日を以て擧行す。

第十三條　本會に出品せんとする者は「第一號書式」の出品目錄及「第二號書式」の出品解說を製り、明治三十四年二月十五日までに、名和昆蟲研究所宛に差出すべし。

第十四條　出品は明治三十四年三月二十日以前に、必ず到着の日取を以て、名和昆蟲研究所に宛發送すべし。

第十五條　出品には必ず番號、品名、出品人の住所氏名を明記したる小札を添附し、相當の方法を以て堅固に荷造すべし。

第十六條　會場の整理、出品の陳列等に關する一切の事務及費用は、本會に於て之を負擔す。

第十七條　出品運送に關する費用は、總て出品人の負擔とす。

第十八條　本會に左の役員を置く。

總裁	壹名	會長	壹名	顧問	若干名
事務委員長	壹名	審査長	壹名	事務委員	若干名
審査委員	若干名	評議員	若干名	書記	若干名

第十九條　本會役員の事務掌程は左の如し。

總裁　本會を統裁す。

會長　本會一切の事務を統轄す。

顧問　本會重要の商議に參與す。

事務委員長　總裁及會長の指揮を受けて、事務を整理す。

審査長　總裁及會長の指揮を受けて、審査事務を統理す。

事務委員　會長及事務委員長の指揮を受けて事務に從事す。

審査委員　會長及審査長の指揮を受けて審査事務に從事す。

評議員　本會に關する議事に參與す。

書記　會長以下の指揮を受けて、庶務に從事す。

第二十條　開會中は、毎日午前第八時より午後第四時まで、衆庶の參觀を許す。但都合に依り本文の時間を伸縮し、又は臨時入場を止むることあるべし。

第廿一條　參觀人は必ず入場券を携へ、退出の際に返還すべし。

第廿二條　入場料は金貳錢とす。但五歲未滿の者を無料とす。

第廿三條　瘋癲又は醉狂、其他妨害の虞ありと認むる者は、入場を拒絕し、或は會場外に退去せしむることあるべし。

第廿四條　大形の手荷物を携帶し、又は畜類を牽きて入場することを許さず。

第廿五條　陳列場內に於て、飲食及吸煙することを禁す。

第廿六條　參觀人は本會役員、又は看守人の承諾を得るにあらざれば、列品に手を觸ることを得す。

第廿七條　出品を摸寫し、又は會場を撮影せんと欲する者は、豫じめ本會事務所の許諾を受くべし。

第一號書式　(用紙美濃紙)

第一回全國昆蟲展覽會第(何)部第(何)類出品目錄

何縣何國何郡(市)何町(村)(何團体代表者)

出品人　何　誰

部類	番號	品名	名稱	數量	原價

右は展覽會規則を遵守し出品候也

年月日　右何誰㊞

名和昆蟲研究所宛

第貳號書式（用紙美濃紙）

第一回全國昆蟲展覽會第（何）部第（何）類出品解説

何縣何國何郡（市）何町（村）（何團体代表者）

出品人　何誰

部類	番號	品名	產地	製作地	製作人及考案者の氏名

物質	
製法	
用法	
効能	
褒賞	
審査請求の主眼	

右之通に候也

年月日　右何誰㊞

名和昆蟲研究所宛

（備考）（一）番號は一類毎に記載すべきものとす。（二）目錄は一類毎に別紙に認むべし。（三）參考に供すべき記事あるときは、出品解説に添附すべし。（四）團體の出品に係るものは、必ず其代表者を記入すべし。

第二　昆蟲展覽會役員の選定

是より先、會を組織すべき一要素たる役員の選定に關しては、數回商量を遂げたるが、遂に一月下旬より二月中旬の間に、田中會長は左記の諸氏に、評議員若くは事務委員の囑托を決行しき。

評議員兼事務委員長（岐阜縣書記官）笠井信一　評議員兼事務委員（岐阜縣農學校長）重松達一郎

評議員（岐阜縣視學官）嶺是三郎　評議員兼事務委員（岐阜縣第四課長）柿元一兵

評議員　（岐阜縣農會副會頭）　野呂駿三
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　桑原貫之助
評議員兼事務委員　（岐阜縣技手）　林茂
評議員兼事務委員　（岐阜縣師範學校教諭）　安東伊三二郎
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　大畑市太郎
評議員兼事務委員　（岐阜中學校教諭）　長野菊次郎
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　田中榮助
評議員兼事務委員　（岐阜縣農學校教諭）　小川三策
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　坪井伊助
評議員兼事務委員　（岐阜縣屬）　稻垣知剛
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　名和靖
事務委員　（岐阜縣屬）　村井正元
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　古井由之
事務委員　（岐阜縣屬）　大野勇
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　駒田孫市
事務委員　（岐阜縣屬）　渡邊治右衛門
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　土川誠一
書記　（岐阜縣農會書記）　長屋繁一
評議員兼事務委員　（岐阜縣農會理事）　山田省三郎

次でまた、本會の成立に與れる諸氏、幷びに昆蟲學に關係を有する各專門學者には、顧問として終始盡力せられたしとの囑託書を發送せり、即ち下の如し。（顧問の氏名は發信の順次に據る）

顧問　（全國農事會會長）　前田正名
顧問　（貴族院議員）　子爵　三島彌太郎
顧問　（岐阜縣知事兼縣農會長）　川路利恭
顧問　（理科大學教授）　理學博士　飯島魁
顧問　（理科大學教授）　理學博士　箕作佳吉
顧問　（理科大學教授）　理學博士　渡瀬庄三郎
顧問　（農科大學教授）　理學博士　石川千代松
顧問　（農科大學教授）　理學博士　佐々木忠二郎
顧問　（農科大學教授）　農學博士　玉利喜造
顧問　（高等師範學校教授）　理學博士　丘淺次郎
顧問　（農商務省農事試驗場長）　農學博士　澤野惇
顧問　（農商務省農事試驗場技師）　堀正太郎
顧問　（農商務省農制課長）　農學博士　酒匂常明
顧問　（農商務省農事試驗場技師）　小貫信太郎

顧問（農商務省農事試驗塲技師）堀　健　顧問（日本郵船會社在勤）高階於菟治
顧問（農商務省農事試驗塲技師）小幡健吉　顧問（在北米合衆國）米國理學博士　河内忠二郎
顧問（農商務省農事試驗塲技手）中川久知　顧問（在北米合衆國スタンフォールド大學）桑名伊之吉
顧問（東京音樂學校教授）小山作之助　顧問（在獨逸國伯林大學）松村松年

斯く内部の組織の整備とゝもに、次に起れる問題は、總裁と、審査長の選擇なりしが、結局總裁には夙に實業を奬勵し、及び朝野の間に信望を有せらるゝ花房義質男を戴き、審査長は岐阜縣廳より農商務省に稟申して、適任者の派遣を請ふことゝなせしに、三月廿九日附を以て、農商務省農事試驗塲技師昆蟲部長小貫信太郎氏を派遣すべきの命に接し、また四月十三日には、總裁花房男より開會式に臨むべき旨の確報を得き。然れども他に多くの役員を要するを以て、名和昆蟲研究所員全部を擧げて、各事務に應援をなさしむる事となし、尙ほまた次の如く囑托しぬ。

出納係專務（元岐阜縣屬）加納榮太郎　審査委員（宮城縣第一中學校敎諭）小山内孝九郎
陳列係專務（東京日本美術協會員）篠原惣次郎　審査委員（岐阜縣海津郡農會幹事）安藤登
審査委員（靜岡縣農事試驗塲技手）岡田忠男　審査委員（元山形縣農事試驗塲技手）杉山馨
審査委員（福井縣農學校敎諭）松原朔郎

展覽會規則上の役員は、概むね其人を得たるも、一たび機關の運用に際すれば、實務の處理に、多少の困苦無きを保し難かりしに、恰かも好し、岐阜縣害蟲驅除講習を修業せる左記の諸氏より、事務を補佐し、及び出品説明の任に當らんとの希望ありしを以て、乃はち展覽會世話係の名稱の下に、輪次

後藤村治郎(武儀郡)　　松野春一(本巣郡)
伊藤善三郎(羽島郡)　　佐藤正雄(海津郡)
足立宇七(武儀郡)　　小森省作(揖斐郡)
長屋準一(揖斐郡)　　棚橋善二(稲葉郡)
大橋陣一(羽島郡)　　杉江勝三郎(羽島郡)

交替にその執務を委託せり。

天野秋二(武儀郡)
小野鉄次(稲葉郡)
遠藤熊次郎(揖斐郡)
森島勘次郎(稲葉郡)
後藤宇三郎(稲葉郡)

此等十數名の世話係の半ばは、事故其他のために、僅々二三日の出務に過ぎざりしも、また中には十餘日若くは三十餘日間、晝夜精勤せられしもありて、其勞苦の一方ならざるを思はしめぬ。外に第三回全國害蟲驅除講習を修業せる蓮佛萬吉氏は、遠く鳥取縣八頭郡より來會して、自から此の一員に加はり、前後一週餘日間、頗ぶる盡力する所ありき。

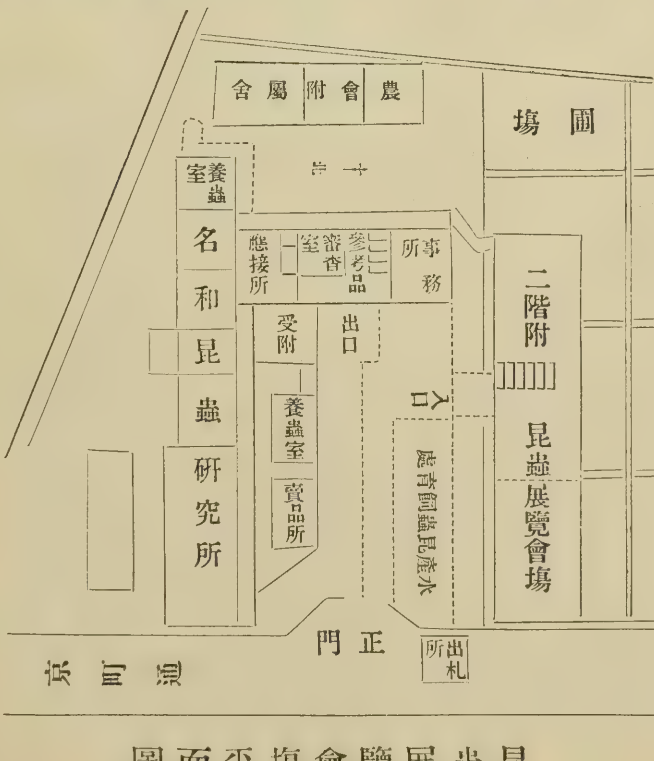
以上叙述の要旨は、たゞ役員選定の件に止まれば、敢て重きを置くに足らざるが如しと雖ども、記事の裏面には、主催名和昆蟲研究所が、當時庶務の敏活を圖り、審査の神聖を保持し、及び出納の正確を期せんが爲には、如何に愼重の態度に出でしかを證し得べきものあり。又役員諸氏協贊の功により、嘗て古今東西に類例無き展覽會を、無事開閉する事を得たれば、茲に之を大書して、芳名を後昆に傳ふるも、强がち無用の業にはあらざる可し。

第三　開會の設備と會場の整理

昆蟲展覽會てふ名稱は、頗ぶる單純なれば、恰かも唯昆蟲類を一場に蒐集して、之を衆人の展覽に供するに止まれるが如しと雖ども、今回の計畫は全たくこれと異なり、その目的は、弘く全國所產の昆蟲を聚收して、其分布區域を知らしめ、兼て製作の優劣より、保存の適否、種類の調查等に至るまで苟くも斯學講明に必須の要件を稽查し、以て科學上の進步を測定すると共に、之が應用に關する諸種の研究に充てしめんとて其出品區域を廣濶にし、各種の昆蟲標本は言はざもがな、其他の器具、書籍等をも皆出陳せしめざるは既述の如し。去れば名は昆蟲の展覽會と云ふと雖ども、實は一種複雜の組織にて、加ふるに展覽會としては、破格とも云ふべき褒賞授與の事ありしが故に、審查に會務に、將た非常の煩雜を來たし、本年一月以降、着々ろが設備に從事せしに拘はらず、開會前日まで尙ほ整理し難きもの多々之れありき。特に未だ經驗なき會を開くことゝて、出品者、執務者ともに不慣の爲め出品の延着、破損、錯誤、訂正等頗ぶる多かりしも、此等幾多の小事故は、遂に間もなく解決せられて會場內外の整理、陳列室の裝飾等に至るまで、盡ごとく豫期の間に終了しき。

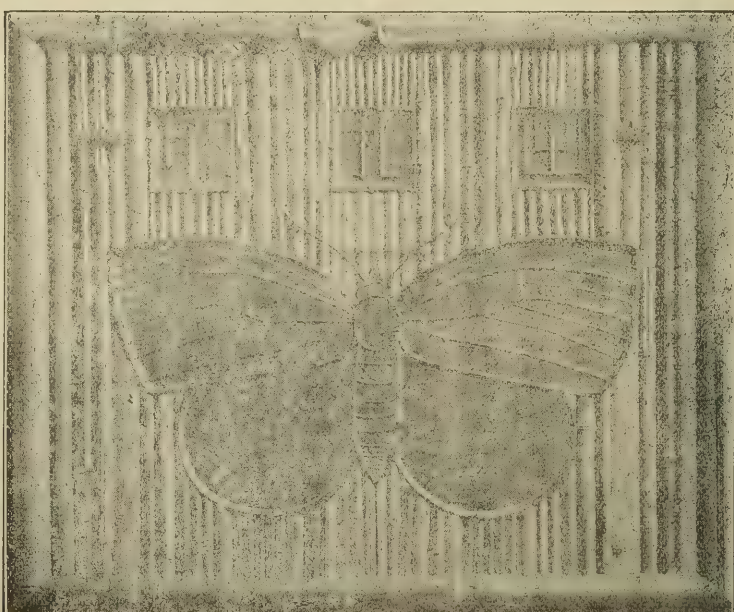
會場ハ岐阜縣農會の建物全部及び名和昆蟲研究所構內の一部を以て之に充て、正門には岐阜蝶の標識を揭け、なほ國旗を交叉し、其下には出札所を設け、(第三版第壹圖)門內の大旗檣よりは、四方に幾條の條綱を通じて、之に內外國產の蟲類を描ける小旗百數十旒を結付け、陳列室の樓上下には隙なく

彩旗彩燈を連ね、又出入の玄關にも國旗と蝶旗とを交叉せり。裝飾は此く質素なりしも、會場の樓上北面に貼附せる螟蟲、蚤、蚊、浮塵子、蝨等の害蟲放大圖は、その南東兩面の名和昆蟲研究所、全國昆蟲展覽會の十四大字とゝもに頗ぶる人目を惹き（第三版第貳第三圖）、門內の水產昆蟲飼育所また、物珍らしげに足を停むる者多かりき。會場入口を右に第一號室に入れば、こゝには器具藥劑及び參考品等ありて、第二號室には書類及び害益蟲標本等を所狹きまでに陳列し、次に樓上の第三號室には蚕の發育摸造型、アセチリン瓦斯捕蟲燈より、分類標本、教育用標本、小學生徒冬季採集の昆蟲標本、裝飾用標本を順序に從ひて陳列し、第四號室に入れば名和昆蟲



昆蟲展覽會場平面圖

研究所所藏の參考品のみを以て、分類、淘汰の狀より諸外國の蟲類をも、一瞥の下に知らしめたり。斯くて樓下の第五號室に移れば、滿室名和昆蟲研究所幷びに諸家の珍藏に係る昆蟲應用の工藝美術品にて充溢し、東西新古の製作品は、端なくも從來昆蟲を念頭に置かざりし觀者を驚殺せしめぬ。斯くて廊下傳へに、事務所の右傍に出づれば、勅使河原合資會社が、特に意匠を凝らして、昆蟲を摸樣化せる紙製品數十點の上下左右に陳列せるありこゝを出づれば養蟲室あり、次には東京其他より供託出品に係る、昆蟲學研究用の書籍器具等の賣店ある等、一たび此場に入る時には觸目聽耳、孰れも皆昆蟲に緣故無きものとてはなかりき。去れば、樓上の天井の如きも、



（これに用ゐたる數十種の竹材は、昆蟲展覽會評議員坪井伊助氏の寄贈に係るもの）

（昆蟲展覽會入場劵出札口）

幾百となき五彩の紙蝶を以て裝飾を加ひ、內部の壁上楣間には、蟲害統計、害蟲驅除修業生統計、生物分類の諸表及び浮塵子圖說等を隈なく貼附して諸人に注意を與へぬ。扱陳列の方法は、規則によりて部類別となし、又更にこれを小分して、尖銳角をなせる屋脊狀の臺上に配列したれば、敎育用標本の多趣味なる、分類標本の齊然たる、裝飾用標本の妍麗なる、害益蟲標本の豐富なる、參考品及び圖畫の淸新なる、各々その特長を知得するの利便ありて、何人にも知らず知ふぞ、斯學の有利有要を知ふしめしに似たり。然し乍ら、未だ普及に缺くる所あるより、蚤の放大摸型の前と、裝飾用標本の邊りには、毎に人の山を築きたるも、分類標本などの區域內には、少數の斯學硏究者の影を留むるに過ぎざりき。人智の程度如何によるとは云へ、斯學のため嘆かはしき至りと謂ふべし。

第四　開會式前後の光景

展覽會の設備全たく成り、將に開會式を擧行せんとするに際し、急かに天候の變調を呈はせるのみか遠隔地よりは出品の未着なるあり、參考品として價値あるもの丶猶ほ調製の央ばある等、多少の障害無きにあらざりしも、豫期の如く、四月十六日午前七時半、轟然たる數發の烟花を合圖に、式を岐阜縣立岐阜中學構內の假講堂に擧げぬ。列席者は、各官衙の高等官、岐阜縣下の有力者、遠近の敎育者

操觚者及び本會の關係者等、無慮百數十名なりしが、各員の整列するや事務委員長笠井信一氏の先導により、總裁花房男爵の臨席あり。是に於て事務委員長は出品目錄を總裁に呈し、會長田中芳男氏は式辭を朗讀せり、左の如し。

近年昆蟲學の發達に伴はれ、其研究と其應用とに於ても漸く進歩の徵ありと雖も、其成績の如きは尙區々にして世の利用を成すに至らざるもの多し。就中、農業園藝森林に於ける害蟲の如きは、國家の消長に關し、殊に貿易上少なからざる影響を及ぼすを以て、之が豫防驅除の方法を考究するは目下の一大急務なりとす。名和昆蟲研究所茲に觀る所あり、第一回全國昆蟲展覽會開設を企圖せるは、昨三十三年三月三日なりき。爾來全國有志者の賛成する所となり、特に本縣に於ては縣稅より補助せらるゝ所あるのみならず、大に官民の翼賛を得て、その便益する事項頗る多きにより、豫期の如く本日を以て開會するに至れるは、本會に於て深く謝する所なり、而して其出品人員の中には、多くの團躰ありて、其出品の如きも頗る觀るべきものあり。今其出品の總數を擧ぐれば、出品人員百有三十名、出品點數五百八十個にして、其昆蟲の數は凡拾六萬頭以上に達せり。此他尙參考出品を數ふるときは、數萬個の昆蟲標本及害蟲驅除豫防採集製作保存の器具藥品幷に各種應用物品書籍圖畫摸形寫眞等數千點の多きあり以て觀覽者をして昆蟲分布區域を知らしむべきは勿論、工業の摸範に供用せしむべきは蓋し疑を容れず。本日開場に際し花房總裁閣下の臨場を辱ふし、尙本縣知事閣下を始め、各賓參列の榮を得たるは、本會に於て最も滿足する所なり。茲に顚末を述べて開場の式辭とす。

明治三十四年四月十六日

全國昆蟲展覽會長　從三位勳二等　田中芳男

右畢るや、花房總裁は立て、左の式辭を朗讀せられぬ。

名和昆蟲研究所の主催に係る、全國昆蟲展覽會出品の陳列成るを以て、本日茲に開場の式を擧くるに至れるは、本員の最も悅ぶ所なり。抑も昆蟲は微細の動物たるに過ぎずと雖も、其害を逞ふするに及べは實に國家の一大難事たるを以て、全國の官民共同

戮力、之が驅除防禦に從事するにあらざれば、容易に其功を奏する能はざるにより、昆蟲學の思想を養成するは目下の要務なるべし。今此會を以て直に其害源を除く能はずと雖も、大に上下一般を鼓動せしめ、併て斯學の發達を促すべきを信ず。而して其出品の優劣の判定は之を他日審査の結了に待たん。

明治三十四年四月十六日

全國昆蟲展覽會總裁　正三位勲一等男爵　花房義質

次に、來賓たる川路岐阜縣知事は、左の祝詞を朗讀しぬ。

本日を卜して第一回全國昆蟲展覽會開會の式を擧行せられ、利恭亦盛典に列するの榮を得たり。抑も農産物の蟲害に罹るもの連年之れ有り、國力の消長從て亦之れに繫る。於茲乎、昆蟲の研究は國家生存の條件たり。名和昆蟲研究所こゝに見るあり、國を擧て志を昆蟲の研究に注がしめんとし、特に本會を催す、募りに應ずる者東西心を同うし、南北相競へり、斯道に篤き者をして益篤からしめ、學はざる者亦感奮す、洵に是空前の事業なり、豈祝賀せずして可ならんや。聊か蕪辭を述て祝詞とす。

明治三十四年四月十六日

岐阜縣知事　從五位勲五等　川路利恭

次に岐阜日々新聞社員仙石保吉氏の演説あり、次に出品人總代の答辭ありき、左の如し。

維時、明治三十四年四月十六日、第一回全國昆蟲展覽會設備全く成を告け、茲に總裁閣下親しく臨みて開會の盛典を擧けらる。惟ふに我國維新以降、各處に開設せられたる展覽博覽共進の諸會を算し來れば、殆と屈指に勝へざるも、其冠するに昆蟲の二字を以てするものに至りては、蓋し名和昆蟲研究所の主催に係る本會を以て之か嚆矢とすべし。啻り我國に於てのみ然るにあらず斯學の先進地たる歐米諸洲に在りて、尙且未た其企畫あるを知らざるなり、盛なりと謂ふべし。不肖尊義等、幸に此無前の壯擧たる展覽會開場の末班に列し、剰へ總裁會長兩閣下及來賓諸彥の高諭を辱ふするの榮を擔ふ、感荷何んぞ之に如かん。將來益斯學を攻究し、以て今日に酬ゆる所あらんとす。謹て答辭を述ふ。

明治三十四年四月十六日

第一回全國昆蟲展覽會出品人物代　岐阜縣海津郡昆蟲研究會代表者　大橋尊義

これにて式を畢へたれば、列席者一同を出品陳列場に導びきて其巡覽を乞ひ、更に別室に於て茶菓を饗應しき。軈て午前九時半よりは、朝來、門外に群集せる一般公衆の觀覽を許しゝに、恰かも東海農區五縣聯合物産共進會開會の盛式擧行の當日たるに似ず、尚ほ五百餘名の入場者を算へきと。扨この後は逐日整頓を告げ、且來觀者さへ著るしく其數を增しされば、遂に一日四千人の多數に上り、之が爲めに場内非常の雜沓を感じて、學術研究者を失望せしめたる事も往々にして多かり。

第五　出品物の審査方法

既記を經たるが如く、凡そ昆蟲標本及び之に附屬の出品物に對する審査規程は、未だ世に之あるを知らず。然れば、如何なる條項の下に之を規定すべきやは、豫じめ深慮を費やすべき要件なるに加へて或方面の希望により、今回の制定規程をば、遠からず大阪市に開設の、第五回內國勸業博覽會出品に適應せしむるやう、稍高程度に編制せざる可らざれば、其苦辛は輕易にあらざりしも、結局農商務省より特派の審査長小貫信太郎氏が、內外諸會の審査規程を斟酌編制せる、折衷艸案を基礎となし、更にこれに、田中會長及び主催名和昆蟲研究所長名和靖氏の意見を加ひ、斯くして討議協量を經たる修正案を、其標準に充つることゝなし、乃はち第一部第一類以下の各部類に就て、其正條と細則とを各別に作爲せり。是を以て、一審査規程制定のためにも意外に多くの日子を要し、その公然審査室を開

始せしは、實に四月の下旬なりき。併し乍ら、斯く初めに其基礎の牢固を期したる賜ものとして、中途に著るしき支障もなく、この區域の廣濶ょ、且點數の夥多なる出品ょ對し、僅々二旬内外を以て、精檢細査を加ふることを得たるなりと云ふ。今參考として、これが正條のみを下に掲ぐべし。

第壹部第壹類（分類標本）

（一）昆蟲分類の當否を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（二）製作保存の良否を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（三）種類及頭數の多寡に加算し、これに規定範圍内の點數を附す。
（四）排列の適否を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（五）特別點。（團體と私人の別又は功勞の有無等。）

第壹部第貳類（害蟲標本）

（一）發生經過に於ける各變態標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（二）製作保存の良否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（三）排列の適否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（四）食肉蟲、寄生蟲、寄生菌等添加の有無を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（五）種類及頭數の多寡に加算し、これに規定範圍内の點數を附す。
（六）調査點。（細則に準據して、これに規定範圍内の點數を附す。）
（七）特別點。（團體と私人の別又は功勞の有無等。）

第壹部第三類（益蟲標本）

（一）發生經過に於ける各時期標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（二）製作保存の良否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（三）排列の適否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
（四）種類及頭數の多寡に加算し、これに規定範圍内の點數を附す。
（五）調査點。（細則に準據して、これに規定範圍内の點數を附す。）
（六）特別點。（團體と私人の別又は功勞の有無等。）

第壹部第四類（敎育用標本）

（一）普通獲易き種類を蒐集し、且加ふるに、其科若くは目の全躰を識別せしむべき標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（二）擬似態、雌雄淘汰、變態其他の主要部の剖判に資すべき標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（三）製作保存の良否を鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（四）排列の適否を鑑別し、これに規定內の點數を附す。

（五）敎育上の程度に適するや否や又は授業の際に利便を與ふるや無きやを鑑別し、之に規定範圍內の點數を附す。

（六）調査點。（細則に準據して、規定範圍內の點數を附す。）

（七）特別點。（國體と私人の別又は功勞の有無等。）

第一部第五類（裝飾用標本）

（一）裝飾用に供し得べき意匠、其他の諸要素を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（二）製作保存の良否を鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（三）裝飾以外の考案をも、併有するや否やを鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

第二部第一類の一（驅蟲用器械）

（一）驅蟲の目的に適合するや否やを鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（二）實質精良、構造堅固にして、實用に適するや否やを鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（三）製造及使用法の難易、價額の高低を鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（四）發明摸造の別及改良の有無を鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

第二部第一類の二（製作及保存用器）

（一）製式の當否を鑑別して、これに規定範圍內の點數を附す。

（二）製作の巧拙强弱、價額の高低及實用の適否を鑑別して、これに規定範圍內の點數を附す。

（三）舊器に比較して、改良の有無を鑑別し、これに規定範圍內の點數を附す。

（四）特別點。（國體と私人の別又は功勞の有無。）

編者云ふ。この審査規程は、會務繁忙の際に脫稿し及び商量を遂げたる故にや、其後に至り、實驗上、四五の加除すべき條項を撿出せしのみか、妥當を欽ける文字の滿紙累々、嘗て審査に與からぬ讀者には、殆んど了解し難かる可く思はるゝ節も

多かりしより、今回これに訂正を加へり。然は云へ、其眼目に至りては、一も變更を來せし所あらじ。念のため、茲に其事由を附記す。

この高度の審査規程と、緻密なる細則の確定發表を竢ちて、小貫審査長の監督の下に、各審査委員は日夜その事務に鞅掌し、常に嚴直の態度を取りて、其公平なる審按を下すに勉め、次月の上旬に至りて、全たく之を完結しき。然かも合評附點の法に據りしを以て、此間に審査通弊の少なきに反し、事務の進捗は、誠に滿足すべきものある事を知らしめぬ。さばれ猶ほ誤謬遺漏の無からん事を望むの餘り、小貫審査長の手によりて之に再審を施こし、更に附點箋を本として等級を編次し、後始めて確定原簿に登錄せしが故に、小貫審査長の此前後に消費せる日數は、實に二十餘日に餘れり、以て其難易を察すべきなり。但將來、改良發達の望みある或出品に對し、其未だ十全ならざる日に、輕々しく價値を定むる時は、徒らに其大成を妨たげ、其信用を失墜せしむべきを慮はかり、特に保護奬勵の意を以て、すべて之が擬賞を避けたるは事實なりきと。

第六　褒賞授與式の擧行

各出品に對する審査は、豫定期間に全部終結を告げたりと雖ども、百務繁劇の際に、賞狀の淨書、賞品の調製に從事したらんには、錯亂混雜、殆んど名狀すべからざるものあらんに、田中會長多年の經驗により、賞狀に代ふるに授賞者一覽と題する活版印刷物を以てし、賞品に代ふるに目錄を以てせし

かば、幸ひに全力を褒賞授與式の準備に注ぐ事を得たりき。斯くて五月十二日を迎ふるや、午後一時半といふに、此名譽ある式典をば、岐阜縣會舊議事堂に擧げぬ。其式の順序をいへば、先づ歡迎の奏樂につれて(一)一同着席するや(二)事務委員長の先導により、總裁の臨場あり(三)「君代の曲」の奏樂の後に、事務委員長開會を報ぞれば(四)審査長ハ進みて審査の概況を申告し、併せて褒賞の授與を禀請す(五)次に總裁は式辭を朗讀し、且褒賞を授與す(賞品は會長之を授與せり)畢りて奏樂あり(七)此時會長は、更に功賞賞及び追賞の授與を禀請し、次でその褒賞薦告文を朗讀すれば(八)總裁は手づから、これに賞狀と賞品を倂せ授與す(九)次に各來賓の祝詞(十)次には受賞者總代の答辭と云ふ定めなりしが、折しも花房總裁には、公務上臨場なし能はざるの故を以て、急かに本會顧問川路利恭氏に之が代理の事を委ねたりしかば、すなはち代りて其式に臨まれぬ。是に於て、小貫審査長は環視傾聽の裏に、肅然として左の申告書を朗讀し、且その授賞を請へり。

名和昆蟲研究所の主催に係る、第一回全國昆蟲展覽會出品の審査結了し、爰に褒賞授與の式を擧げらる。

抑も本會の出品は、昆蟲學及之が應用に關する各種の要素を包有し、昆蟲標本、製作用器具、驅除機械及藥劑より、事業の成績等に及び、出品總數は六百七十三個にして、其區域の跨かる所、北は青森、岩手より、南は九州を超えて遙に沖繩、臺灣に達し都て三府二十一縣を算せり。但し爾餘出品を奬勵の結果として、其人員は百四拾三名に止れりと雖も、昆蟲展覽會の始元としては、亦盛なりと謂ふべし、特に昆蟲の分布を調査するに方り、其利する所、決して尠少にあらざるを知るなり。

然れども、我國に於ける斯學の發達は程度尙低く、隨て斯學に關する智識の普及は、今後數年の經營に竢たざる可からざるが故に、今回の出品に對し固より完全を望むこと能はず。是れ啻り斯學に於てのみ然るにあらず、凡そ創始に屬する百般の事業に免

ろべからざる通患にして、將來の進歩の上より言ふときは、反つて頗る有望の餘地を存するものと謂ふべきなり。是を以て審査の如きも、高度の標準に據り、細緻の項目に照し、嚴密公正、敢て假借する所なからしめたり。

今各種の出品に就き概評を下さんに。第一部分類標本は、出品點數尤も多く、比較的見るべきものありと雖も、概れ類目を示すに止まり、其科屬種別及學名の調査に至りては、寥乎殆ど數ふるに足らす、偶々數目を區分せるものと雖も、また多少の誤脱なきにあらず。

害蟲標本は、各蟲の變態經過は勿論、被害作物、寄生蟲、黴菌等を添加せしもの極めて少なく、或は二三の蝶蛾を排列して、徒らに其名稱を冠せしめたるもあり、以て其不完備の一斑を測知すべし。

益蟲標本は、之を害蟲標本に比較して點數少なし、而して其優劣に至りては、敢て軒輊なるを見す。

教育用標本は、學科程度に副はざるもの多く、是亦完全の域を距ること尙遼遠の感あり。

裝飾用標本は、點數特に多く、且百事細心以て製作せられたるやの痕跡を留む。往々巨大美麗のものあるか爲に、頗る人目を惹くに足れりと雖も、昆蟲を裝飾の用に供するは、寧ろ末技に屬し、好事に走りて實用を缺くの憾なきにあらず、將來注意あらんとを望む。而して其製作保存及排列の諸點に於ては、奇巧のもの無きにしもあらざるも要するに未だ全に大成の域に入り難し。

其他、保存箱の不完全、藥劑の空乏及製作の不良より、蟲躰の缺損せしもの少なからす、就中排列に至りては、好奇却て卑野に陷り、學術上の本旨を誤れるもの少なからす、是れ最も鑒戒を加ふべき一要項なりと信ず。但小學校生徒の製作品に至りては、其製作及學術上の評價は、暫く之を措き、斯學普及の點に於て、洵に悅ふへきの現象なりとす。

第二部驅除、製作用の器具機械及藥劑等に至りては、出品點數少なく、又改良進歩の顯著なるもの多からす、是れ頗る遺憾とする所なり。然れども、進歩の端緖を示せるもの亦少しとせず、益々當業者の奮勵を望む。

今全般を通觀するに、本會に出陳せし所のもの、皆未た幼稚の域を脫せずと雖も、其出品區域の廣濶なる、其種類の夥多なる、蓋し斯學研究上裨益する所、偉大なるべしと信す。

上述の如く、出品の種類頗る多く、且加ふるに範圍亦廣大なるを以て、之か優劣を判定するは蓋し至難に屬す、幸に審査委員諸

氏が夙夜精勵の功に依り、期定の日子間に審査を完了し、優等者六十九名を撰拔して、既に總裁閣下の裁可を經たり。爰に審査の概要を述べ、併て褒賞の授與を申請す。

明治三十四年五月十二日　第一回全國昆蟲展覽會審査長　農商務省農事試驗場技師正七位　小貫信太郎

依りて總裁代理は、左の式辭を朗讀の後、笠井事務委員長の讀上げたる別項列記の授賞者に對し、一等賞より、順次賞狀を各別に之を授與し、四等賞狀は一括して其總代に交付しぬ。

第一回全國昆蟲展覽會出品の審査終了を告げ、本日を以て褒賞授與の典を行ふ。惟ふに昆蟲學のものたる、之を立國の本源たる農桑業に施せば、以て民生を利すべく、之を科學の上より攻究すれば、以て智嚢啓發の料に資すべきの必要ありと雖も、現時本邦に於ける斯學の狀蹟は、尙ほ未だ幼稚の範圍を脫せざるが故に、之を今回の出品に徵するも、其製作、陳列、應用の諸點より分布區域、種類調査の事項に至るまで、共に十全を得たりと謂ふ能はず、是れ余が聊か遺憾とする所なり。
然れども、諸子既に東西未だ曾て前例なきの此事業を翼賛し、爰に斯學の基礎を作爲せり。今後益々協戮研鑽、各々其志ざす所に從ひて、一意之が振興に精勵せば、邦家の慶福を增進し、併て斯學の大成を期するに難からざるべし。諸子それ焉を勉めよ。

明治三十四年五月十二日　第一回全國昆蟲展覽會總裁　正三位勳一等男爵　花房義質

右終りて奏樂あり。次に田中會長より左の如き、功勞賞及び追賞授與の禀請あり。

第一回全國昆蟲展覽會則第二條に規定せる、第一部及第二部の出品中、其優良に位するものは、既に審査員諸氏の精檢審議を經て、審査長の決裁申告に依り、各々褒賞を授與せられたりと雖も、尙ほ他に會則第十一條に該當すへき者あるを以て、明治以降昆蟲學に盡瘁し、功勞最も顯著と思料すべき者五名を推薦し、是亦同しく總裁閣下の裁可を得たり。
顧ふに、此等功勞者中には、其職責に對する功課を加算せしもの無きにあらさるも、由來、本邦に於ける昆蟲學は、其萌孽を明治の初年に發現せしを以て、此創始の時代に際り、能く農桑業の有害蟲を驅防して經世濟民の策を講し、能く斯學の啓發扶植に

勉めて今日の境域に達せしめたるの功績は、强ちに之を職務の有無にのみ歸することは能はざるのみならず、當年示導實行の迹を追懷すれば、其酸辛決して今日の比にあらざるを知る、乃ち此等諸氏の熱誠忠實は、大に之を顯彰すべき價値ありと定し、先づ之を本會審査長に諮ひ、次て評議員の內議に詢り、各々其同意を得たるを以て、爰に功勞賞及追賞を擬せり、希くは賠賞あらんことを、謹んて禀請す。

明治三十四年五月十二日

全國昆蟲展覽會長從三位勳二等　田中芳男

是に於て事務委員長は受賞者を呼上げ、受賞者の總裁の面前に進むを俟ちて、會長は一々功勞賞若くは追賞の薦告文を朗讀し、總裁は順次これに賞狀及び賞品を授與せり。即はち下に特書するが如し。

東京府　鳴門義民氏

夙に、昆蟲學を攻究し、明治十年以降、卒先農作害蟲驅除の衝に當り、遂に螟蟲驅防法を案出して之か實施に盡瘁し、又公務の餘暇、害蟲書を編述して、斯學の鼓吹啓導に從事する等、功勞尠なからす、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、玆に其名譽を表彰す。

東京府　正六位勳六等　練木喜三氏

夙に、動物學を修め、特に應用昆蟲學の伸暢を期し、明治十年以降、專ら意を農作害蟲の驅防に注き、後進の啓誘に努め、農家の示導に任し、又公務の餘暇、各種の害蟲圖解を編述して、斯學思想の普及を圖る等、功勞尠なからず、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、玆に其名譽を表彰す。

佐賀縣　正七位　小野孫三郎氏

夙に、應用昆蟲學を修め、明治十三年以來、各地に發生せる飛蝗及果樹害蟲等の驅防に拮据鞅掌し又公務の餘暇、重要植物害蟲新説を開版して、農家の闡示啓導に資する等、功勞尠からす、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

愛知縣　岡田虎二郎氏

夙に、農作害蟲驅除の忽諸に附すへからさるを唱道し、屢次、各地に歷巡して深く警戒を加へ、後又螟蟲卵塊摘採法を案出して、農事上に利便を與へたる等、功勞尠からす、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

長野縣　(故)清水三男熊氏

夙に、本邦農作の蟲害に罹るもの多きを憂ひ、昆蟲學を修めて、利世安民の途を講し、又蠁蛆の爲めに、逐年蠶業の衰退するを慨き、遂に蠁蛆聚收の便法を案出する等、功勞尠からす、仍て本會規則第十一條に據り、追賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

次に、岐阜縣農會長川路利恭氏の祝詞(副會長野呂駿三氏代讀)あり、左の如し。

第一回全國昆蟲展覽會は、今や其出品の審査を畢り、茲に本日を卜し、褒賞授與の式を擧行せらる、豈夫れ祝意を表せざるべけんや。顧ふに國力の充實を謀らんと欲せば、生産物の發達を努めざるべからず、而して害蟲の驅除豫防と、益蟲の保護增殖とは、農產物の發達上、利害の關はる所頗る大なり、若し其措置宜しきを得ずして、一朝蟲害に罹らんか、忽ち巨萬の財を失ふの虞あり、故に昆蟲の研究は、農產物の增進を圖る上に於て、一日も忽にすべからず。是を以て、名和昆蟲研究所主催となり、第一回

全國昆蟲展覽會を開設せられたるは、斯業に裨益すること少なからざるを信ず、是實に國家の慶事にして、抑も亦本會の爲めに深く喜ぶ所なり。聊一言を陳べて祝辭とす。

明治三十四年五月十二日　岐阜縣農會長　川路利恭

次に、濃飛日報主筆原眞澄氏の祝辭あり。各地より寄來れる祝文祝電の披露あり。次ぎ授賞者總代の答辭ありしが左の如し。

爰に本日を以て、第一回全國昆蟲展覽會褒賞授與式を擧行せらるゝに當り、朝野貴紳の來臨を辱ふし、特に總裁閣下の高諭を賜はる、某等の光榮何ものか之に過ぎん。夫れ本會は名和昆蟲研究所の獨力經營に成り、名は則ち私立と云ふと雖も、事は則ち國家的に屬し、且加ふるに東西未た其類例なきの壯擧に屬するを以て、之か設備の困難、固より他の諸會と同じからざるものあり而して今や此盛會を見る所以のものは、抑も總裁、會長兩閣下を始め、本會の機務に參與せる諸彦の誘掖薫策、其宜しきを得たるの功に歸せずんばあらず。たゞ某等の斯學に冷薄なる、未だ優良の成績を出陳し、以て國家の萬一を裨補するに至らざるを愧づるのみ。某等今日を以て足れりとせず、益斯學の爲に微力を致し、敢て閣下の懇詞に副はんことを期すべし。謹て答辭を呈す。

明治三十四年五月十二日　第一回全國昆蟲展覽會受賞者總代　岐阜縣揖斐郡昆蟲研究會

祝電祝文寄贈人名

農商務省農事試驗場	中川久知	山梨縣甲府市	山梨昆蟲研究會	宮城縣名取郡	名取昆蟲研究會
岐阜縣大垣町	金森吉次郎	島根縣松江市	田中房太郎	宮城縣仙臺市	小山內孝九郎
東京府東京市	池田謙藏	山梨縣東八代郡	八田達也	山形縣飽海郡松嶺町	齋藤朝之助
大分縣下毛郡西谷村	白木一策	愛媛縣新居郡泉川村	山內幹衛	鳥取縣岩美郡中鄉村	宮脇松太郎
青森縣青森市	柏原彥太郎	京都府船井郡上和知	野間貞三郎	石川縣石川郡安原村	高多信久
千葉縣安房郡鴨川	腰越由松	兵庫縣農事試驗場	小野孫三郎	京都府船井郡	[illegible]蠶絲同業組合

此日式場に列席せしは、東海農區聯合縣の各高等官、國會議員、農商務省高等官、東海農區聯合物產



全國昆蟲展覽會功勞賞受賞者
練木喜三君

共進會の審査長及び審査官、官縣立學校職員、縣會議員、新聞記者、縣農會役員各農事試驗場技師、地方有力者、本會役員、出品人及び受賞者等ありしかば、無算二百數十名に上り、私會としては、最と盛大に嚴肅なりしが、午後二時半を以て、全たく式を終了し、劉喨たる奏樂を以て隨意散會を報じ、來賓に對しては、茶菓の饗應、紀念品の贈呈等ありき。

○壹等賞（銀杯壹個）貳名

分類標本	岐阜縣	揖斐郡昆蟲研究會
害蟲標本	山形縣	飽海郡昆蟲研究會

○貳等賞（木杯壹組）拾名

分類標本	愛知縣南設樂郡新城町	松崎種次郎
同上	岐阜縣	海津郡昆蟲研究會
分類標本	三重縣	阿山郡與農會
同上	岐阜縣	稻葉郡昆蟲研究會
害蟲標本	岐阜縣	揖斐郡昆蟲研究會
同上	岐阜縣	可兒郡害蟲驅除講習修業生
同上	岐阜縣	羽島郡農會
益蟲標本	岐阜縣	海津郡昆蟲研究會
同上	山形縣	飽海郡昆蟲研究會
教育用標本	岐阜縣	本巣郡昆蟲研究會第六部落

○參等賞（木杯壹個）二十二名

分類標本　岐阜縣　恵那郡教育會
同　上　愛知縣　渥美郡昆蟲研究會
同　上　岐阜縣　安八郡農會、安八郡昆蟲研究會
同　上　岐阜縣　武儀郡害蟲驅除講習修業生
同　上　岩手縣膽澤郡水澤町　下飯坂武次郎
同　上　岐阜縣師範學校第二年級生徒有志者
同　上　岡山縣　邑久郡昆蟲研究會
害蟲標本　愛知縣南設樂郡新城町　松崎種次郎
同　上　岐阜縣　稲葉郡昆蟲研究會
同　上　愛知縣　中島郡農友會
同　上　岐阜縣　本巣郡昆蟲研究會害蟲驅除講習修業生
同　上　靜岡縣濱名郡　白須賀町農會
益蟲標本　愛知縣南設樂郡新城町　松崎種次郎
同　上　靜岡縣濱名郡　白須町農會
同　上　宮城縣志田郡　志田郡昆蟲研究會
教育用標本　岐阜縣羽島郡　松倉小學校長津屋基
同　上　岐阜縣　恵那郡教育會
裝飾用標本　岐阜縣安八郡大垣町　森宇多司
裝飾用標本　岐阜縣　海津郡昆蟲研究會
同　上　岐阜縣　羽島郡農會
同　上　岐阜縣　稲葉郡昆蟲研究會
同　上　岐阜縣　山縣郡昆蟲研究會

○四等賞（褒狀）三十名

分類標本　岐阜縣羽島郡　岩越金次郎
同　上　岐阜縣　本巣郡昆蟲研究會第五部落
同　上　三重縣志摩郡鵜方村　大矢圓三郎
同　上　岐阜縣　加茂郡昆蟲研究會第五支會
同　上　三重縣桑名郡七取村　伊東照代
同　上　岐阜縣羽島郡　松倉小學校長津屋基
同　上　三重縣三重郡大矢知村　後藤幸吉
同　上　岐阜縣　吉城郡農會員後藤三喜藏
同　上　京都府與謝郡　丹後昆蟲研究會
同　上　宮城縣名取郡　名取昆蟲研究會
害蟲標本　岐阜縣　海津郡昆蟲研究會
同　上　大阪府中河内郡玉川村　藤戸作治郎
同　上　岐阜縣　不破郡農事昆蟲研究會
同　上　奈良縣　生駒郡農事試驗場長中野末喜

害蟲標本	富山縣射水郡片口村	江尻豐太郎
同　上	臺灣臺南縣	中村長治
同　上	山形縣東置賜郡屋代村	高橋淸兵衛
益蟲標本	香川縣香川郡農事試驗場	福家梅太郎
同　上	富山縣射水郡片口村	江尻豐太郎
同　上	岐阜縣	羽島郡農會
教育用標本	岐阜縣	加茂郡昆蟲研究會第五支會
同　上	岐阜縣	本巣郡昆蟲研究會第四部落
同　上	愛知縣	渥美郡昆蟲研究會
裝飾用標本	岐阜縣羽島郡	松倉小學校長津屋基
同　上	岐阜縣	不破郡農事昆蟲研究會
同　上	岐阜縣	土岐郡昆蟲學會
裝飾用標本	岐阜縣	本巣郡昆蟲研究會第六部落
苗代用捕蟲器	三重縣	阿山郡興農會
牛圓形捕蟲器	愛知縣渥美郡細谷村	村田照二
直翅類展翅板	岐阜縣郡上郡八幡町	塩田健藏、西原衷恭

○三等賞（木杯壹個）二名

冬季採集昆蟲標本	岐阜縣揖斐郡	溫知尋常高等小學校
同　上	岐阜縣安八郡	大藪尋常高等小學校

○四等賞（褒狀）三名

冬季採集昆蟲標本	岐阜縣羽島郡	竹鼻尋常高等小學校
同　上	岐阜縣揖斐郡	鶯尋常小學校
同　上	岐阜縣加茂郡	八百津尋常高等小學校

右記の受賞者を、更に府縣別及び等別として、表出する時は、次きの如き結果となる。但し出品府縣別は、末章にこれを細示す。

○授賞縣別表

府縣	賞數	府縣	賞數	府縣	賞數	府縣	賞數	府縣	賞數
岐阜縣	四一	愛知縣	七	三重縣	五	山形縣	三	靜岡縣	二
宮城縣	二	富山縣	二	岩手縣	一	岡山縣	一	京都府	一
大坂府	一	奈良縣	一	香川縣	一	臺南縣	一	合計	六九

○授賞等級別表

類別	一等	二等	三等	四等	計
分類標本	一	四	七	一〇	二二
害蟲標本	一	三	五	七	一六
益蟲標本	—	二	三	三	八
教育用標本	—	一	二	三	六
裝飾用標本	—	—	五	四	九
器械	—	—	—	三	三
冬季採集品	—	—	二	三	五
合計	二	一〇	二四	三三	六九

第七　閉會式と會場の閉鎖

褒賞授與式擧行後の第三日に當る五月十五日は、實にこれ本會の最終を宣告して、長へに昆蟲學史上に特書せらるべき紀念日なりしかば、乃はち午後三時を以て、閉會の式典を岐阜縣會舊議事堂に擧げぬ。參集の人員こそ少なけれ、そが大體は、閉會式の順序の如くにて、奏樂を以て開閉を報ずることゝなしたるが、同じ四時には全たく散會を告げたりき。其次第を摘記すれば、劈頭に笠井事務委員長の閉會申請書の朗讀あり、其辭にいはく。

全國昆蟲展覽會は、名和昆蟲研究所の經營を以て、之を斯學思想の幼稚なる本邦に開催せしものなるが故に、其施設齊整を缺き、其規摸壯宏を極めずと雖も、而かも時の今古を問はず、海の內外を通し、未た前例なきの企畫に出て、其出品總數は六百七

十三個、昆蟲總數は十六萬に餘り、更に他に參考品としては、斯學に關係を有するもの幾千點の多きを算し、褒賞授與の榮を荷へる者六十九人に及へり。而して縱覽總人員は、遙かに五萬の上に達し、中に優待者八十八人、特待者九百三十人、小學生徒約一萬餘の觀覽あり。特に注目すへきは、北海道、琉球、臺灣及海外よりの來觀者また少なからざりし一事とす。是に因りて之を觀れば、既往三旬の會期間に、其世を利し、人を益せるの功は、決して尠少にあらざるを知るなり、蓋し本會開設の目的を貫通するに殆からん歟。爰に經過の梗概を陳述し、併せて閉會の式を擧けられんことを申請す。

明治三十四年五月十五日

全國昆蟲展覽會事務委員長從六位　笠井信一

右の申請に對して、田中會長は、徐ろに左の閉會式辭を朗讀せられぬ。

本會開會以來、幸に失態違算なく、本日を以て閉會式を擧くるに至れるは、一に各員和協奮勵の功と謂はさる可らす。是れ余か特に悦ふ所なり。惟ふに、本會の冥々裏に科學實業兩者を融和し、國利民福を圖れるの成績に至りては、未た遽かに之を知るに由なきも、其從來之を輕視せる者を警醒して、昆蟲と國家の關係を悟らしめ、又上下の注意を惹起して、斯學研究の必要を感せしめたる結果、近き將來に一生面を開くへき導火線となりしは、余か斷して疑はさる所なり。而して此間に立て、之か發展應用を講究し、本會開催の目的を成就せしむる者は、それ應に出品人諸氏の責務なるべし。茲に閉會を命するに臨み、所見を陳へて式辭となす。

明治三十四年五月十五日

全國昆蟲展覽會會長從三位勳二等　田中芳男

次に、川路岐阜縣知事並びに岐阜日々新聞社員仙石保吉氏の祝詞演說あり。次よ、出品人總代は下の如き答辭ありき。

茲に、第一回全國昆蟲展覽會を圓滿無事の間に經過し、光輝ある閉會式を擧行するに際り、朝野貴紳の臨場を辱ふし、且つ優渥なる訓諭を賜はる、感謝何そ堪へん。謹て按ふに、近來昆蟲學の聲價頓に高まりしより、或は之を學術的に、或は之を經濟的に

攻究する者、著しく增加したりと雖も、惜むらくは、之か進歩を測度すへき試金石なかりしに、名和昆蟲研究所の首唱盡力に依り、今回の盛擧を見るに至れるは、不肖秋二等の寔とに國家の爲に慶賀する所なり。終りに、本會を吾か岐阜縣に開催せられたるは、秋二等の榮譽とする所にして、また當局諸彦の日夕會務に鞅掌せられたるの功勞は、特に感謝已まざる所なり。今や此盛典に列し、衆員に代り、蕪言を陳へて答辭となす。

明治三十四年五月十五日

出品人總代　岐阜縣武儀郡　天野秋二

出品人總代の答辭を以て式を畢へ、參列員一同を別席に請じて茶菓の饗應ありしが、その評議員、事務委員諸氏が、始終斡旋の勞に當られし事は、肯て前回と異なる事なかりき。

第八　昆蟲展覽會開場中の雜件

全國昆蟲展覽會三旬の開期は、決して短しと云ふ可べからず、宜矣、此間に起れる雜事要件また一にして足らざるや。今其中に就きて、數者を摘錄せんに。（第一）徽章は之を總裁、會長、顧問、評議員、事務委員、審查委員、普通用等の數種に區別し、岐阜縣土岐郡陶器學校にて製作の彩色燒附岐阜蝶に紫白赤紅黃色の飾房を垂下せしものを用ゐたるが、外に新聞記者用としては、結蝶に絹房を附したる者をも調製しき。（第二）通劵は優待、特待、通常及學生用の四種となし、通常劵のみを規則によりて發售する事としたるも、休日と學生とには其價を半減して成るべく觀覽の便を與へき。（第三）開會前にも、各地の有志より金品を寄贈（機關雜誌『昆蟲世界』第五卷參看）する者ありしが、なほ開會中には

岐阜縣大垣町西濃印刷株式會社、岐阜市濃陽館及び蟲屋旅店等は、煙火、音樂隊及び紅燈等を寄附し、岐阜市泉善七氏は蚤の摸型の製作に從事して、頗ぶる苦心する所あり。田中會長は、都合三ヶ月間堪能の事務員一名を撰擇して、本會に附屬せしめられぬ。其の厚意共ょ多とすべし。(第四)來觀人中、學者として當世に推重せらるゝ人士の多かりしは、本會の最とも榮譽とする所なりしが、また各地知名の有力者又は教育者も頗ぶる多かり。後ょ之を調査せしょ北海道より臺灣島に至るまで、會場の蝶門を出入せぬ府縣とては、一もこれ無かりき。特に眞宗本派の連枝と臺灣人十數名の一行とは、最とも人目を惹き、米國の昆蟲學者博士マアラット氏夫妻の參觀は、斯學上一方ならぬ利益を與へしやう覺へたり。(第五)各地の昆蟲研究會より、代表者として特更ょ派遣せしも多かりし中、東北、北陸地方など遠地の人士のあるのみか、京都府、大坂府外二三縣の農蠶學校よりハ、修學旅行として其職員と多數の學生とを遣はしき。去れば、岐阜管內の諸學生の

第壹回全國昆蟲展覽會

自明治卅四年四月十六日
至明治卅四年五月十五日

入場ノ際入口監守ニ示サルヘシ

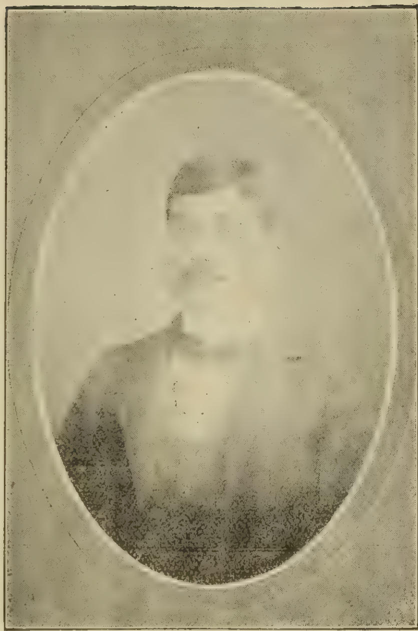
優待券

會場內ニ休憩所ヲ設ケ茶菓ヲ呈ス

殿

主催 名和昆蟲研究所

多かりしは言はずもがな、農家の婦女すら、日々數百名の入場と聞へし。（第六）五月十一日には昆蟲學會組織の計畫ありしも協議の結果之を撤回し、更に岐阜縣會舊議事堂に昆蟲講話會を開きしに、川路岐阜縣知事以下數十名の參會者ありて、本會審查長たる小貫信太郎、千葉縣より來會の老農大竹義道外數氏の講演あり、散會後濃陽館に大懇親會を開き、田中會長をも招待しき。此際岐阜縣害蟲驅除講習修業生の盡力最とも多かりし。（第七）東洋に於ける貝殼蟲の敵蟲調查として、來岐せるマアラット博士夫妻優待のため、これを本會顧問の格に准じ、且名和昆蟲研究所より招待して水琴樓に晩餐の饗をなせり。時に其席に列なりしは、博士と同行の農事試驗場技師堀健氏並びに審查委員五名と所員五名となりしが、四月廿七日には、岐阜中學校の講堂を借りて一場の講話をも乞ひき。（第八）昆蟲展覽會は、東海農區五縣聯合物產共進會と其始終を一にせしかば、參觀者には彼此兼覽の便益少なからざりしと云ふ。又この兩會の開始を機として、全國教育品、岐阜



全國昆蟲展覽會功勞賞受賞者
岡田虎二郎氏

縣畜産、日本繪畫の三共進會より、數縣聯合の菓子、岐阜縣相樂縫の二品評會をも開設せしが、なほ外に各種の會合は、凡そ十餘に下らざりきとなり。（第九）毎年四月より五月にかけ、岐阜市の雨量は著るしく增加し、時々强風の吹荒むことあるに、開會中は、幸ひに異常の變調を見るに至らずして已みき。想ふに、本會に五萬有餘の入場者あるを致せしは、またこの天候の良順なるにも因りしなる可し。（第十）展覽會總費額は初め千八百餘圓の豫算を編製し、其中、主催者よりは千圓を出し、他は有志の義金及び入場劵料を以て補充するの內議なりしも、幸ひに岐阜縣費より五百圓の補助交附ありしより、こゝに會務の擴張を行なひ、褒賞費の三百圓を增して四百五拾餘圓となし、又陳列費、裝飾費、監守費等にも應分の增額を加ひ、先づは事なく終結を告げぬ。而して入場料も豫定に比較し著るしく增加せしを以て、これをば、來賓其他一般への紀念品費及び役員の慰勞費等に充てき。然れば、收入の增加により、支出の途また膨脹を來たし、結局、新舊相異なる所無きに至れり。但し之がため、外に對つては、聊さか體面を維持する事を得、內にありては、臨時の費途に苦難を感ぜざりしは、また論なきなり。（第十一）本會に關する一切の費用は、決算を俟ちて之を公示せんとは、主催名和昆蟲研究所の素懷なりしに、其後、殘務處分會議に於て、强ゐてこれを爲すの要なし、假し決算せんにも官廳のそれと異なり、在來物品の使用、設備品の費額より、炭油紙筆の消耗品費の如きに至りては、到底其全額を積算すること能はざるのみか、通信費、人夫賃また之を詳記するに苦しむもの多からん、

而かも共同事業の性質ありせば、或ひは之を公示するの義務ある可きも、純乎たる私立會よありては必らずや之をなさゞる可からざる事由あるを知らず、その說よ歸着せしを以て、茲に細記を省きつ。(第十二)來賓及び役員への紀念品として、褒賞授與式の時一般よ配分せしは、岐阜縣西濃地方の特産たる杞柳の手籠に、東濃よて織製の麥稈昆蟲を附し、中よは岐阜市製出の金華山燒の花瓶を挿み、又昆蟲形の菓子折を昆蟲摺込の白布よ包みたるもの等なかりしが、外に普通の來賓用としての菓子は、蝶附の落雁及び煎餅、信州産のザザムシ、九州産の稻螽の儀助煮にて、臨時の紀念品には、岐阜蝶模樣の酒盃、急須、煎茶碗、桑天牛の文鎭等なりき。(第十三)褒賞授與式後よは、田中會長主人役となりて、會の樞務に與かれる役員、審査事務に鞅掌せる諸氏、庶務よ從事せる諸員を、各別に濃陽舘よ招待して、晩餐會に其辛勞を慰さめ、後また考課に應じて銀杯、木杯、報酬其他紀念品を贈呈云、又主催名和昆蟲研究所は、臨時雇傭の監守其他よ、酒肴、賞金等を分與しき。(第十四)入劵料を低うする時は、會塲内自づから紛擾して、斯學研究者の不利に歸すべしとの、田中會長の意見により、規則更正の際には之を倍價となしたるも、猶は意料外の群衆を見、ためよ究明を擅まゝにすることを得ざる熱心家の多かりしは、本會に於ける最上の遺憾として記臆すべき一大要件たり。然しながら、この群集踵至の裏に。新たに斯學上の智識を得たる者も多かる可ければ、專攻者の失望落膽は、化して普及の基因となりしやも、得て測かり知る可からず。(第十五)賞狀と賞品の意匠圖案等よ關しては、人

第一回全國昆蟲展覽會褒賞之證

何府縣何郡市

何標本　姓　名



何等賞　何杯何個

右審査ノ成績ニ依リ之ヲ授與ス

年　月　日

審査長 農商務省農事試驗場技師正七位小貫信太郎

會長 從三位勳二等 田中芳男

總裁 正三位勳一等男爵 花房義質

知れず苦心せしもの多かりしが、遂に賞状の大さの縦を尺二寸、濶を尺八寸とし、其地質をば淡碧色として中に名和昆蟲研究所主催の九字と於岐阜市の四字を、小篆もて横に白く現はし、中央の上部に金色の岐阜蝶を畫きたる末、式の如き文字を墨書することゝなし、又一等の銀杯には、内に一等賞の三字及び岐阜蝶を細刻し、外に明治三十四年五月、名和昆蟲研究所主催、第一回全國昆蟲展覽會の二十七字を篆體にて彫刻せしめ、二等賞三等賞の木杯も之に準ずと雖ども、青漆の細辛を添加することゝなし、總て之を愛知縣名古屋市にて調製しき。

第九　閉場後に於ける蟲種の調査

閉場式執行の次日よりは、全たく會場を閉鎖して、公衆の觀覽を謝絶したるも、その學術攻究の目的に出づる者、若くは遠路來訪の者に對つては、特に三日間の猶豫期を與へ、其旨を掲示して隨意內覽

を許し、期の過ぐるを俟ちて、昆蟲種類の調査に着手せりき。然れど斯かる調査は、本邦曾て其類例に乏しく、先づ如何なる方法を以てせば、迅速に正確の成績を得べきやを研究するの要を感じ、且頗ぶる慎密を尙とぶが故に、濫りに之を何人にも委ね能はざる事をも認めしより、遂に數名の所員に主査を命じ、各部類に於ける實存の蟲種をば統計表式に記載せしめ、更に之を主任の手に移して、一括するやう定めたれば、皆所務を抛ちて專はらこれに從事しき。斯く秩序を保ちて、精勵刻苦せしめたるも、其蟲種の多きは、豫期の間に終了すること能はず、特に之が綜合に際しては、煩雜紛糾、遲々として日に纔かに十數種を收錄するに過ぎざりしかば、其完成を告げしは、着手より遙かに數月の後にありき。それより、更にこれを類別に改寫し、これに本づきて學名を記入し、次で和名漢名に訂正を施こし、後始めて淨寫をなさしめたるが故に、其辛苦は決して開會中の辛苦に比すべくも無かりし。任他、之が爲めに未だ本邦に前例無き事業の端緒を啓き、又始めて昆蟲展覧會開設の目的の局部を成就せしを想はゞ、半歳の長日月も、將た四たび更稿の煩勞も、ともに語るに足らざるなり。次に揭ぐるは、この調査用に供せる全部の出品を、府縣別となせる略表とす。

府縣名	出品人員		計	一部一類	一部二類	一部三類	一部四類	一部五類	一部六類	二部一類	二部二類	三部一類	三部二類	四部一類
東京府	四	點數	三	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	三
		個數	一五	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	一五
京都府	一	點數	一	一	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
		個數	一二	一二	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

府縣		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計	（下）
大坂府	點數	｜	二	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	二	二
	個數	｜	七	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	七	
兵庫縣	點數	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	一	一
	個數	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	一	
奈良縣	點數	｜	一	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	二	一
	個數	｜	二	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	三	
三重縣	點數	四	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	二	七	六
	個數	二五	｜	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	｜	八	三四	
愛知縣	點數	二	三	二	一	一	｜	一	｜	｜	一	二	一三	七
	個數	一七	七	三	一	三	｜	二	｜	｜	二	一一	四六	
靜岡縣	點數	｜	一	一	｜	｜	｜	｜	一	｜	｜	二	五	三
	個數	｜	一	一	｜	｜	｜	｜	五	｜	｜	一三	二〇	
岐阜縣	點數	二三	一一	五	九	一四	一	三	一	一	三	八	七九	五一
	個數	二三九	二一	七	一〇二	四三	一二	五	二	四	六	三〇	四六一	
宮城縣	點數	一	一	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	三	二
	個數	三	一	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	五	
福島縣	點數	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	一
	個數	｜	二	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	二	
岩手縣	點數	一	｜	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	二	二
	個數	七	｜	｜	五	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一二	
青森縣	點數	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	一
	個數	｜	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	
山形縣	點數	｜	二	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	三	二
	個數	｜	六	三	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	九	
富山縣	點數	一	一	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	三	一
	個數	一	一	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	三	
岡山縣	點數	一	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一	一
	個數	一四	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	｜	一四	
山口縣	點數	｜	一	｜	一	｜	｜	｜	｜	一	一	｜	四	一
	個數	｜	一	｜	一	｜	｜	｜	｜	三	一	｜	六	

和歌山縣	點數	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	二
	個數	一	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	二	
德島縣	點數	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一	一
	個數	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—	—	一	
香川縣	點數	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	二	一
	個數	—	一	一	—	—	—	—	—	—	—	—	二	
愛媛縣	點數	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	一	二	一
	個數	—	—	—	—	—	—	—	—	三	—	一	四	
大分縣	點數	一	—	—	—	—	—	一	—	—	—	—	二	一
	個數	一	—	—	—	—	—	二	—	—	—	—	三	
沖繩縣	點數	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一	一
	個數	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	四	
臺南縣	點數	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	一	二	一
	個數	—	五	—	—	—	—	—	—	—	—	一	六	
計三府二十一縣	點數	三六	二七	一二	一二	一五	一	八	四	三	五	二〇	一四三	九五
	個數	三一〇	五六	一七	一〇九	四六	一二	一二	九	一〇	九	八三	六七三	

（備考）開會前日の計算に據れば、蟲數凡そ十六萬頭なりしも、岡山縣、三重縣等より其後に到着の出品も少なからざりしを以て、實數は十六萬の上にありしなる可し。

第十　昆蟲展覽會の殘務處理

殘務處理をなすに方り、極めて困難を感じたるは、蟲種の調査なりしも、こは分擔調査の議に決したれば、今はたゞ、庶務、會計の二務を剩すのみ。然れども當局者の疲勞甚はだしき際なりしかば、動もすれば倦怠澁滯を來たし、容易に事務の進捗を見ること能はざるのみならず、賞品、紀念品等の製作

大ひに遲れ、爲めに執務上の不便を來たしたる事少なからざりき。此際、田中會長の絕へず監視するもの微りせば、恐らくは一層遲緩の虞れありしなる可し。而して最とも煩苛なりしは、出品の送還處分にて、殆んど紙筆に盡く難きほど多くの障害は續出しき。この種の會を開かんとする者は、本會に鑒みて、逆じめ善後の方法を講ずるの要あらん。

茲に特筆すべきは、本會役員諸氏の厚意なり。凡そ何れの會も閉鎖後に至れば、また之を問ふ者なきを通例とするに、評議員と事務員を兼ぬる柿元、林、桑原、大畑、坪井、古井、駒田、土川、山田、田中、長野、重松等の諸氏は、能く同情を寄せて每に會務の商議に參し、その三式擧行の時の如きは親しく奔走の勞を取り、閉會後と雖ども、爲めに盡す所ありき。其他感謝に堪へざるは、川路顧問及び笠井事務委員長が、繁劇の公務を視るの傍はら、終始本會に盡瘁せられし一事にて、內外の便宜を與へられしは勿論、數回臨塲の上、誠實なる助言を試みられし節も多かり。又花房總裁と田中會長の本會を重視して、有力なる掩護者の地位に立たれし事實は、一齊に確認する所なるが、特に田中會長が昨年末、本會の推選を快諾の後は、私費を投じて岐阜に來往し、或時は設備に就て示敎し、或時は諸種の會議に列し、その開會當時は、前後五十餘日間、夙夕會務を統督し、後また數次、此地に過りて殘務の進行を期したるが如きは、常人の得て爲し能はざる所にて、なほ內外に於ける功績は、到底備さに列擧すべくもあらず。斯く名と利との念を去り、只願、斯學の振興を欲するの餘り、痛く心

神を勞せられしのみ、固より之に酬ふべき途の他に有るべくも覺へざれば、川路顧問の發議により、純金製紀念杯を贈呈し、以て微かに謝意を表明しぬ。

第十一　昆蟲の名稱に關する意見

昆蟲の邦稱を一定して、國としての體面を維持し、及び斯學研究者と一般農家の便益に資すべきの急要なるは、既に齊しく衆目の認諾する所、而して今になほ之を決行せざる所以のものは、幾多の障害の其間に蟠延するものあればなり。そも本邦の昆蟲には、異種同名のものあり、同種異名のものあり甚はだしきは、一種能く數十の方言を有するもありて、久しく紛糾錯雜の裏に埋了せられしに、明治初年以還、斯學の進步に伴れ、益々濫稱杜選の弊に陷いりしものゝ如し。是に於て乎、之れを括摠統一するの議、夙に有志の間に發り、四方これに唱和する者また多しと雖ども、其濛霧を排し亂麻を斷つの困難を感ぜしにや、誰ありて輕易に手を下さゞ、遷延數年、遂に今日に至れるなり。斯れば、科學を專攻する者の如きは、初めより邦稱を假名視して、之を口にするだも厭ひ、學名則はち蟲名、蟲名則はち學名の惡風を釀成し、每に自國の言語を擯けて、主はら他國の稱呼に賴り、尋常の農家に對つてすら、羅甸語を以て應答することありと、思はざるも亦太甚しからずや。而して其病患の因て來る所を究むれば、凡そ二源あるが如し。一は學者の考徵鑒定を輕んずるに歸し、他は命名の方式の定

かならざりしよ本づく。則ち學者にして探討捜求を事とし、又命名に則とるべき標準のありたらんよは、如何に外聞を衒ふ世なりとも、よも吾を捨て彼の死語のみを弄すまじく、假ひ封建割居の餘臭を帶ぶるとは云へ、斯くまでに稱呼上の分裂を來さゞりしや知る可きあり。遮莫、今や之を嘆つも詮なし、たゞそれ宜しく乘すべきの機會を窺ふて、斯學者の公正なる商議協定よ竢つあるのみ。然かも今になほ、其好機の到着せずして、紛々擾々の間に後進を彷徨せしむ、斯學の發展を害ふや、蓋し大なり。

偶々昨年、全國昆蟲展覽會の開設ありて、一時同志の視線を此場に集中せしかば、吾が名和昆蟲研究所は、事の成否、自力の輕重、時の早晩を論ふに暇なく、名稱一定の稿本として、爲に日本昆蟲分科表を發行し、其時論の向背を知るの試金石よ供しぬ。固より急遽の間よ、採筆印行の業を畢へたれば瑕瑾の多かりしは、既に讀者の認識せらるゝ如くにて、且中に收めたる蟲種も、纔かよ二百餘を算ふるに過ぎざれば、命名の標準は故らに省略しき。然るに今回本書を編輯するよ及び、この積弊を革ため、紛亂を清めんが爲よは、復た容易よ得難きの機會ありと思量せしを以て、遂に次に列擧するが如き規矩を編制して、私かに名稱の訂正を實行しぬ。蓋し名稱一定の必要は、今や近く目睫の間に逼り來り、得て左右を顧慮するに暇なかりしが故なり。

(一)昆蟲の名稱は、成蟲に對して之を命す。但舊慣に從ひて、其中に幼蟲名を加ふることを妨げず。(イヌガヤノシヤクトリノがの

如し。）

（二）昆蟲の名稱は、現在本邦各地に普通のものを以て正名となす。（ホタルの如し。）

（三）正名と雖ども、多く用ゐざるもの、又は卑野のものは、之を採らず。（蛾のヒヒル、氣蠜のヘヒリムシに於けるが如し。）

（四）俗名と雖ども、その特に人の記臆に上れるものは、之を正名に准ず。（カガンボの如し。）

（五）方名は、主として都會に行はるゝものを採用す。（東京のミヅスマシの如し。）

（六）古名と死名とは、或場合にのみ之を採用す。（カナカナゼミをヒグラシゼミとし、クソコガ子をマロムシとなすが如し。）

（七）約名と略名とは、記載の上に採用せず。（トンバウの約をトンボとし、カブラハバチの畧をカブラバチとするが如し。）

（八）正名は、假名遣法に據りて記載す。但略記には發音直寫法を用ゐる。（アヰノザウムシと書して、アイヅウムシと略記するが如し。）

（九）漢名は便宜上、科屬名に適用し、其他は釋義にのみ之を用ゐる。（蟻科と書し、又ヒヲドシテフを緋威鎧蝶と書するが如し。）

（十）漢名は雅俗を問はず。但文字難澁、不適なる時は、註解若くは修正を加ふ。（蠼螋に挾蟲を添へ、搒蝶を弄花蝶に作るが如し。）

（十一）學名は最近普通のものを取りて、之を正名と併記す。但其書式は總て慣用の法に據る。（Oxya velox, Fabr. の如し。）

（十二）學名の判明せざるものには、總て定式の疑印を記入す。（キスヂヤドリバチ Gn? sp? の如し。）

（十三）漢字を附せざる科屬と普通昆蟲には、學名を義譯するか、漢名を捜求して、之に適字を充つ。（短角類、水龜蟲の如し。）

（十四）漢名は、其別稱異名を、各別に分用するを妨げず。（胡蝶の別名蛺蝶を以てタテハテフと呼ばしむるが如し。）

（十五）時代によりて、名稱に異同を來たしたる昆蟲には、舊稱を捨て新稱を命ず。（コホロギとキリギリスの古今相反するが如し。）

（十六）僞似態の昆蟲を三樣に區別す。（益蟲に擬する蟲類にはゴミムシダマシ、他の害蟲に擬する蟲類にはキクスヒモドキ、植物の葉皮に擬する蟲類にはカキノハマガヘと命名するが如し。）

（十七）既に適當の名稱を有する昆蟲には、濫りに新稱を命ぜず。（ハゴロモヨコバヒの如し。）

（十八）新稱には、其昆蟲の特殊點、若くは種屬を表明せしむるを要す。（ツチイロバツタの如し。）

（十九）正名ありと雖ども、辨別に宜しからざるものは、他名を以て之に替ふ。（カゲロフをフイッとするが如し。）

（二十）姫、菱、大、山等の形狀を、黑、赤等の色彩を表明すべき冠頭詞には、成るべく他字を副へて、其意義を判明ならしむ。（姫ササキリに種を、菱バッタに形を、大サシガメに形を、山キテフに産を、黑ゴミムシに色を、赤ッシアブに色字を副ふが如し。）

（廿一）蟲名の讀下し難きもの、誤り易きものには、斷續連綴法を用ゐる。（ヒメ クロ オトシブミ、アカ イトトンボの如し。）

假りに此規程によりて、鑒査を加ひしに、其躰軀の淡紅なるを形容せしものか、將た桃蟲の蛾なるかを分ち難きモモスズメ、語呂惡くして稱呼に自由ならざるキノカハガ、命名の不正確より一時人を迷はしむるモンキテフ、幼蟲の毛色を指すか、または成蟲の翅色を指すか、區別の明かならぬチャノシモフリシャクトリガ等の蟲名續出し、結局根柢より洗掃するに非れば、其目的を貫通し難き事由を悟り、亦急劇の變動を避くるの得策ならんことをも想ひたれば、成功を他日に讓りて、昆蟲分科表と出品蟲種中、特に稱呼適字の穩かならぬものを校訂補正するに止めき。是れ同一のゴミムシに歩行蟲と塵芥蟲との兩樣を存し、其他の名稱また删定を悉さゞる所以なり。

今や、本書の刊行によりて、吾が名和昆蟲研究所は、宿望の一端を事實に遂げ得たるには違はざるもその大半は之を他日の考定に竢たざる可らざれば、爾後勉めて之れが責に任ずるの微力を致すに怠らざる可し。便はち昆蟲叢書第十二編に於ては、應用上必須の種類のみなりとも、適實の名稱を附し去り、肯て今日の如く同一色の形容に、或時は紋黄といひ、或時は黄紋といふの過失無からしめんとす。而して此希望を達せんには、前記の標準に據るの他、なほ其大小、肥瘠、斑紋、色彩、擬態、特性等

の位置に關しても、細緻の標準を作り、更に命名の摸範をクロアゲハノテフ、アカイトトンバウなど其名によりて、其種を辨別すべきものに取り。又其色彩の異同に重きを置きて、青と碧との別を立つるは論なく、從來慣用のそれの如くに、黃褐を曲げて赤といひ、黃赤を誤りて紅と呼ぶことをなさず次には、ウンモンクチバガ、オホマダラキシタバガ等の成語に遠ざかれるもの、タマゴバチ、キバチの如く極めて誤られ易きものにも、或範圍に於て、多少の修正を加ふるの必要あるに似たり。讀者豫じめ焉を諒鑒し、將來もし、昆蟲分科表を化して一片の故紙となし、又た出品目錄に異動を生ぜしめて、過半雌黃を施すの日あらば、即はちこの至難事業を成就するの徵候と知られよ。人或ひは、その暴擧に失するを哂はんも、斯學界の刷新は早晩、脫がるゝこと能はずとならば、唯速成斷行に利ある の事由を認むべく、又北海の土蠻、南島の生蕃と雖とも、各々定まれる昆蟲名を有するに、祖先以來言語の發達を以て誇稱せる本邦に、獨り之れを缺くを想はゞ、此謀圖の强がち無用の業に屬せざるを知るに足りぬべし。斯くいはゞ、また邦名と學名とを、倂せ研究するの煩累を唱ふる者なしと限らざるも、學名と接似の語音を操つる歐米諸國すら、各別に自國の蟲名を稱するに、況して東西全く其趣むきを異にする本邦に於て、學界共通語外の正名を定むるとも、何の不可かあるべき、寧ろその時期の遲かりしを惜むのみ。

第十二　全國昆蟲展覽會の効果

全國昆蟲展覽會の効果といへる問題に關しては、種々の觀察を下す者あるが如し、而して主催名和昆蟲研究所は、自から其價値を定むるに、嘗て左の數語を以てせりき。(雜誌『昆蟲世界』第四拾五號及び第四拾八號參看)

此を以て、靜かに學術的眼孔を以て、調査研究すべき材料たりと豫想せる出品も、多くは好奇的に觀察せられしやの嫌ひを生じたるも、斯く多數の參觀人中には、新たに斯學に志ざせる者亦少なからざる可きかと思へば、この混亂雜沓の間に、將來好望の種子を播下せしやも未だ測り知る可からず。是れ蓋し自畫自讃の言辭を弄するにはあらで、世間の事物多くは、その初め一種の好奇より起りて、漸次眞理に近づき、終に之を大成するに到るを以てなり。而して其効果の如きは、今遽かに之を知り能はざるも、恐らくは明治三十六年の後、粲然眼を拭ふに足るゝものを、此裏に胚胎せしならんとは、當昆蟲研究所の斷じて豫言するに憚からざる所なり。云々

然るを、眼光を斯學の局部に注ぐ者にありては、動もすれば、則はち浮塵子、螟蟲のみを口にし、また曾て其他を知らざるものゝ如く、分類標本、裝飾用標本、教育用標本の此間に在りて、間直接に斯學を發達せしむるの機關たるを悟らざるなり。之を譬ふれば、今の害蟲驅除に從事する者の多くは、根本的の驅除を採らずして、一時小康的の姑息法に安んずること、猶ほ良醫の頭痛を治するに、先づ内服藥を與ふを厭ふて、庸醫の即効紙を好み、又鉄橋の架設を欲するも、敢て地下に橋脚を堅造するを嫌ふに異ならず。云々

加之、本會に對しては、最とも言質を重んずべき責任者たる小貫審査長は、公衆の前に誓言すらく。
(褒賞授與申告書參看)

團體品出を奬勵の結果として、其人員は百四十三名に止れりと雖も、昆蟲展覽會の始元としては、亦盛なりと謂ふべし、特に昆蟲の分布を調査するに方り、其利する所、決して尠少にあらざるを知るなり。（中略）今回の出品に對し、固より完全を望むこと能はず、是れ啻り斯學に於てのみ然るにあらず、凡そ創始に屬する百般の事業に免る可からざる通患にして、將來の進歩の上より言ふ時は、反つて頗る有望の餘地を存するものと謂ふべきなり。（中略）今全般を通觀するに、本會に出陳せし所のもの、皆未だ幼稚の域を脱せずと雖も、其出品區域の廣濶なる、其種類の夥多なるは、蓋し斯學研究上に裨益する所、偉大なるべしと信ぜらる。云々

是れ鑿々その肯綮に當れるの適評にして、之が開催の目的と、全たく其所見を同うせるもの、苟しくも、今日斯學界内外の事情に通曉せる者なりせは、誰一人此論に異議を挿むべしとも思はれず。而して最とも吾が同志の意を强うするに足るべき評價は、田中會長が閉會式に於ける斷案にあり。其辭にいはく。

惟ふに、本會の冥々裏に、科學實業兩者を融和して、國利民福を圖れるの成績に至りては、未だ遽かに之を知るに由なきも、その從來之を輕視せる者を警醒して、昆蟲と國家の關係を悟らしめ又、上下の注意を喚起して、斯學研究の必要を感ぜしめたる結果、近き將來に、一生面を開くべき導火線となりしは、余が豫斷して疑はざる所なり。云々

この言明は果して違はぞ、岡山縣邑久郡農會が、本會開設の趣旨に激奮して、是歳二月二十日より五日間、邑久郡昆蟲展覽會を開けるを首めとし、十一月には、其十八日より一週間、之を岩手縣和賀郡に開かんとして、本會の趣意書及び『昆蟲世界』の所說を經緯とせる趣意書を發表し、また同月を以て宮城縣志田郡に開設の教育品展覽會には、同郡昆蟲研究會員の製作に係る、幾多の昆蟲標本を參考品

よ加ひたるが、其裝飾用のものと、害益蟲標本とは、形式を本會の出品に則とり、次で岐阜縣下の有志間に、新たに冬季採集昆蟲展覽會開催の企畫成り、これ將た明年二月初旬を以て縣物產館構內に開かんとすと。斯く實例を擧げ來りて、其系統の繫がる所を繹ぬれば、一として本會の感化誘導に職由せざるは莫きが如し、特に兵庫縣三原郡、岐阜縣海津郡、養老郡等の典型を本會よ採りて明年夏秋の候を期し、此種の會を開かんとの壯擧を聞くに迨びては、また少さか快心するに足るものあり。宜矣、第五回內國勸業博覽會にハ、前回よ十數倍せる昆蟲標本の陳列を見るに至らんとの吉報の喧傳せらるゝや。

旣に各章に於て、叙述を重ねしが如く、第一回全國昆蟲展覽會は、明治三十二年九月の計畫よかゝり翌三十三年三月三日の發表に因づきて、今三十

日本帝國褒章之記

岐阜縣美濃國本巢郡船木村
名和靖

資性堅忍夙ニ農學ヲ修メ尋テ動物學ヲ練修シ專ラ力ヲ昆蟲學ニ竭シ害蟲驅除益蟲保護ノ法ヲ究メ之ヲ農業及ビ教育上ニ應用普及スルヲ以テ己レカ任ト爲シ常ニ山野ヲ跋涉シ艱苦備嘗蟲類ヲ採集スルコト一百三十餘萬頭標本ニ製作セシモノ凡ソ八十餘萬頭之ヲ內外國博覽會ニ出陳シ若クハ諸學校各種ノ團躰ニ寄附シ或ハ各地ニ巡歷シテ農會其他ノ諸會ニ於テ講演スルコト六百有餘回數々講習會ヲ開キテ多ク生徒ヲ教養シ私立昆蟲研究所ヲ岐阜市ニ創メテ汎ク衆庶ヲ啓誘シ月刊雜誌及害蟲ノ圖ヲ發刊シ殺蟲器捕蟲器益蟲保護器ヲ按出シ若クハ害蟲標本保存筺ヲ改良スル等闡示開導甚タ努メ稗益ヲ農家及教育家ニ與フルコト鮮少ナラズ洵ニ公衆ノ利益ヲ興シ成績著明ナリトス依テ明治十四年十二月七日勅定ノ藍綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰ス

明治三十四年五月十四日

奉勅 (印)

賞勳局總裁正三位勳一等子爵大給恒 (印)

此證ヲ勘查シ第四百二十一號ヲ以テ褒章簿册ニ登記ス

賞勳局書記官從四位勳三等橫田香苗 (印)
賞勳局書記官正六位勳六等藤井善言 (印)

四年の四月十六日に之を開始し、五月十二日に褒賞授與の式を擧げ、同月十五日を以て閉會式を行なひ、爰に始めて積年の希望を達する事を得たるなり。この閉會に先だつこと一日、即ち五月十四日附を以て、我が帝國臣民の最大榮譽とすべき

勅定の藍綬褒賞は、料らずも、此全國昆蟲展覽會の主催たる、名和昆蟲研究所長名和靖に下賜せられ殘務の未だ完了せざる六月廿一日といふに、謹みて拜受の恩命を辱うしぬ。顧みれば、所長名和靖は既往二十餘年間、昆蟲を無二の伴侶として、起臥これと親交を訂したるの他、未だ涓滴國家に答ふるの事業を經營せざるに、一朝誤つて

天聽に入り、展覽會務鞅掌の際に、期せずして此重恩を負荷す、洵とに恐懼の極みと謂ふべし。たゞ讀者は此を以て、拜受者一人の光榮と速斷すべきにあらず、そは際涯無量の

聖德は、均しくまた、同志の身邊にも霑ふを認むればなり。則はち斯學界には、千古不磨の名譽を享戴し、兼て本會の爲めには、光輝ある無上の紀念を作爲せるに同じければ、本會を協贊せし同志は更に論なく、常に昆蟲學の攻究に從ふ者は、各々その本分を重んじ、倶に與に之が伸暢普及を圖らずして可ならんや。

今や、筆を擱くに臨み、なほ一事の附記すべきものなり、他なし、主催名和昆蟲研究所々員にして、昆蟲展覽會の事務に鞅掌せし者の功勞是れなり。讀者も粗ぼ知らるゝならん、本年規則上の役員を選

任して、事務を分掌の後よこそ、全たく其手を下さゞれ、其以前に在りては、百般を擧げて、齊しく設備の勞苦ょ服し、各々其技能に應じて事に會務に從がひ、なほ開會後と雖ども、恒よ裏面よりは庶務審査會計事務を幇助し、爲に此會をして後顧の憂ひなからしめき。然れば、假し身は外部の衝よ當らざるも、其内助の功課に至りては、また多く他ょ下らぞ、特に閉會後ょ於ける奔走盡力と、殘務の整理とは、洵とに嘉尚すべかりし。依て玆に錄して、永く其姓名を後年に留めんとす。

名和正也	名和政	名和梅吉	名和貴	棚橋昇
伊藤七郎	福井克雄	森宗太郎	吉田悅三	名和愛吉
長屋六二	高橋喜男			

（以上、明治三十四年十二月下浣脫稿）

此書は、豫期の如く、昨明治三十四年九月下旬に發行すべかりしを、蟲種の調査は論なく、其原本の整理と之が改書に、數月の功苦を積み、將た學名漢名の記入、標準の設定等にも、思はぬ多くの日子を空消し、同十二月下旬を以て、稍體裁を成すに至りたれば、それに本づきて更に稿を起し、今春始めて印刷に附せるなりけり。今其遲延せる事由の一斑をものせんに、旣に調査改書を了へたる原本に就きて正名漢名を適てんにも、其紛錯極りなきの稱呼は、頗る選擇に困難を感ぜしめ、直翅目の五七種のために、一週餘りは採筆を中止して、三十餘部の蟲書を涉獵し、なほ洋辭書より蝦夷語に至るまで、普く探求せしこともあれば、鞘翅目金龜子科の一種の名稱を考定せんとて、終日精勵したるに、何の得る所もなく、失望に失望を重ねし事もあり、又カムシの意義と其漢名を知らんとて、和漢の醫書博物書の點檢に前後三日を要して、わづかに舊說の誤りを斷定せし事すらありき。特に正名の假名遣ひは、從來殆ど誤謬襲用の嫌ひありしかば、鑿々これを十數部の辭書に照して、正格に入るべきもの丶みを選別せし等、人知れぬ苦辛に獨り懊惱を來したることも多かり。今より當時を追想すれば、寧ろ魯直に過ぎたるやの感無きにしもあらじ。後に物語る所を聽けば、種類の調

査、科屬の配合、學名の記入、出品者名の分別、またこれと同じ趣きありきと、然もありなん。加之、岐阜には、畫工彫工の數多ある中に、昆蟲の描寫彫刻に慣れし者とては、各々唯一人あるのみなるに、中ごろ名和先生の計ひにて、舊版二十餘圖に、新版四十餘圖を加へて、往々圖說することと更めたれば、讀者の幸福は言ふまでも無けれど、これがため事業の進行を阻害せし事は著るしく、可惜五十餘日をこの原圖の調製に要しぬ。又印刷所も、漢名の活字なりせば、悉く備へぬものとては無けれど、有繁に大都とは事異りて常用に供せぬ異樣の横文活字、さては名稱に專用すべき新體假名文字などの多く有るべくもあらねば、此書脫稿の比に、急ぎ京地に打電して、そが新鑄を託する等、事每に寸前尺退の厄に遭はぬは莫かりき。

斯る事由のあるべしとも得知らぬ、各地の豫約者よりは、月に幾通となき、嚴重の督促をうけし中にも、熱罵冷嘲を加ふるを以て男兒の本懷と誤解せしにや、讀書家には有るまじき、亡狀の文字を臚列して、聊かも自己の品格を毀損するに心づかぬ人すらありき。然れば、舊臘より、今春にかけての痛苦は、永く忘られぬ程にて、實に此前後は、心も心ならず、一時は辨償解約を決行せんかとまで、憤恚の念ひに驅らるゝ日も多かりしかど、彼の温厚篤實の君子と呼ばるゝ、大槻文學博士が著書言海の出版期を違ひたる時に「大うそ槻先生の食言海」と戲書せる無名の書簡を落手せられし事など、想起しては氣を勵まし、所務を視るの傍ら、專心これが完成に勉むる所ありしに、軈て此四月に至りて脫稿せしかば、此回こそはと悅び勇みしに、圖らざりき、異種異形の文字を多く混用せし結果は、痛く印行の速成を妨げ、如何に焦慮すとも、日に纔に數頁の竣工に過ぎざらんとは。剩さへ、附錄の記事には、展覽會の成立と其他三四の重要事件を摘錄するに止め、全篇を通じて百六十頁左右とし、これに三葉の題字口繪を挿入の豫定なりしに、或所友より紀念記事の補足と口繪の增入とを逼られ、議遂にこゝに三變して、新に二葉六種の寫眞銅版と、本文約三十頁の增刷を決したれば、翌五月に成就すべかりし此書も、斯くは遲れに遲れしなり。然れど此等障害の何時しか消失せて、今や讀者諸君の案下に呈するの光榮を得たるは、最も悅ばしき限りとこそ云ふ可けれ。終りに、數月間、發刊を遲延せしめたるの罪を鳴謝するとともに、これを寛容せられし厚誼をも感謝するになん。

全國昆蟲展覽會出品目錄　畢

本書の誤字に就て

全國昆蟲展覽會出品目錄印行の後、これを通讀するに、誤植なは少なからず、茲に謹て校正の疎漏を謝す。左に擧げたるは其數例なるが、なほ學名、漢名、挿圖等にも此類多かるべし、一に讀者の判讀を仰ぐ。

一、凡例第四節「ヨコバヒムシ」ハ「ヨコバヒムシ」
一、同　第七節木書ハ本書、圖畵バハ圖畵ハ、七月中旬ハ六月中旬
一、記載目次前題目ノ頁數一ハ一四
一、第一章第一食樹類(第四頁)ハ食葉類
一、同章　一七一號(二四頁)盜天牛ハ盜狀天牛
一、同章四一三號(五六頁)薐黑黃蝶ハ薐黑黃蝶
一、同章四四九號(六一頁)るりしじみハるりたじみ
一、同章五〇九號(七〇頁)うめけむしのがノ下句讀點ハ衍
一、同章五五三號(七四頁)かきのはまがひがハかきのはまがへが
一、同章五八三號(七八頁)やふまゐノ下ニ半格ノ間隔ヲ脫ス
一、同章五九八號(八一頁)ノ中段(城阜)ハ(岐阜)
一、同章七一二號の次、備考第二行及びハ中の
一、第三章一五三號(一一八頁)ノ次行ノ五四號ハ一五四號
一、同章一九三號(一三一頁)かきのはまがひがハかきのはまがへが
一、附錄第十一節(一九九頁第六行)偶々昨年ハ今年
一、同節(二〇〇頁第二行)昆蟻ハ昆蟲、(第十七行)儞似態ハ擬似態
一、同第十二節(二〇六頁第十四行)すべめハすべき
一、第二章(八三頁)カマキカゲロフの圖ハヒメカマカゲロフの圖
一、第三章(一一六頁)オホアチムシの圖の木版は挿入違ひ

明治三十五年七月五日印刷
明治三十五年七月八日發行

郵税金八錢
定價金八拾五錢

發行兼著作者　岐阜縣岐阜市今泉(京町)九百三番戶ノ二　名和靖

印刷者　岐阜縣安八郡大垣町字郭百五十三番戶　河田貞城

印刷所　岐阜縣安八郡大垣町字郭百五十三番戶　西濃印刷株式會社

發行所　岐阜市京町　名和昆蟲研究所

Tai-[illegible] zenkoku
Tenrankai [illegible]

August Busck

